

佐世保市制120周年記念プロジェクト

SASEBO未来デザイン会議
佐世保の未来への提案

令和5年3月18日

目 次

はじめに	P 1
第1 検討経過	P 2
第2 提言	P 9
第1章 イベント・グルメ	P 10
第2章 アーケード	P 72
第3章 観光・情報発信	P 136
第4章 交流	P 204
第5章 生活・環境	P 276
おわりに	P 344
資料1 S A S E B O 未来デザイン会議 (令和4年7月コーディネーター提出資料の抜粋)	P 346
資料2 S A S E B O 未来デザインマップ (事務局作成)	P 357

はじめに

SASEBO未来デザイン会議は、佐世保の未来のためのプロジェクト会議です。

本会議では、佐世保市にゆかりのある若者が集まり、いまの「させぼ」を知り、これからのが「SASEBO」を考える場です。若者が、本会議で「まち」の未来について語り合い、「まち」に関わる「やってみたいこと、実現したいこと」を具体的に考え、提言しました。

本会議のメンバーは、58名です。最年少は15歳の高校生、最年長は38歳の社会名です。居住地は、佐世保市内にとどまらず、福岡や大分、遠くは東京、埼玉、神奈川に及んでいます。

令和4年7月9日から12月10日までの土曜日に16回にわたって本会議を開催しました。7月と8月は、メンバー58名を29名ずつ「チーム夢」と「チーム希望」に分けて、4回開催しました。9月から12月までは、58名を10名程度ずつ5つのグループに分けて、12回開催しました。グループは、①イベント・グルメ、②アーケード、③観光・情報発信、④交流、⑤生活・環境です。

毎回の会議の事務局は前川副部長、末永補佐、福本主事、里崎主事が務め、コーディネーターは長崎県立大学教授の横山が務めました。

本会議では、コーディネーターの想定を超えて、毎回長時間にわたって熱い議論が展開されました。メンバーは、議論を通じて自身の提案を磨き、優れた作品に昇華しました。オブザーバーとして参加した佐世保市議会鶴大地議員、佐世保市関係部局の職員及び長崎県企画部政策企画課長の助言を得て、提案の実現性を高めることができました。

メンバーの提言の内容は、各担当部局にフィードバックするとともに、令和4～5年度に策定する第7次佐世保市総合計画後期基本計画（計画期間：令和6～9年度）に反映させるなど、これからのが佐世保のまちづくりに活かしていただきたいと考えております。

ほとんどの提案は、本会議とは別に、他のメンバー又は家族・友人から助言を得たり、県又は市の関係部局の職員と意見交換を重ねたりすることによって、更に熟度を高めたものです。他方、細部の検討までには至らずに、大枠の提案にとどまっているものもあります。佐世保市におかれでは、それぞれの提案の熟度に応じて、適切に対応されることを願っています。

S A S E B O 未来デザイン会議 コーディネーター 横山 均

第1 検討経過

佐世保市は、市制120周年プロジェクトとして、SASEBO未来デザイン会議を開催することにしました。佐世保市は、令和4年中旬から5月末までの間、「させぼでこんなことをやってみたい」というアイデアにあふれ、積極的に本会議(当初は年6回程度を予定)に参加できる若者を25名程度募集しました。

応募の要件は、佐世保市にゆかりのある15歳(高校1年生)から39歳までの若者です。その結果、58名の若者から応募がありました。その内訳は、高校生9名、大学生18名、社会人31名でした。58名の応募用紙には、佐世保市に対する熱い思いが綴られていました。このため、58名全員をメンバーとして採用しました。

令和4年7月9日から12月10日までの土曜日に16回にわたって開催しました。(1)「チーム夢」と「チーム希望」が4回、(2)5グループごとの開催が10回、(3)複数のグループの合同開催が2回です。

(1) 「チーム夢」と「チーム希望」

メンバー58名を29名ずつ「チーム夢」と「チーム希望」に分けて、7月9日から8月20日までに、次の①～④のとおり4回開催しました。会議には、他のチームのメンバーのほか、関心の高い市議会議員及び市職員がオブザーバーとして議論に参加しました。参加者(出席者とオブザーバーの合計)は、4回の会議の平均で25名でした。

コーディネーターがメンバーを順次指名して発表してもらい、他のメンバーが質問又は意見を言うという形式をとったところ、議論が大いに盛り上りました。会議の時間は、4回の会議の平均で4時間11分と、通例の会議(2時間)の2回分を超えるました。なお、オンライン参加に必要な通信機器の接続や収音が、会議室によっては必ずしもスムーズではないという状況を認識しました(佐世保市役所の庁議室のオンライン環境が優れていることも把握できました)。また、②チーム希望 第1回には、長崎新聞の記者が始終傍聴し、写真入りの記事にしました。

1 チーム夢 第1回

日時:令和4年7月9日(土)13時30分～17時10分(3時間40分)

場所:佐世保市立図書館3階視聴覚室

出席者:メンバー22名、オブザーバー5名

議題:SASEBO未来デザイン会議について、市長のビデオメッセージ、

自己紹介、「やってみたいこと、実現したいこと」



2 チーム希望 第1回

日時:令和4年7月23日(土)13時30分~18時10分(4時間40分)

場所:新みなとターミナルビル2階会議室

出席者:メンバー22名、オブザーバー7名

議題: SASEBO未来デザイン会議について、市長のビデオメッセージ、

自己紹介、「やってみたいこと、実現したいこと」



3 チーム夢 第2回

日時:令和4年8月6日(土)13時30分~16時40分(3時間10分)

場所:佐世保市役所本庁5階庁議室

出席者:メンバー17名、オブザーバー3名

議題: 「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換



4 チーム希望 第2回

日時: 令和4年8月20日(土) 13時30分~18時5分(4時間35分)

場所: 佐世保市立図書館3階視聴覚室

出席者: メンバー18名、オブザーバー5名

議題: 「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換



(2) 5グループごとの開催

メンバーの「やってみたいこと、実現したいこと」を速やかに分類し、i イベント・グルメ、ii アーケード、iii 観光・情報発信、iv 交流、v 生活・環境の5グループに分けました。なお、熟度の高い提案を複数しているメンバーには、複数のグループに所属してもらいました。

9月3日から11月12日までは、グループごとに2回ずつ、次の⑤~⑯のとおり計10回開催しました。参加者(出席者とオブザーバーの合計)は、10回の会議の平均で8名でした。

コーディネーターがメンバーを順次指名して「やってみたいこと、実現したいこと」を発表してもらい、他のメンバーが質問又は意見を言うという形式をとりました。さらに、それぞれのグループのテーマに関する部局の職員が議論に参加して、提案の前提となる事実を教示することで、質の高い議論が重ねられました。会議の時間は、10回の会議の平均で2時間51分になりました。

8月27日の日本経済新聞の「多島美をめぐる」展望台で石岳展望台が第1位となった記事を配付しました。併せて、メンバーの発想を広げるためにオズボーンのチェックリストを紹介しました。なお、⑬交流の第2回には、コワーキング・スペースの可能性を検討するため、市役所の最上階を視察しました。また、事務局が、議論の対象となっている事例について、インターネットで検索して、スクリーンに映して、議論をサポートしました。

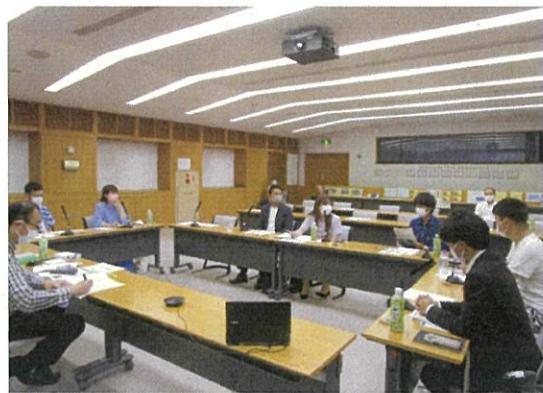
5 イベント・グルメ 第1回

日時: 令和4年9月3日(土) 13時30分~16時20分(2時間50分)

場所: 佐世保市立図書館3階視聴覚室

出席者: メンバー7名、オブザーバー3名

議題: 自己紹介、「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換



6 アーケード 第1回

日時:令和4年9月17日(土)10時~12時(2時間)

場所:佐世保市役所庁議室

出席者:メンバー7名、オブザーバー1名

議題:自己紹介、「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換



7 観光・情報発信 第1回

日時:令和4年9月17日(土)13時30分~17時(3時間30分)

場所:佐世保市役所庁議室

出席者:メンバー6名、オブザーバー2名

議題:自己紹介、「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換



8 交流 第1回

日時:令和4年10月1日(土)10時~13時10分(3時間10分)

場所:アルカスSASEBO特別会議室

出席者:メンバー7名、オブザーバー1名

議題:自己紹介、「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換



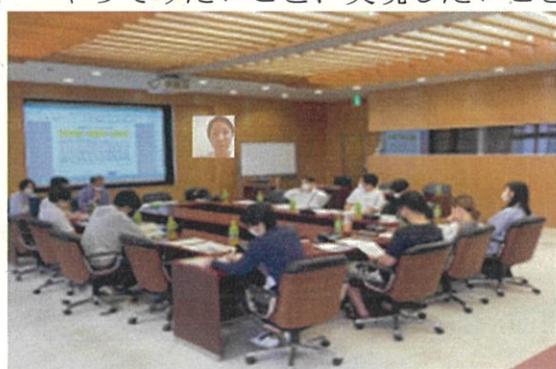
9 生活・環境 第1回

日時:令和4年10月1日(土)13時30分~16時40分(3時間10分)

場所:アルカスSASEBO特別会議室

出席者:メンバー12名、オブザーバー1名

議題:自己紹介、「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換



10 イベント・グルメ 第2回

日時:令和4年10月15日(土)13時25分~16時45分(3時間20分)

場所:アルカスSASEBO特別会議室

出席者:メンバー6名、オブザーバー2名

議題:オズボーンのチェックリスト、

「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換

11 アーケード 第2回

日時:令和4年10月29(土)10時~12時25分(2時間25分)

場所:アルカスSASEBO特別会議室

出席者:メンバー6名、オブザーバー1名

議題:オズボーンのチェックリスト、

「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換

12 観光・情報発信 第2回

日時:令和4年10月29(土)13時30分~15時35分(2時間5分)

場所:アルカスSASEBO特別会議室

出席者:メンバー5名

議題:オズボーンのチェックリスト、

「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換

13 交流 第2回

日時:11月12日(土)10時~13時15分(3時間15分)

場所:佐世保市役所庁議室

出席者:メンバー5名

議題:オズボーンのチェックリスト、

「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換

14 生活・環境 第2回

日時:令和4年11月12日(土)13時30分~15時50分(2時間40分)

場所:佐世保市役所庁議室

出席者:メンバー8名、オブザーバー1名

議題:オズボーンのチェックリスト、

「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換

(3)複数のグループの合同開催

本会議の15回目は、イベント・グルメ、アーケード、観光・情報発信の3つのグループの合同で開催しました。今回は、初めて「3つのテーブルで同時に議論する」というグループディカッションをしました。

まず、事務局が、グループごとに「やってみたいこと、実現したいこと」の概要をまとめて説明しました。提案の説明があったグループのメンバーは、3つのテーブルに分かれて座っている他のグループのメンバーから20分ずつ計3回ずつ意見を聴くことにしました。

この試みは、席を移動しながら、多数のメンバーと意見交換できる楽しいイベントでした。今回は、ワイガヤ会議の様相を呈しました。ただし、事務局による提案の概要説明が、時間が限られていることもあります、必ずしも提案者の意図どおりのものではありませんでした。このため、意見交換に充てられるべき時間の半分が、提案者自身による提案の再説明に費やされました。たとえ時間がかかるても、意見交換の前に提案者自身に提案を説明してもらう方が効率的であることを認識することができました。

15 イベント・グルメ、アーケード、観光・情報発信 第3回 (合同開催)

日時:令和4年11月26日(土) 13時30分~18時(4時間30分)

場所:佐世保市役所庁議室

出席者:メンバー20名

議題:自己紹介、

「やってみたいこと、実現したいこと」のグループディスカッション

本会議の16回目は、交流、生活・環境の2つのグループの合同で開催しました。当初は、15回目と同様に、グループディスカッションを予定していました。しかし、新型コロナウイルスとインフルエンザが同時に流行していたため、病欠者が相次ぎ、多くの提案を同時にさばくというグループディスカッションの実益がなくなりました。このため、コーディネーターがメンバーを順次指名して「やってみたいこと、実現したいこと」を発表してもらい、他のメンバーが質問又は意見を言うという形式に戻りました。事務局による事例のスクリーンへの表示のほか、長崎県の若者会議を所管する長崎県企画部政策企画課長が議論に参加して、提案の前提となる事実を教示することで、質の高い議論が重ねられました。

16 交流、生活・環境 第3回 (合同開催)

日時:令和4年12月10日(土) 13時30分~16時15分(2時間45分)

場所:佐世保市役所庁議室

出席者:メンバー6名、オブザーバー1名

議題:自己紹介、「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と意見交換

開催回数 16回 総時間 51時間45分
(募集時の開催回数 6回程度 総時間 12時間程度)

第2 提案

SASEBO未来デザイン会議のメンバーは、「やってみたいこと、実現したいこと」として、53件の提案をしています。

内訳は、①イベント・グルメで9件、②アーケードで11件、③観光・情報発信で9件、④交流で12件、⑤生活・環境12件です。

ほとんどの提案は、本会議での議論に加え、本会議以外の場での他のメンバー又は家族・友人からの助言又は関係の職員との意見交換によって、熟度が高いものになっています。他方、細部の検討までには至らずに、大枠の提案にとどまっているものもあります。なかには、提案の熟度が高まらなかったため、メンバー自らが取り下げられたものや掲載には至らなかったものもあります。しかし、このような提案にとどまったくメンバーであっても、他のメンバーの提案の議論に参加することで、他のメンバーの提案の熟度を高めることに貢献しています。

次頁以降、第1章から第5章までにおいて、メンバーの提案を①イベント・グルメ、②アーケード、③観光・情報発信、④交流、⑤生活・環境に分けて掲載しています。

第1章 イベント・グルメ

- 1 新商品の作成、空き家を利用した古民家カフェ（濱田薫平）
- 2 佐世保フェス（仮称）実行委員会について（笹山京樹）
- 3 野球で深める日米交流 in SASEBO（松永弘幸）
- 4 SDGsイベントで佐世保を盛り上げよう（三岳比香莉）
- 5 地域がつながる「させぼ 旅する おやき」（白井沙也可）
- 6 Thailand × SASEBO（豊島紗耶）
- 7 行きたくなるような街へ。（池田淳一郎）
- 8 私の佐世保、No.1!!（古川幹洋）
- 9 わたしのサセボ大賞（岡智志）

やってみたいこと

濱田 薫平

1. 新商品の作成

2. 空き家を使用した古民家カフェ

佐世保の魅力あふれる食材

施設しょう
が

いちご

冬春レタ
ス

西海みか
ん

アムスメ
ロン

西海なす

露地しょ
う
が

魅力あふれる食材で何か新しいものを作りたい。

- ・農家さんに協力を依頼して、規格外品をいただく
- ・規格外品をパウダー状にする
- ・パウダーを使用した商品開発をする

パウダーにするメリット

- ・廃棄ロスの減少ができる
- ・保存期間が長くなり、常温保存が可能
- ・パウダー状である為、料理に取り入れやすい
- ・栄養を手軽に摂取することができる
- ・野菜が嫌いな人でも料理に混ぜることで知らないうちに摂取できる

活用例

ピザ

ふりかけ・塩

クレープ

化粧品

佐世保バーガー

ケーキやクッキー

活用例

クレープ

クレープ生地の中にいちご、みかん、メロンのパウダーを使用する。

クレープの具材にもいちご、みかん、メロンを使用する。



クレープにすることで、様々なところで観光しながら食べることができる。
地元の食材を使用している為、地産地消になる。

ピザ

ピザの生地に使用する



ピザはジャンキーというイメージが強いが、野菜のパウダーを使うことで、少しヘルシー感が出るかもしれない

佐世保バーガー



今現在ある佐世保バーガー。それだけでもおいしいが、パンズの生地にパウダーを混ぜることで元々の佐世保バーガーとは異なった風味を楽しむことができる

ケーキやクッキー



これらも生地に混ぜて使用する。ケーキやクッキーは既に活用例がある為、新鮮味はないので試作品として試みることも可能

- ふりかけや塩** → ふりかけへのアレンジは今後ほかの食材でも可能になるので、たくさんのシリーズを出すことができるかもしれません。また、トマト塩などのアレンジ方法がある為、塩へのアレンジも良いのではないかと考えた
- 化粧品** → チークや口紅などの成分に野菜が含まれていたら面白そうと思って考えた。

空き家を使用した古民家カフェ

空き家の改装

佐世保の名物や新名物を軸としたカフェ



地域住民の居場所づくりをすることができる
高校生や大学生のマネージメントの実践の場とすることができます

佐世保フェス(仮称)実行委員会について

笹山 京樹

本日の目次

1. 実行委員会とは？
2. 組織の理念
3. 組織の全体像
4. この組織の特徴
5. 具体的な活動案
6. 私(笹山 京樹)ができること、できないこと
7. お知らせ

1. 実行委員会とは？

- ・行政、法人、個人の枠を超えて、1つのチームを作ることを目的に設立。
- ・いろいろな方に実行委員会に名を連ねてもらうもよし。
- ・法人や行政と対等な立場としてやりとりをするもよし。

あくまで法人でも行政でもない。

1. 実行委員会とは？

実行委員会でなにするの？

- 我々のやりたいことをする
- アイディアや原案は皆さんがたくさん持っています

1. 実行委員会とは？

我々のやりたいことを
我々の力で実現するために
必要な組織にしていきたい

2. 組織の理念

理念とは、、、

こんなことを大事にしますよ。

何か選択を迫られた時これだけは譲れませんよ。

これを軸に活動しますよ。

活動方針の宣言のようなもの

佐世保フェス(仮称)実行委員会の運営理念(案)

1. 佐世保の魅力を生み出し、既存の魅力をさらにパワーアップさせ、佐世保をさらに多くの人に知ってもらえるように、たくさん的人が佐世保を好きになってもらうように
2. 芸術家、飲食店、オーディエンス、運営陣、etc...佐世保フェス(仮称)に関わる全ての人が、それぞれの分野での居場所を佐世保フェス(仮称)で見つけられるように
3. なんか楽しくて笑えるような何かをできるように

以上三点を実現することを理念として活動にあたる。

2.組織の理念(口語訳)

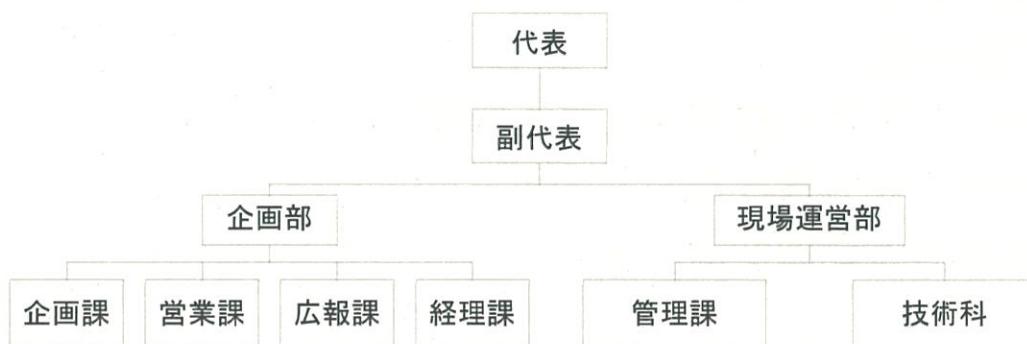
佐世保の魅力UP!!

みんなの居場所作り

なんか笑えることしたい

3.組織の全体像(案)

佐世保フェス(仮称)実行委員会組織図(案)



詳細は「5.具体的な活動案」及び別紙参照

4.この組織の特徴

利点

- 企画立案から運営全般を1つの組織で行う
→法人、行政じゃないから動きやすい
→立案や練り直しも容易、柔軟に動ける

4.この組織の特徴

弱点

- ・先が見えづらい
- ・組織 자체が脆い
- ・透明性、公平性の維持がとても重要
- ・信頼がないから積み重ねが大事
- ・責任を取れる範囲が広くない

どうしても参加者のアイディア、人脈、行動力頼りになる

5.具体的な活動案(ざっくり)

別紙の「佐世保フェス(仮称)実行委員会の組織概要(案)」を参照ください

1.企画の設立

原案の発案者を中心に企画単位で企画課を設立

計画を実行可能なレベルで作成

その中で必要があれば営業活動や広報活動、経理業務も行います

5.具体的な活動案(ざっくり)

2.現場管理の実施

企画の実現に際し、会場の設営や場内運営に関してはさまざまな項目において管理を行います。

計画段階から活動しますが、基本的に現場でめっちゃ動きます。

6.私(笹山 京樹)ができること、できないこと

できること

・実行委員会の代表

→立案者なので頑張ります。

・現場運営部、管理課の業務

→仕事で施工管理業務に携わっているので、その経験を発揮して現場の管理業務に携わります。

6. 私(笹山 京樹)ができること、できないこと

できないこと

- 企画立案、全体的に

→何をしたい

誰を呼びたい

どこでしたい

協力者の誘致こうしたい

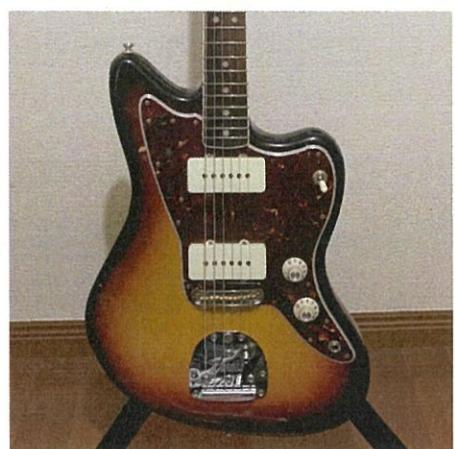
こういったものをどんどん発案してほしい

7. お知らせ

ひとまず、SNSアカウントを作成しました。

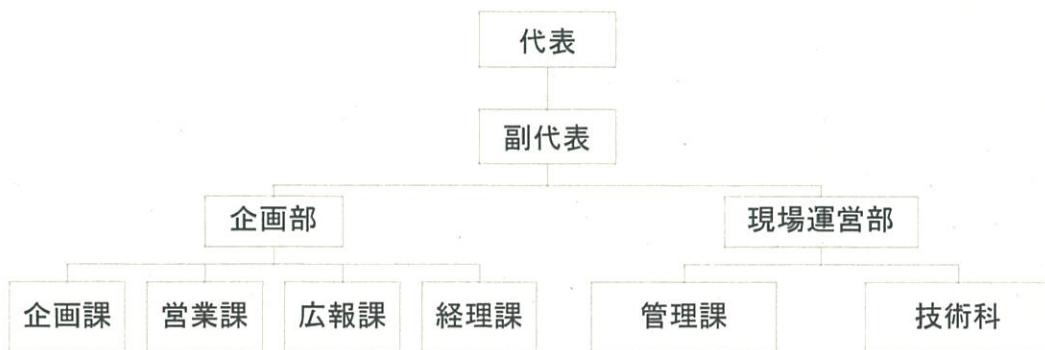
Twitter @Sasebo_Fes

Instagram sasebo_fes



佐世保フェス(仮称)実行委員会の組織概要(案)

佐世保フェス(仮称)実行委員会組織図(案)



各部署の概要

代表及び副代表(各1名)

組織運営上の代表及び副代表。

企画部

企画課

みんなで話し合って「こんなイベントがしたい。」「こういう内容でこの場所を押さえてやりたい。」という内容を、実行可能な計画にするところ。イベントを作る上で1番大事なところ。

営業課

企画の計画を実行する上で、法人や会社などクライアントに対して営業や協力依頼などの業務を実際に行うところ。

広報課

イベントに際し、営業課のように一対一ではなく、外部に対し広く広報を行うところ。

イベントへの参加協力を広く広報するところ。

SNS 等の運用もここ。

経理課

イベントに際し、必要な経理業務を行うところ。

現場運営部

管理課

イベントの運営に際し、現場の運営ができているか管理を行うところ。

詳細は別紙参照。

技術課

イベントの運営に際し、機材の搬入や会場設営、ローディーや PA、照明や撮影、ステージ出演、飲食店の出店の出店などの運営業務を実際に行うところ。外部の技術者と同じ立ち位置で動くところ。

(注:特段の理由がない限り、管理課業務と技術課業務は、兼任できないものとする。)

佐世保フェス(仮称)実行委員会

現場運営部 管理課の業務内容について(案)

1. 概略説明

現場運営部 管理課は以下について現場の運営を管理する。

1. 安全管理
2. 工程管理(仮称)
3. 品質管理

2. 詳細について

安全管理については安全に関係する以下を管理する。

場内で危険な場所の有無の管理。危険箇所については規制、養生などを行う。

人の流れの誘導の管理。ガードマン誘導員の管理。

ステージ機材と人との接触がないかの管理。

場内で体調不良等の事態での対応の管理。

など、、、

工程管理については現場運営の工程に関係する以下を管理する。

必要な備品や消耗品など物品の管理。

滞りない運営ができているかの管理。

廃棄物の運搬保管処分の管理。

など、、、

品質管理については提供されるもの全般の品質に関係する以下を管理する。

時間通りに運営できているかの管理。

定められたこと以外の提供についての調整や実現の可否の判断。

食品の衛生管理の統括。

場内の治安衛生面の監視及び是正。

など、、、

3. 管理方法について

現場運営部長及び管理課長にはその業務に必要だと認められる範囲で割と大きめの権限を与えるものとする。

現場管理にあたるものは専用の腕章の着用を以て運営管理の人間であることを示す。

困ったことがあったら連絡をどんどん回してもらってできるだけ大人数で対応するも

のとする。頑張って助け合うものとする。

4. 管理業務のコツなど

非常事態のみならず、証拠になり得るものについては積極的に記録撮影録音等に努めること。

とりあえず撮影しておけばどうにかなる。

また、情報の共有についても積極的に行うために何かしらの連絡手段を複数用意する必要がある。

佐世保フェス(仮称)実行委員会の運営理念(案)

1. 佐世保の魅力を生み出し、既存の魅力をさらにパワーアップさせ、佐世保をさらに多くの人に知ってもらえるように、たくさん的人が佐世保を好きになってもらうように
2. 芸術家、飲食店、オーディエンス、運営陣、etc...佐世保フェス(仮称)に関わる全ての人が、それぞれの分野での居場所を佐世保フェス(仮称)で見つけられるように
3. なんか楽しくて笑えるような何かができるように

以上三点を実現することを理念として活動にあたる。

野球で深める日米交流 in SASEBO

目的：多文化共生社会の理解促進（スポーツ＆食）

大人から子どもまで楽しめるイベント開催によるにぎわい創出

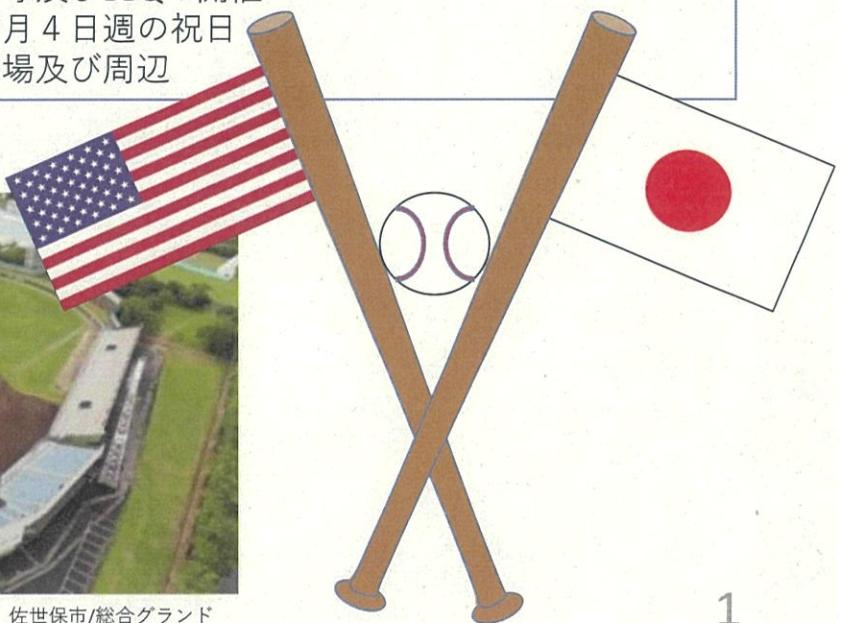
内容：小学生による日米野球及びBBQの開催

開催日：アメリカ独立記念7月4日週の祝日

場所：ニミツツパーク野球場及び周辺



佐世保市/総合グランド



1

【賑わい創出】 提案の背景について

国際色豊かな特色を活かして、文化交流できる機会をつくり、活性化を図る。



←四ヶ町アーケード

↓外国人Bar

参加者が楽しめるイベントを実施し、親睦を深め、多文化交流を図る。



←SASEBOバーガー

↓交流イベント

日本でも親和性のある**野球によるスポーツ交流**及び**BBQ**を実施できないか。



写真提供：(一社)長崎県観光連盟

【日米交流イベント】開催場所について



【賑わい創出】 現状について

既存イベントの開催状況

英語で交わるまちSASEBOプロジェクト



出典：佐世保市HPより

本市の外国人

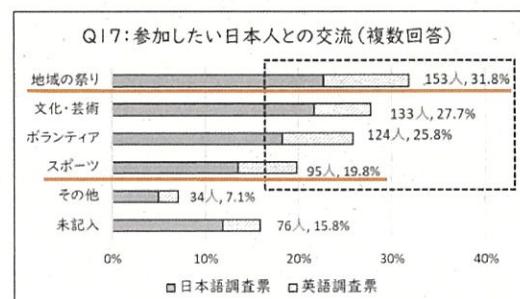
- 外国人市民1,520人（2021年）
- 米海軍佐世保基地関係者約7,000人（2021年）
- 外国人観光客約140,000人（2020年）

出典：佐世保市HPより

外国人市民のニーズ

③ どのような交流を望むか【Q17】回答者 481名

- 3割前後の回答者が地域の祭り、文化、芸術、ボランティア交流を望んでいる。
- 次いで、スポーツ交流が約2割。



出典：2019年度佐世保市外国人市民アンケート報告書より

【日米交流イベント】関連

佐世保市の野球場の歴史

昭和24年頃～ 現体育文化会館付近



体育文化館の位置にあった佐世保野球場

Copyright(C) 2005 Sasebo City,Sasebo City Sports Foundation,Sasebo City Amateur Sports Association,
Sasebo Gymnastics Instruction Committee Conference,Sasebo City Junior Sports Club,ALL Right Reserved

今は昔、当時を知る証言者によると....

米海軍の軍艦が入港する度に市内軟式
野球チームから選出された
全佐世保チームと米海軍チームとの
親善試合が度々実施されていた。

他都市の状況

日米親善交流事業

野球及び食文化交流

平成24年3月24日(土) 神奈川県横浜市 米海軍上陸部隊内グラウンド

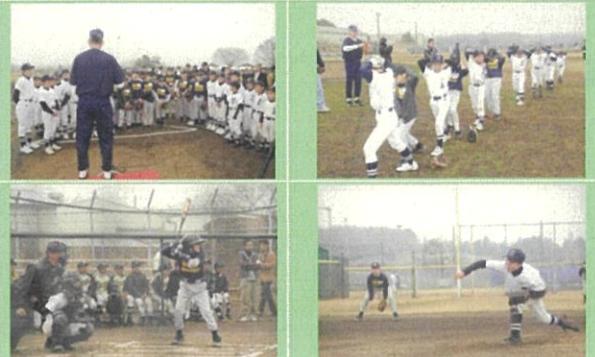
平成24年3月24日(土)、南関東防衛局主催により、神奈川県横浜市内にある米海軍上陸部隊内グラウンドにおいて、横浜市鶴見区の日本側児童と米海軍厚木航空施設の米側児童等約100名が参加して、野球及び食文化交流を行いました。

野球教室、少年野球大会と、縛つき・そば打ち・ハンバーガー作り等食文化の交流を通じて、地域における相互理解を深めると共に情報開拓の確認を図ることを目的に実施したものです。



◆野球教室及び少年野球大会

在日米海軍厚木航空施設司令官のウィーマン大佐による野球に関する講話と野球教室を開催し、その後日米が混合となりチーム対抗で少年野球大会を行いました。



5

【日米交流イベント】参考

アメリカ人のよくある独立記念日の過ごし方

3色で飾る

この日は独立記念日を祝うため、赤、青、白の服を着る人が多いです。

この3色は、アメリカの旗の色、アメリカン・カラー

独立記念日をアメリカ人がどんな風にお祝いするのか、統計で見てみると

1.バーベキュー・ピクニック：65.5%

半数以上ってスゴイですね。

2.花火：43.6%

独立記念日と言えば花火です。

3.パレード：13.5%

グッと少なくなりますが、パレードも定番イベントです。

4.旅行：13.3%

連休なので旅行に行くのもアリですね。

5.何もしない：11.6%

もちろん、こういう方も。

6



SDGsイベントで 佐世保を盛り上げよう

九州ワーク（株）三岳 比香莉

SDGsイベントの開催

目的

- ・佐世保でのSDGs認知度アップ
 - ・佐世保の企業のSDGs活動を広める
 - ・SDGsを通じて、地域の交流を深める
- **共催、後援**：信用金庫、県や市など
- **ターゲット**：中小企業（企業）・地域の方々（個人）

—例— 同業社（大阪）の サステナブル展様子

1 F : 各企業等のSDGs活動展示エリア

海洋プラスチック

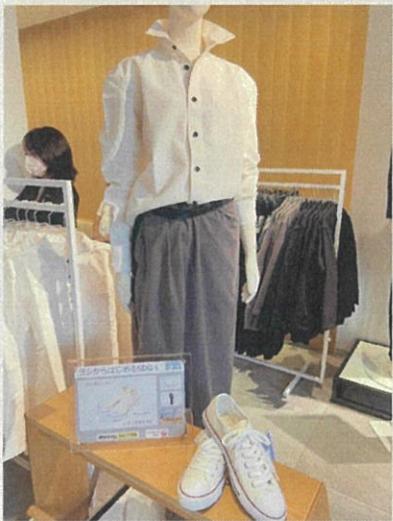
ペットボトルキャップから作る
コースター・ボタン・カラビナ



1F : 各企業等のSDGs活動展示エリア

ヨシから始まるSDGs

環境保全で刈り取った「ヨシ」を使ったユニフォームの提案



1F : 各企業等のSDGs活動展示エリア

ユニフォームのリサイクル

再利用可能な衣類を販売することで市内で循環させるプラットフォーム



4 F : 講演会場・サステナブルウェア展示ルーム



7 F : メーカー展示エリア



展示会場は？

- ・アルカス佐世保
- ・1会場を2つに分ける（企業向け/子供向け）
- ・17のゴールのうち、どのゴールかを明確に

展示内容は？

- ・**ゲームで体験型**
(キャップで野球大会、リサイクルをすることにより、ゲームができる)
- ・**出展募集**
17の項目ごとに、佐世保の企業や学校から募集
- ・**入り口をつくる**
インフルエンサーなどを呼ぶ

**佐世保のみんなで楽しく
SDGsを広めていこう！**

松かさ焼、一休の回転焼に続く 新ソウルフード /

旅する

地域がつながる「させぼ おやき」

を開発します。

地域に様々な人が訪れ、関わり、地域とつながって

今までにない面白い動きが生まれる。

そんな期待を込めた「まちづくりの新しい仕組み」です。

何をつくる?

地域のみんなで

つくる新しい名物

何でつながる?

佐世保らしい具材を使った

「あん」でつながる輪!

させぼ
おやき

PROJECT

誰にひびく?

シェアしたくなる

ビジュアルで

SNS世代の若者にひびく

SDGsにつながる?

地域活性化に

つながる持続可能な

まちづくり

①

させぼ
おやき

地域がつながる「させぼ おやき」 コンセプト

つながる可能性は「ガワ」と「あん」! ヒントは2つのご当地グルメでした。



有田の
ちやわん
最中

中身は
自由!
(可能性)

- # 中に詰めるものが期間限定やイベントで変わる
- # 中に詰めるものは食文化そのもの



牛津の
カルチャー
焼き



ぎょうざも
あんになる!?

「あんこ」だけじゃない!!

お惣菜や甘味など、多様性に富んだ「あん」でつながる「ソウルフード」。

→ 佐世保は食文化と食材の宝庫!

異国の文化が交差する街なかエリアの食文化や、九十九島の海の幸
里山の豊かな農産物、三川内や江迎など歴史感じる食文化も!▶ 佐世保らしいビジュアルの「ガワ」に
佐世保らしい「あん」を詰める!

②

地域がつながる「させぼ おやき」

旅する

おやきの形と具

形は 佐世保の伝統玩具
佐世保独楽市内のあちこちに
独楽のオブジェ!
佐世保の
アイコン的存在オリジナルの
焼き型を制作

たとえば...

あんの味は「佐世保バーガー」

断面

たまご
チーズ
ベーコン
パティひと目で
表面には
具材がわかる
焼印おやき+佐世保らしい風景
SNSでシェア
したくなる形
旅する
市内の名所など
おやきと一緒に佐世保を巡ってもらい、
おやきと風景を撮る
させぼの思い出
イメージ食感や生地は
回転焼きに近い
惣菜にも合うように
柔らかく甘くない生地

(3)

地域がつながる「させぼ おやき」

旅する

おやきでつながる「まちづくり」の仕組み

飲食店

名物グルメ
自衛隊カレー
佐世保バーガー^①
レモンステーキ…販売店
メーカー銘菓・ソウルフード
味カレー
ジャンボ餃子
玉屋のサンドイッチ…

農家

地元産品・西九州食財など
世知原茶
さとむら牧場のチーズ
ジャンボニンニク

SDGs にも

廃棄されるもったいない食品・食材を使った開発。地域課題の解決のつながることで、誰でも参加しやすい取り組みに。

させぼ
おやき
PROJECT佐世保の魅力や
特徴をおやきで
知る機会になる!

観光

ご家族や友人に
お土産名所も含めて
佐世保っていいわ!SNSで
拡散学校と
コラボ!高校生や大学生と
商品開発でつながる!販売方法は
参画飲食店やイベントで販売!期間限定販売、定期販売
YOSAKOIさせぼ祭り、物産展
マラソンなど(SNSで告知)

地域がつながる「させぼ おやき」

佐世保らしい「あん」案

①飲食店の味をあんに

佐世保のソウルフードや名物料理を提供する店舗や
地元を盛り上げたい店舗が参戦!



佐世保バーガー

ベーコン・チーズ・タマゴ・パティ



海軍さんのビーフシチュー

牛肉ヒシチュー



レモンステーキ

牛肉ヒレモンソース



海軍さんの入港ぜんざい

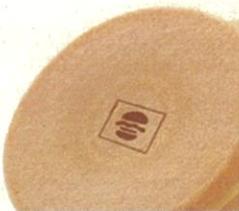
あんごと白玉



自衛隊カレー

自衛隊カレールウ

かわいい!
オリジナル焼印を
デザインします。



②販売店の銘菓などをあんに

物産店や販売店・メーカーなど、すでに商品化している
佐世保の銘菓などとコラボ!



味カレー

味カレーのスナック入り



佐世保豆乳

甘い豆乳クリーム入り



ジャンボ餃子

ジャンボ餃子入り



九十九島せんべい

せんべい入り



玉屋のサンドイッチ

甘いマヨネーズと野菜

SDGs/

③地元食材をあんに

農産物など地元農家さんが作った地元食材で、
規格外品など商品として販売できないものを使用



世知原々

世知原茶・世知原茶クリームなど



針尾のみかん

みかんクリームや果肉



味美（みよし）レモン

レモンクリームや果肉

(5)

地域がつながる「させぼ おやき」

持続可能な「させぼおやき」にするために

企画を
具体化!

【実現に向けた3つのプロジェクト】

① プロジェクトに参加したくなる
ストーリーづくり

② 市民のみんなで
おやきの誕生を祝う

③ ソウルフードとしての
定着に向けて

ワクワクする
おやきプロジェクト
スタート

P7へ



みんなで
つくる
おやきが誕生

P8へ



持続可能な
仕組みへ

P9・10へ

準備期間

1年目

~3年

立ち上げ・準備期

誕生期

定着期



(6)



地域がつながる「させぼ おやき」

応援したくなる! 参加したくなる!

みんなのワクワクがスタート (立ち上げ・準備期)

ストーリー
のはじまり

「佐世保未来デザイン会議」から生まれた 新ソウルフード!!

ただのソウルフードを作るのが目的ではありません

ソウルフードを通して
みんなが笑顔になる
新しいまちづくり

立ち上げ資金

焼き型・焼印・包装紙
その他運営資金など

スタートアップ
→ 佐世保未来デザイン会議で
「させぼおやき実行委員会」をつくります。

同じ志を持つ仲間と一緒に



→ 補助金に頼るのではなく、
みんなでつくるをカタチにできる
クラウドファンディングで資金を集めます



みんなでつくる一体感!
→ **参加型ソウルフードでスタート**

⑦



地域がつながる「させぼ おやき」

みんなでつくる「させぼおやき」が誕生

(誕生期: 1年目)

市民の
みんなが
生みの親

みんなの手で誕生させる。
そして、みんなで誕生を喜ぶ。

公募型で生まれる

中身も見た目も公募型ものづくりでスタート
みんなで参加して、投票して、みんなでつくっていきます。

型の
デザイン
詰めるあんの
アイデア



焼印の
デザイン
包み紙の
デザイン

一般市民公募
[SNS等も活用]

**誕生と成長を担う
仲間を増やす**

実行
委員会

参加

例えは...
(市)観光課
(市)農政課
観光コンベンション協会
物産協会
青年会議所
商工会議所
企業・団体
高校・大学
長崎県立大(佐世保独楽サークル)
etc

定期的に
委員会を開催

**協力店を募集
複数でスタート**

A 団体
B 団体
C 团体

1 団体独占販売ではなく
焼き型を貸し出し
複数店舗で販売。

持続可能な製造と販売の
仕組みは次ページへ



旅する
地域がつながる「させぼ おやき」

ソウルフードとしての定着が 持続可能な仕組みづくりに繋がる (成長期:~3年)

みんなの
おやき

相互にメリットがある ビジネスとしての「おやきづくり」。

「佐世保の新ソウルフードのタネを一緒につくりませんか?」という呼びかけを行い、「作り手」になってくれる飲食店や「売り手」を募集します。

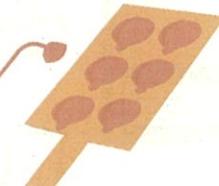
焼き型を協力店に
貸し出す

あんは飲食店に
監修を依頼も検討

実店舗に限らず
自由な形態で販売する

イベント販売の売上で
焼き型を増やしていく
ことも検討

焼印も



+

あんは飲食店に
監修を依頼も検討

あん

売れるあんづくり

+



誰でも「作り手」になれる

誰でも「売り手」になれる

地域貢献も考えたSDGs的「おやき」を目指して→

⑨



旅する
地域がつながる「させぼ おやき」

させぼおやきの販売方法

佐世保のいろんな場所で食べられる!

誰でも手軽に作れる!

販売方法

- させぼおやき実行委員会で定期販売
- 協力店舗で随時販売
- 物産展やマルシェなどのイベントで販売
- 各観光名所で定期販売
(九十九島パールシーリゾートやハウステンボスなど)



SNSで
話題
づくり

集客

井上フルーツサンドのような
イベントで人を呼べる存在に!

おやきの焼型を安価に量産できる



シリコン製の
焼き型も検討

3Dプリンターで試作づくり
焼き型の量産化など

シリコンでも
細かい形を
再現できる



シリコンケーキ型

⑩

地域がつながる「させぼおやき」

おやきが集客になり、おやきが仕事になる。

地域の魅力をアップし、働きがいや雇用を生み出す仕組みづくりで
地域に根付いたソウルフードとして成長させていきます。

販売スタッフ

- させぼおやき実行委員会
- 就労継続支援B型事業所との連携販売
- こども食堂への提供
- 学生や、主婦の方がスタッフに!
⇒ちょっとの空き時間で販売のバイトができるような
仕組みづくり(管理ツールを活用する)
- 佐世保独楽サークルのイベントで販売
サークルの伝統になれば

SDGsにも
つながる

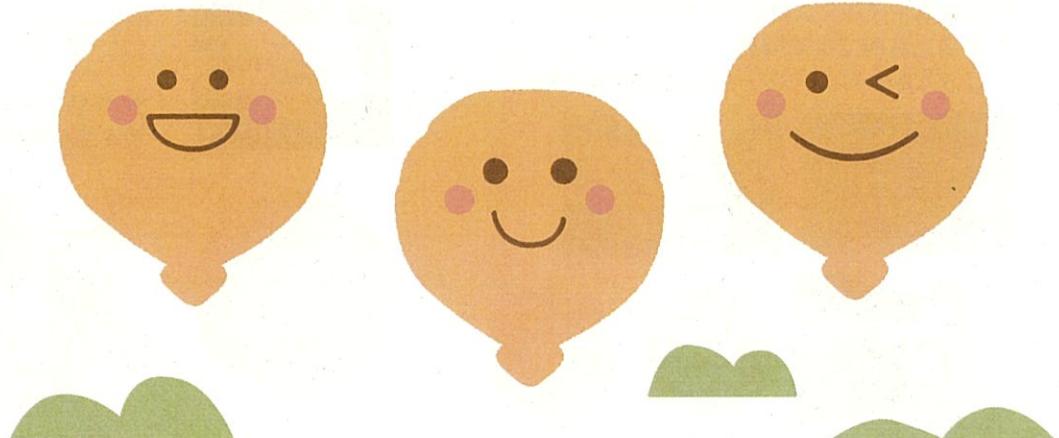
みんなが手軽に働きに来れる
仕組みづくり

シフト管理の アプリを活用!

子育てママや学生が
気軽に働きやすい
環境を整える

新しい
ソウルフード

「させぼおやき」を通して
みんなが笑顔になる 新いまちづくりを
一緒にはじめましょう!



Thailand × SASEBO

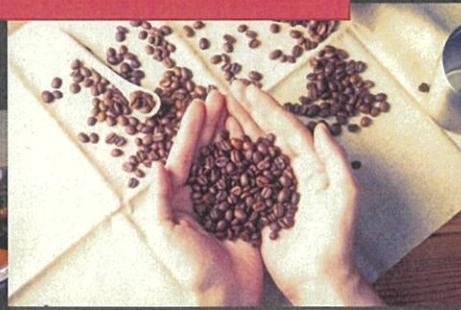
2022年12月23日提出 豊島 紗耶

佐世保でやりたいこと

①タイ北部から輸入したコーヒー豆を使ったタイカフェ

②そこで、タイならではのもの（タイパンツなど）を販売する
プラットフォームになる

③夜は人が賑わうタイの屋台を模した大衆居酒屋に



なぜ自身がやりたいか？

- ✓ 自身のタイでの経験（2017年～2021年）
- ✓ タイとなんらか繋がって恩返しがしたい
- ✓ 佐世保の人にタイを広めたい。まだまだ認知度は低いと考える。お互いに佐世保⇒タイを知ることで、行き来し、さらに経済が回る
- ✓ タイ人が訪れやすい街（タイ料理屋やカフェ）にすることで、地方をPRできる
- ✓ 大都市（東京・大阪）は有名だが、地方はまだまだ知られていない現状
- ✓ タイの地方の活性化（コーヒー豆輸入、物販輸入）

なぜ佐世保でやるか？

- ✓ 佐世保のアーケード街の閑散、昔のにぎやかさを取り戻したい⇒魅力的な街、つまりテナントの充実が必要
- ✓ 米軍基地があることで、外国人が多い⇒外国人にとってタイ、タイ料理は魅力的（タイ人がアメリカに住んでいるケースが多い）
- ✓ 地方活性化。日本に旅行をした時にSASEBOを訪れてほしい
- ✓ 東京や大阪ではタイが好きな人は多いが、地元はまだまだ国内志向であり、佐世保の人がタイの良さを知るきっかけになってほしい



具体的なイメージ

昼



タイスタイルのカフェを屋台
の椅子・テーブルで提供

夜



お酒・簡単なタイフード（お
つまみ）を提供

稼働率を高める



課題・やるべきこと

- ✓ タイ人がスタッフとなるか？自前でやるか？⇒雇用が必要、VISA等の問題
- ✓ 輸入のパートナー探し
- ✓ 佐世保にあるタイ料理や（2店舗）との差別化を明確に
- ✓ プライシング（高すぎても魅力がない）
- ✓ マーケティング（SNS？広告？）
- ✓ 初期投資、固定費の維持

APPENDIX

タイの屋台

手軽に・安く食べれる「場」、人々の生活に不可欠な「場」



人が集まる「場」の提供



佐世保が・・・・・

- ✓ 人が集う場所になることで、様々な人との繋がりができる
 - ✓ 街に活気があふれる
 - ✓ 人が集まれば、他の人へ波及しさらに人が集まる

未来デザイン会議

行きたくなるような街へ。



池田淳一郎

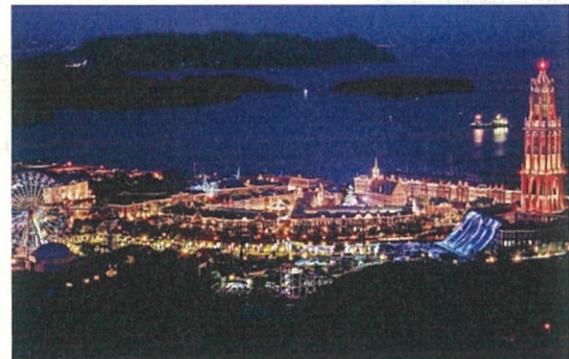
はじめに

自己紹介でもお話しましたが、趣味のカメラを通して
佐世保が魅力溢れる街であると改めて感じました。

やってみたいこと、実現したいこと。

①イベントの企画

②SNSで情報発信



何より佐世保のことを知つてもらい、たくさんの観光客が訪れる。

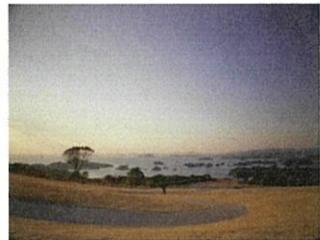
ハウステンボスは、佐世保市が誇る有名スポットですが、まだまだたくさんある！

また行きたいと思って頂けるような取り組みをし、魅力を伝えていけたらと考えます。

①イベントの企画

・撮影会の実施

ニッチな案ですが、例えば県内で実施されている車のモーターショーや、ワークショップの実施。



多くの観光客を誘致するには、
大きなイベントを試みることも必要だと思います。
開催場所は、観光スポットにて行う。



データは一昨年のものですが、令和3年度も同様減少といった形で終えている。
逆にこのコロナ禍においても、動植物園等屋外の施設、観光地は息を吹き返す勢い。

屋外のイベントは、より集客をしやすいのでは？

②SNSで情報発信

SNSが主流になってきた今、良さを周知していくには
必要不可欠と考えます。

・未来デザイン会議としてのアカウントを作成。(Instagram、facebook等)
佐世保市のアカウントと共同で行い、ハッシュタグを作り、
抽選で当選された方へ、図書カードなどプレゼント。
市内の方にも認知して頂くために、楽しい取り組みも大事と思います。



・インフルエンサーの方との共同作業
YouTuberや、TikTokerといった方々へ協力を依頼し

実際に我々も足を運び、佐世保の良さを再発見。

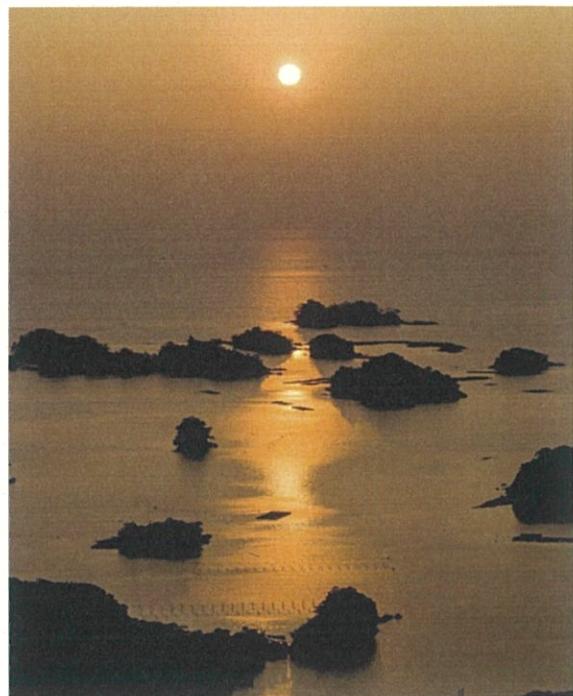
佐世保も嬉しいことに、映画やドラマなどの撮影舞台としても
使用されることが増えてきました。

聖地巡礼といった形で、県外から来られる方もいらっしゃると聞きます。
そこにフォーカスすることで、佐世保のファンも多くできると考えます。



県外の方の誘致で、街を盛り上げていくことが、市にとっても経済効果を大きく動かす鍵だと思いますが、
佐世保在住の市民にも目を向け、活気のある街にしていくことも必要を感じます。

ご清聴、有難うございました。



『私の佐世保、No.1!!』

令和4年11月28日

古川幹洋：古川企画（ロボット、AI開発）



ワンランク上の観光都市へ

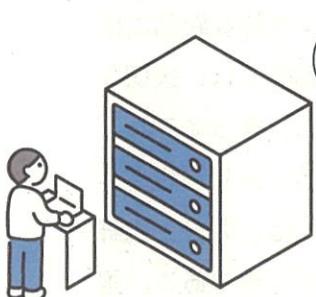


「佐世保じゃないところから来た友達に
ぜひ紹介したいという佐世保の商品やサ
ービス、観光名所などを教えてください。」



「エレナのお寿司！」
「そういえば美味しいケーキ屋さんあるよ！」
「アーケードにはいいバーがあってね。」

↓
市民アンケート



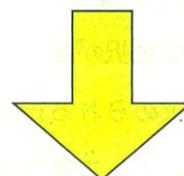
集計
ランキング付け

4



「へえ、そんなところがあるんだ！」
「地元ならではの情報だね。」
「ここが佐世保で一番らしいわよ。」

↓
観光情報
として公表



地元の人が
おすすめする
場所って
ここなのね！



市民活動としての観光

『佐世保、私のNo.1』

令和4年11月27日

古川企画 代表 古川幹洋（ふるかわ まさひろ）

目次

目次

観光とは”象徴”

- 余ったエネルギーが行き場を求める
- エネルギーは”象徴”へ向かう
- 30億個の移動先から1つを選ぶ
- 観光とは”象徴”である
- 象徴を生みだすメディア

市民活動としての観光

- 情報の取捨選択が鍵
- 公平性が求められる行政
- 市民活動によって象徴を生みだす

『佐世保、私のNo.1』

- 提案内容
 - 1. 佐世保市民にアンケートをとる 3
 - 2. 集計し、分野ごとにNo.1を決める 3
 - 3. 観光情報として利用する 4

期待できる効果

- 1. 他の自治体との差別化 4
- 2. 市民の観光意識が高まる 4
- 3. より観光しやすくなる 4

観光とは”象徴”

「観光とはなにか？」と問う時、一般的には、国土交通省による平成7年6月2日、観光政策審議会の「今後の観光政策の基本的な方向」に遡る。ここでは、観光は「余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、ふれあい、学び、遊ぶということを目的とするもの」と述べられている。確かに、これは人々の観光活動を的確に説明している。

しかし、ある種の観光政策や観光のための活動を考えようとする時、「人々が暇な時間に出かけて、遊んでいる」という理解では、適切な方向性を見出すことはできない。言ってみれば、これはミクロの観光的説明であり、観光のための活動を考えるにあたっては、もっと視野の広いマクロな観光イメージが必要である。国土交通省の定義を踏まえて、もう一度観光というものを考えてみる必要がある。

余ったエネルギーが行き場を求める

国土交通省の定義から考えれば、観光は「余暇活動」によるものである。人々がある種の持て余したエネルギーが行き場を求めて、観光という形に変わっていると考えることができる。時間とお金に十分な余裕がある時、観光活動が発生してくる。

たんにエネルギーが行き場を求めているから、他の用事はある種ついでとして発生していく

る。友人や家族との親睦を深めるためであったり、インスタ映えする箇所を巡ったり、バイクでツーリングしたり、歴史的な場所を回ったり、アニメや漫画の聖地巡礼したりと、観光活動は様々に複雑な形態をとって現れてくる。

これは、一般的なサービスの需要が、ある程度確定的に現れてくることに比べると非常に象徴的である。例えば、人は病気にかかれば病院へ行き、お腹が減れば飲食店へゆく。しかし、観光は何か困ったことがあるから観光に出かけるという訳ではない。時間と資金の余裕が行き場を求めて、人々に観光活動を生じさせる。

エネルギーは”象徴”へ向かう

こういった人々のエネルギーは一体どこに向かうのかと言えば、”象徴”である。インスタ映えする場所、アニメ・漫画の聖地、歴史的スポット、美味しい食べ物、美しい景色、そういった人々のエネルギーの行き先は、その人にとってシンボル、すなわち象徴である。

象徴とは、「抽象的な思想・観念・事物などを、具体的な事物によって理解しやすい形で表わしたもの」（日本国語大辞典）のことである。渋谷でハチ公という銅像の前に人々が集まるのは偶然ではない。人々が移動する先には何らかの象徴が必要なのである。

30億個の移動先から1つを選ぶ

仮に佐世保市を観光すると考えたとしても、佐世保市の面積は426.01平方キロメートル、（令和3年7月、佐世保市）それに対して人の大きさは、経済産業省の人間特性基盤整備事業（平成19年3月）を参考すると肩幅約400mm、胸幅約350mmとなっている。佐世保市の面積で割ると、約30億通りの地点に人は行くことができると言える。

それに比べて、ふつう人は観光でどこの緯度・経度に行こうか、などと考えたりしない。それは先に述べた”象徴”が機能しているからである。

観光とは”象徴”である

こういったことから、蜂が自然と花に群がるように、観光において人々はこういったある種の象徴に引き寄せられて移動していく。このことから、まず観光というものをいわゆる観光名所という捉え方をするのではなく象徴として捉え直すことで、観光政策をどのようにすべきかが明確になってくると考える。

もう一度、象徴の定義に戻るが、象徴とは、「抽象的な思想・観念・物事などを具体的な事物によって理解しやすい形で表わしたもの」である。

例えば、「佐世保市」というのは抽象的な概念で、もし佐世保市を分かりやすく表す存在があれば、それが象徴になり、観光名所が生じる。具体的には、佐世保市で過去一番身長が高かった人の絵を実寸大で看板にかけば、それはある種の佐世保市の象徴であり、観光スポットが生じることになる。

象徴を生みだすメディア

テレビで取り上げられたということで、あるお店や観光名所が賑わうことはよく知られていることである。メディアによって、単純にたくさんの人々に知られるという効果もあるが、メディアそのものが象徴を生みだす装置と言ってよい。

先程、30億個の移動先から1つを選ぶという話をしたが、この時重要なのが情報の取捨選択である。佐世保市の中にもラーメン屋がたくさんあるが、結局人々はどこに行くべきかと

いうものをはっきり持っている訳ではなく、近いからとか、幾つか行った中で美味しいとか安いとかそういう点で店舗を選択している。ここでメディアがあるラーメン屋を取り上げるとそこが象徴となり、人がそこに集まる。

市民活動としての観光

そこで市民活動としてこういった観光名所となる象徴を生み出していく仕組みを考えることが重要になる。

情報の取捨選択が鍵

先程、メディアが象徴を生みだすという話を述べたが、象徴を生みだすには情報の取捨選択が鍵となる。30億個の移動先から1つを選ばなければいけない観光の原理もそうだが、現代はスマホなどを中心にあらゆる情報が行き交う情報過多の時代である。

そこで観光情報を適切に発信するためには、出す情報を明確に絞る必要がある。

公平性が求められる行政

現在、様々な観光案内やパンフレット、CM制作などが佐世保市行政の取組みによって行われている。一方で、これら行政による観光情報には、「観光は象徴である」という点から一つの決定的な問題点がある。

すなわち、行政には公平性が求められるということである。例えば、佐世保市の神社マップを行政が作ったとして、それぞれの神社が網羅され地図に分かりやすく描かれるだろう。しかし、特に佐世保をよく知らない観光客が求めているのは、「ズバリどこに行けば、佐世保の神社を分かったと言えるのか、その象徴はどこか?」ということである。しかし、これをもし

行政がそのまま行おうとした場合、ある1つの神社だけを顕著することになり、公平性の観点から問題になってしまう。これは他の飲食店や観光名所でも同様である。行政はそのままの形では特定の箇所を佐世保市の象徴として顕著することができない。

市民活動によって象徴を生みだす

この問題を解決するために、まず市民の活動によって佐世保市の象徴を生み出し、そしてそれを行政が観光情報として利用することで、行政が特定の地点や業者を顕著することなく、より明確な観光メッセージを生みだすことができる。

『佐世保、私のNo.1』

提案内容

そこで、これらの問題を解決する具体的なアイデアとして『佐世保、私のNo.1』という構想を提案させていただく。

主な工程は次の3段階である。

1. 佐世保市民にアンケートをとる
2. 集計し、色んなNo.1を決める
3. 観光情報として利用する

1. 佐世保市民にアンケートをとる

まず、佐世保市民へ「佐世保市外から来た友人にぜひ紹介したいという佐世保の商品やサービス、観光名所などを教えてください。」というアンケートをとる。

2. 集計し、分野ごとにNo.1を決める

アンケートを集計し、より多く声が集まつたものをNo.1として決める。ランキング形式で

No.1から順にランキングをつけていく。アンケートの声をそれぞれカテゴリに分類し、飲食店やハンバーガー、公園、温泉、果物、みかんなど様々なカテゴリで集計を行う。

3. 観光情報として利用する

これらのランキング情報を観光案内のパンフレットやHP、告知に利用する。特に、掲載スペースが狭いものではNo.1に絞って掲載できるし、スペースが広いものではNo.1から順にランキングを掲載できる。

期待できる効果

この一連の活動によって期待できる効果としては次の3つを挙げることができる。

1. 他の自治体との差別化できる
2. 市民の観光意識が高まる
3. 佐世保がより観光しやすくなる

1. 他の自治体との差別化できる

もちろん他の自治体がこれに追従すれば、差別化する力は少なくなるが、佐世保はNo.1を明確にしているという点は観光において非常に有利である。

例えば、隣の佐賀県にはラーメン屋がたくさんある。口コミで美味しいと言われるところもあるだろう。佐世保市は、市民が選んだNo.1が発表されており、すばりどこのラーメン屋が市民の選んだNo.1のラーメン屋かがはっきり分かれているのである。

さて観光客はどこに行くだろうか。私が思うところでは、基本的に人はNo.1を見に行きたい、経験したいと思っていると思う。

観光客が周辺でどこのラーメン屋に行こうかと考える時、このNo.1という「象徴的情報」が鍵となり、そこに客を誘導しやすくなる。この

ため、他の自治体に比べて、象徴的情報で優位に立ち、観光客を引き寄せることができる。

2. 市民の観光意識が高まる

観光というと、行政のものかあるいは特定の観光スポットのものというイメージがある。この『佐世保、私のNo.1』というアンケートにより、広く市民に観光が市民のものであるという意識を持つもらうことができる。また、佐世保の魅力あるものを発見し、観光客に教えるのは私達市民であるという観光への意識が芽生えてくることが期待できる。

また、佐世保市民が通りかかった観光客を案内する場合でも、「この市民アンケートのサイトを見ればいいよ」とか、「そうだね、市民アンケートのNo.1の景色がいいところは○○だよ」と明確に説明することができる。

3. 佐世保がより観光しやすくなる

こういったことから、市民が観光客に出会った時のツールになると同時に、観光客が遠方からインターネットで調べて、佐世保市に観光しようとする時にも、この「市民アンケートNo.1」を頼りにすることで色々なものを調べる手間が省け、短い時間で、「佐世保ってこういうところなんだな」と楽しむことができる。

また、佐世保市民自体が佐世保を観光する場合でもより観光しやすくなり、色々なNo.1を味わうことができる。

以上です。

ご精読ありがとうございました。

長崎県佐世保市横手町212

古川企画

代表 古川幹洋（ふるかわ まさひろ）

わたしのサセボ ～今こそ温故知新で～

食文化とは、ものがたり

佐世保の食べ物は美味しい！

↓
佐世保だから美味しい？

↓
「美味しい」は千差万別じゃない？

食文化とは、ものがたり

あの時、あの場所で、あの人と、
食べたアレ！

結構「味」っていうより「思い出」が強
いかも

3

心をつなぐまちでありたい

佐世保を

思う、懐かしむ

そういう愛着の湧くような「ふるさと」
感こそ

人の心に生き続ける付加価値

4

舌と心で共感を

佐世保のうまいもんを
「味」と「思い出」をセットにして発信
する

『わたしのサセボ大賞』の開催

5

わたしのサセボ大賞（仮）

5W1Hで、佐世保の食（店）が関わる思い出を募集し、大賞を決める

効果

- ・店、商品の認知
- ・点ではなく面で魅力を感じてもらえる
- ・佐世保を懐古、来佐
- ・佐世保の良さを返し縫い

イメージは、SNSよりも結婚式のプロフィール動画に出るモノを目指す感じ

6

佐世保の魅力をミライへ

ふるさと感は、今だけでなく未来につなぐ

過去

わたしの佐世保大
賞

現在

多世代の交わり
佐世保の食文化の深ま
り

伝統+新しい食文化
佐世保への愛着と期待

未来

7

わたしのサセボ大賞 企画案

1. 開催内容

対象…開催案内は佐世保市で行うが、特に限定はしない

期間…1ヶ月

投稿内容はネット上で自由閲覧可（ワード検索可）

- ・他の投稿から想起する
- ・他の投稿から興味、関心がうまれる
- ・期間内にも店舗に足を運ぶ、美味しいお店を探す
- ・同士、仲間、ネットワークの広がり
- ・本イベントの盛り上がり

投稿方法…ネット、はがき等による投稿形式（複数投稿可能）

投稿者情報

- ① 名前…本名で無くても可
- ② 住まい…県、市選択
- ③ 年齢…年代選択
- ④ 性別…選択

投稿項目

① いつ…年月日、○歳の時、○年前、いつも、定期的に、○○の時

② どこで…★エリア選択 場所、店の名前

食堂、カフェ、居酒屋、バー、駄菓子屋、屋台、テイクアウト系、何でも

③ だれと…自分、友達、家族、団体、店員、その他

④ 何を（食べた、飲んだ）…メニュー、品目

⑤ エピソード…★カテゴリー選択 自由記載

2. 賞と特典

『わたしのサセボ大賞』…全投稿の中から、本企画の主旨に沿ったもの、かつ印象深いものを選

出

●投稿者（投稿内容に関わる人含む）にその店のメニューを1食ご馳走、店舗取材

『思い入れ賞』…カテゴリー毎にエピソードを選出

ファミリー、青春、おもしろ、感動、歴史、シュール、著名人など

●入賞投稿者にその店のメニューを1食ご馳走

『名物賞』…店＆メニュー、店＆スタッフ、投稿数1～10位をランキング

エリア別…北部（旧北松含む）、中部、南部、各地域上位10位

●各エリア1位の店舗に取材、閉店している店舗については期間限定で復活企画を提案

『サセボ愛賞』…佐世保愛を感じる、佐世保の「人」「もの」「まち」の良さを感じられるものを
選出

●佐世保市から素敵な贈り物

●各賞にちなんだ取材をユーチューバーに行ってもらう

特典案

- ・投稿は結果発表後も1ヶ月程度閲覧できるようにする
- ・投稿内容を自身の店舗に掲示し、個々のPRに活かせるように自由度を持たせる
- ・「イベントでこの店知りました特典」をつける店舗があればそれを紹介するなど、本イベントで

反響の

あつた店が企画するイベントの広報、イベントが店側の好機になる仕組み

3. 広報、宣伝

広報対象は佐世保市民、拡散は自由

協力依頼…市のHP、広報させば、ならでわ、ライフさせば、テレビ佐世保、佐世保ベース

開催前、開催中、結果発表、その後の取材

広報・審査に佐世保出身の著名人を起用する

候補者

村上龍（小説家）、前川清（歌手）、菅賢治（テレビプロデューサー）、たいらいさお（歌手）、城島健司（元プロ野球選手）、TAKAHIRO（EXILE）、小川慶太（グラミー賞ドrama）、横尾初喜（映画監督）、岩永徹也（俳優）、岩下優介（ニガミ17才）、スーパー三助（にゃんこスター）、ほか

5. イベント運営に関する確認、検討事項

- ・主催、運営
- ・不適切な投稿の管理（悪ふざけ、下ネタ、揶揄、誹謗中傷など）をどうするか
- ・投稿を受けての動き（ひやかし、トラブルなど）への対処、それを助長するような投稿の管理
- ・投稿者が投稿者以外の個人特定ができる情報を記載する場合の考え方
- ・同一人物による同じ投稿（投稿者の特定ができない）をどう扱うか
- ・実在していない店舗、市外の店舗に関する投稿はカウントしないが、その確認をどうするか
- ・表彰の際の本人確認をどうするか、個人情報の取扱について
- ・審査員の選出（佐世保にゆかりのある人、説得力・影響力のある人）
- ・投稿内容に虚偽がないかの確認、発見者から申告があった場合の対処
- ・閉店した店が復活する場合のサポート体制

第2章 アーケード

- 1 アーケードを西九州の観光と情報の拠点へ(松村拓将)
- 2 未来の佐世保(橋本翔太)
- 3 空き家・古民家再生案(森友那)
- 4 アーケード内の出店支援・助成、アーケードマルシェの開催(田中くるみ)
- 5 交流スペースをつくる+佐世保の国際色を生かしたまちづくり(田中美江)
- 6 市街地の空スペースの活用(岡本一成)
- 7 四ヶ町商店街の再編(植松もも子)
- 8 アーケードの再活性化への道(田崎獎)
- 9 ニューデザインのアーケード 日本一オシャレなアーケード街を目指して(藤本のどか)
- 10 毎週末のナイトマーケット『毎週祭りで何が悪い??』(地頭園佑太)
- 11 アーケードをぶっ壊せ~リメイクして創る佐世保市の未来~(折原優仁)

アーケードを西九州の観光と情報の拠点へ

アーケードの現状

人通り

平日 市民の高齢の方

(買い物需要)

土日祝 市民の方

(買い物娯楽需要)

キャリーケースを持ち歩く人をほとんど見かけない



→観光客の方はほとんどいないのではないか？

観光客を呼んでアーケードを更に発展させたい!!

その為に…

アーケード内の空き店舗を活用しよう！

現在アーケード内では空き店舗が10棟ほどあります。それは三ヶ町、四ヶ町ともに中心(島瀬公園)から離れていくと空き店舗が現れて、シャッターが見えてくる…。



リフォームして…

西九州の観光と情報の施設

施設の概要

観光客・市民双方の利用を

西九州広域都市圏の12の自治体(佐世保、平戸、松浦、西海、東彼杵、川棚、波佐見、小値賀、新上五島、伊万里、有田、佐々)の連携中核都市圏の観光と情報の拠点として機能。

佐世保市民による観光客へのおもてなし、市民の方の利用などの市民への行政サービスとしての機能。

◎各市町の紹介

- ・観光地の案内(アクセス等)
- ・各種制度の紹介案内
(Iターン・リターン・Jターンなどの案内)

気軽に聞けるような雰囲気作りを行う。

→イメージとしては携帯ショップの様なもの

◎物品販売

- ・西九州の特産品の販売
- ・軽食や飲料の販売

販売は外部委託を行う。スペースの短期間貸し出しを可能にする事よって個人の出店を増やし、お試しなどの利用も可能にする。

→出店料・利用料を安く設定する。

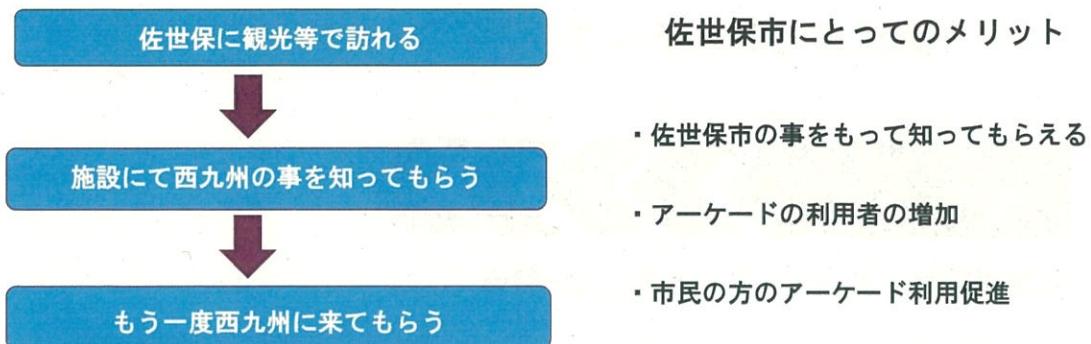
◎イベントスペースの設置

- ・西九州広域都市圏のちょっとしたイベントの実施
※各行政の利用も
- ・市民の方の利用
(個人活動の発表(音楽・芸術など)の利用)
- ・学生の学びとしての活用
(販売実習など)

◎休憩場所としての利用

- ・長いアーケードでエアコンの効いた屋内で休める

目的と狙い



資金回収

- ・イベントスペースの使用料
- ・物品販売のスペースの使用料

※リフォーム料などの資金をすべて回収することは厳しいと思うが、この施設で得られるは後々見えてくると思う。

それは佐世保や西九州の知名度 UP、アーケードの発展など。

完成までのステップ

ステップ1

佐世保駅からアーケードへと続く道の整備

佐世保駅東口(バスセンター側)からアーケードへと続く道の歩道に足跡を描く。

→佐世保にゆかりのある方の物にする。

ジャズなどの音楽を流す。

→ジャズの街としても押し出す。

四ヶ町アーケードの入り口に大型ビジョンを設置する。

観光客向け

観光地の紹介などを流す。

※土日祝などの観光客の訪問が増える時

市民向け

各種市政情報を流す。



ステップ2

イベントのアーケード実施

現在佐世保駅みなと口広場で開催されている西九州広域都市圏のイベント等を一部アーケード内で行う。

その他アーケードの特徴を生かしたイベントの開催で三ヶ町・四ヶ町アーケードの知名度を上げる

→イベントごとに来場者の集計し集客具合を調査する



ステップ3

計画の再確認と変更

調査結果を元に変更すべきところがあれば計画の変更を行う。

変更がなければ空き店舗のリフォームを始める。



ステップ4

情報発信をする

SNS、佐世保駅、長崎駅などで施設の案内を行う。



ステップ5

完成

施設の運用の開始。

情報発信は継続させる。

共に進もう西九州

この施設を拠点とし、西九州の観光客数をコロナ化前までの回復を目指します。そして西九州の事を知ってもらうことによって、興味をもってもらい I.U.I.T ターンの促進を行い人口減少の対策も行います。



西九州させぼ
広域都市圏



未来の佐世保

橋本翔太

実現させたいこと

1. アーケードの活性化

2. 異文化交流の発展

1. アーケードの活性化

現在アーケード内の商業施設やイベントが減少し
衰退しているように感じる



魅力を増やし全世代から愛されるアーケードへ！

<具体例>

- ・若者が楽しめる娯楽施設を増やす
- ・地域の学校と一緒に大きなイベントを開催する
- ・アーケード内の店舗と協力し、新グルメを作成し盛大にPRする
- ・各世代に向けて異なる観光マップを作成する。
(小さい子供向け、学生向け、大人向け、お年寄り向けなど)

2. 異文化交流の発展

佐世保には多くの外国人が住んでおらるが、なかなか交流する機会がない…



せっかくの良い環境を活かし、市全体の英語力を向上させ、
英語で交じり合う街を創りたい！

<具体例>

- ・学校単位で参加する交流会などの開催
- ・海外の料理が食べられる飲食店をまとめて市民に紹介する
- ・海外の文化を体験できる場を作る
- ・学校教育の場でもっと外国の方とコミュニケーションをとる機会を増やす

空き家・古民家再生案

森 ゆうな

県内の古民家再生事業

小値賀町 古民家ステイ

→ 古民家再生

地元の食材を宿泊客に提供（自炊可能、飲食店有）

島の暮らしを体験

→その土地の良さを観光客に知ってもらえる

→地域活性化に繋がる

<https://ojikajima.jp/category/kominkastay>

佐世保の場合

佐世保市内中心部に空き家が多い

→リフォーム

リフォーム後の提案

- ・コワーキングスペース
 - 市内のコワーキングスペースが少ない
- ・若者の集える場所
 - 今まで若者が遊んできた場所にマンションが建っている
それらの代わりとしての場所

若者の集う場所の提案

- ・カフェなどのSNSに投稿できるような場所
 - 音楽をかける
 - シーズンごとのイベントの開催
 - 日常では感じることのできない非日常感を味わうことができるかがポイント

利点

- ・若者に佐世保は楽しい、居心地が良いと感じてもらうことで地元での就職、Uターン就職をより推奨する
- ・地元で活躍する若者が増えることでの企業の誘致

懸念点

- ・空き家リフォームの費用
- ・コワーキングスペースを作るとしたら、その管理はどう行っていくのか
- ・若者の集う場所
→音楽のボリューム、種類
→イベントの規模



佐世保市で やってみたいこと・ 実現したこと

長崎県立大学 地域創造学部

3年 田中くるみ

佐世保市でやってみたいこと・実現したいこと

①アーケード内の出店支援・助成

②アーケードマルシェの開催

①アーケード内の出店支援・助成



現状・課題

- R2年度佐世保市中市街地通行量調査によると、前年より15,205人（29.4%）減少となった。主な原因としては新型コロナウイルスが考えられる。（佐世保商工会議所調べ）
- アーケード内の空き店舗率は14.62%（平成25年8月調査）
- 現在の佐世保市の空き店舗対応事業の現状は…

【補助金】魅力ある商店街創出支援事業補助金

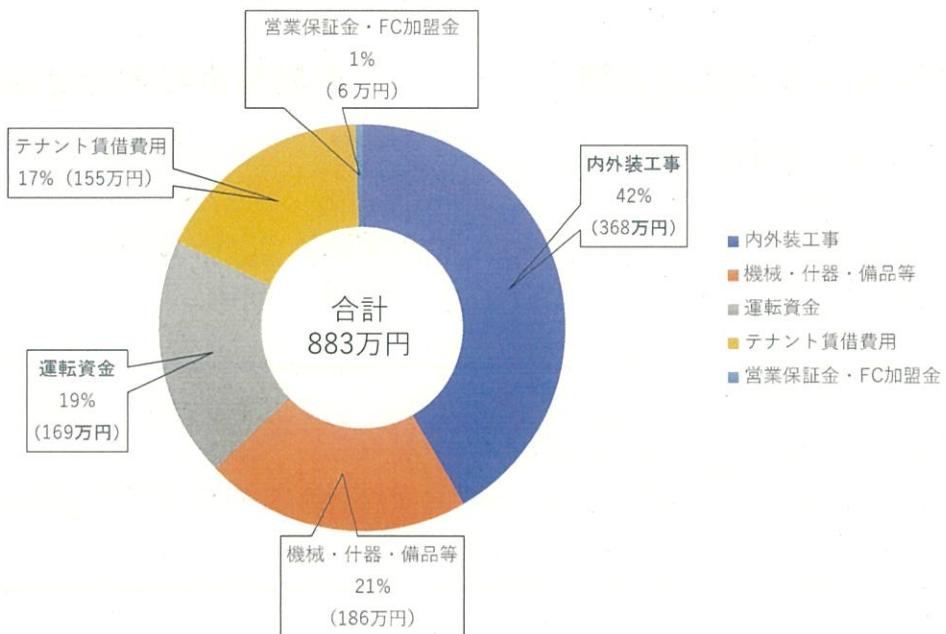
(3) 空き店舗対策事業

<事業内容> 空き店舗を活用したチャレンジショップ、交流広場など

<対象経費> 店舗賃借料、店舗改装費ほか

<助成額> 400万円以内で補助対象経費の3分の1以内

実際に開業にかかる経費(飲食店平均)



現在の事業支援を受けると…

- 補助対象経費 = 店舗賃貸料、店舗改裝費
先ほどの飲食店平均を例とすると内外装工事とテナント賃貸料が該当

$$\text{内外装工事 (368万円)} + \text{テナント賃貸料 (155万円)} = 623\text{万円}$$
$$623\text{万円} \times 1/3 = 207.66\cdots\text{万円}$$

最大207万円程度の補助を得られる。

しかし、開業費用の平均883万円 - 207万円 = **676万円** は実費



戸尾町市場空き店舗との比較

四ヶ町アーケード内空き店舗

賃料	20万円（管理費等なし）
坪単価	約1.7万円/坪
専有面積	39.67m ² (12坪)
築年数	48年

戸尾町市場内空き店舗

賃料	6万円（管理費当別）
坪単価	約5,222円/坪
専有面積	38m ² (11.49坪)
築年数	66年

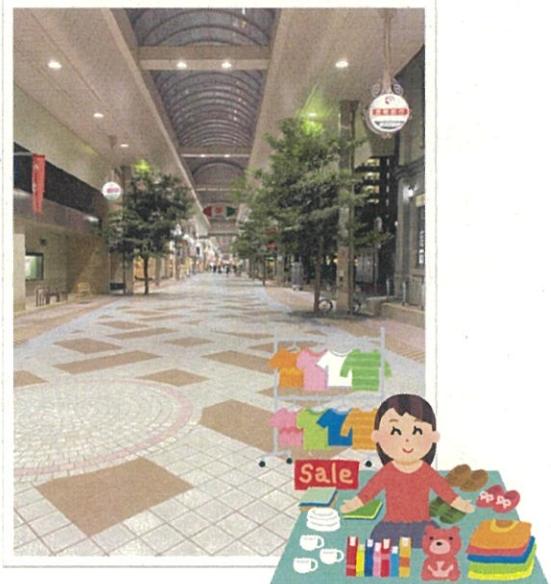
- アーケード内の空き店舗は戸尾町市場内の空き店舗と比較しても
約3倍以上の賃料の差が発生している。
- 実際に、最近では賃料の差から戸尾町市場内での**新規店舗出店数**が増加傾向にある。

①アーケード内の出店支援・助成

アーケード内店舗出店祝い金
アーケード内空き店舗への出店支援金・助成金の増加

②アーケードマルシェの開催

- ・三ヶ町・四ヶ町アーケード一直線の出店
- ・全年齢層が楽しめるように幅広い種類の出店者を募る
- ・県外からの出店者も募る
- ・将来的には2か月に一度などのペースでの開催を目指す



現状・課題

- ・SASEBOまちなかマルシェ2020

開催時期：ゴールデンウイーク（10:00～18:00）

開催場所：下京町アーケード、島瀬公園

出店数：24店舗

出店業種：雑貨、飲食、ファッショ n etc…

備考：店舗だけでなく、ステージイベントも開催

アーケードの離れた2か所での開催は不便
年に1回のペース

先行事例

- モラージュ佐賀（佐賀県）

およそ月に1回のペースでハンドメイドのマルシェ（フェア）を開催

モラージュ佐賀の北館1階の直線的なフロアで開催
九州のハンドメイド作家を集めた幅広い種類の出店

⇒お買い物ついでの購入や直線的なフロアでの開放感のあるマルシェとして楽しみやすい空間づくり

宣伝活動

- 主催機関だけではなく、マルシェの開催情報を発信しているSNSによる販促活動
- 右のアカウントは九州のマルシェ開催情報を発信しているマルシェカレンダーの長崎県版



参考文献

- ・日本政策金融公庫「創業の手引+」https://www.jfc.go.jp/n/service/pdf/sougyoutebiki_food_1405.pdf
(参照2022,11,08)
- ・佐世保商工会議所 令和2年度第36回佐世保市中心市街地通行量調査結果報告書
<https://www.sasebo-cci.or.jp/files/libs/1068/202011241548556014.pdf>
(参照2022, 11,09)
- ・佐世保市 【補助金】魅力ある商店街創出支援事業補助金
<https://www.city.sasebo.lg.jp/kankou/syouko/miryokuaruhojyokin.html>
(参照2022,11,09)
- ・させぼ四ヶ町 『秋のSASEBOまちなかマルシェ 2020』 2020年9月16日
<https://yonkacho.com/2853/> (参照 2022,11,09)
- ・佐世保不動産連合隊 戸尾市場テナント
<https://fudosan.cbiz.ne.jp/detailPage/rent/15005/5798/?prop=2&area=sasebo&fr=1> (参照 2022,12,20)
- ・佐世保不動産連合隊 島瀬町テナント①
https://fudosan.cbiz.ne.jp/detailPage/rent/15003/6598/?prop=2&fr=1&gl=1*g1anaj*gcl_aw*R0NMLjE2Njg0ODkyNzAuQ2p3S0NBaUE2OGViQmhCLUVpd0FMVkMt1mxZt0NVVOUd4cFpuYnNWRDBReGw1M25CS3QtNEVCaXJ1bEZIY1ExQWhHd0ZvS0dBSIFvRzJ4b0M2RUFRQXZEX0J3RQ..
(参照 2022,12,20)

SASEBO 未来デザイン会議 資料

長崎県立大学地域創造学部
公共政策学科 田中美江

佐世保でやってみたいこと・実現したいこと
→四ヶ町商店街の空き店舗を利用し、交流スペースをつくる
+佐世保の国際色を生かしたまちづくり

具体策（案）

空き店舗を活用し、フリースペースにする。内装のイメージとしては、床に座れるスペース（畳・芝生など）があったり、テーブルもあったり好きなスタイルでくつろいでもらえるようにする。**料理やドリンクの提供は無人で行えるようにしたい**

→決まった形ではなく、アットホームな雰囲気

軒先の活用

例) 熊本県 オモケンパーク 静岡県 ブンカ拠点みる
愛知県 セルフカフェ

公園にバスケットコート、スケボーレーンをつくる
音楽や装飾などもっとポップにする

外国人の方に料理教室を開いてもらう。(ハロウィンやクリスマスなど)

人が交流することも目的の一つなので、その場所で趣味会や同じ思いを持った人たちが集まるようなイベントを行う。語り合いたい趣味を募集し様々な分野の会を開く。
→起業したい人が集まったり趣味を深めることで佐世保の新しい創造につながる

企画を行ってみたい大学生などがいたら場所を貸す
→フリマや音楽イベントな学生とコラボしたイベントを開催する

課題

三ヶ町商店街は銀行や公民館などの施設が多いため、雰囲気が変わってしまうと反対も増えるのではないか
治安の問題

市街地の空きスペース活用

岡本一成

アーケード商店街の現状

私の気づき

- ・2階部分に空き店舗が目立つ
- ・人々の交流の場がない

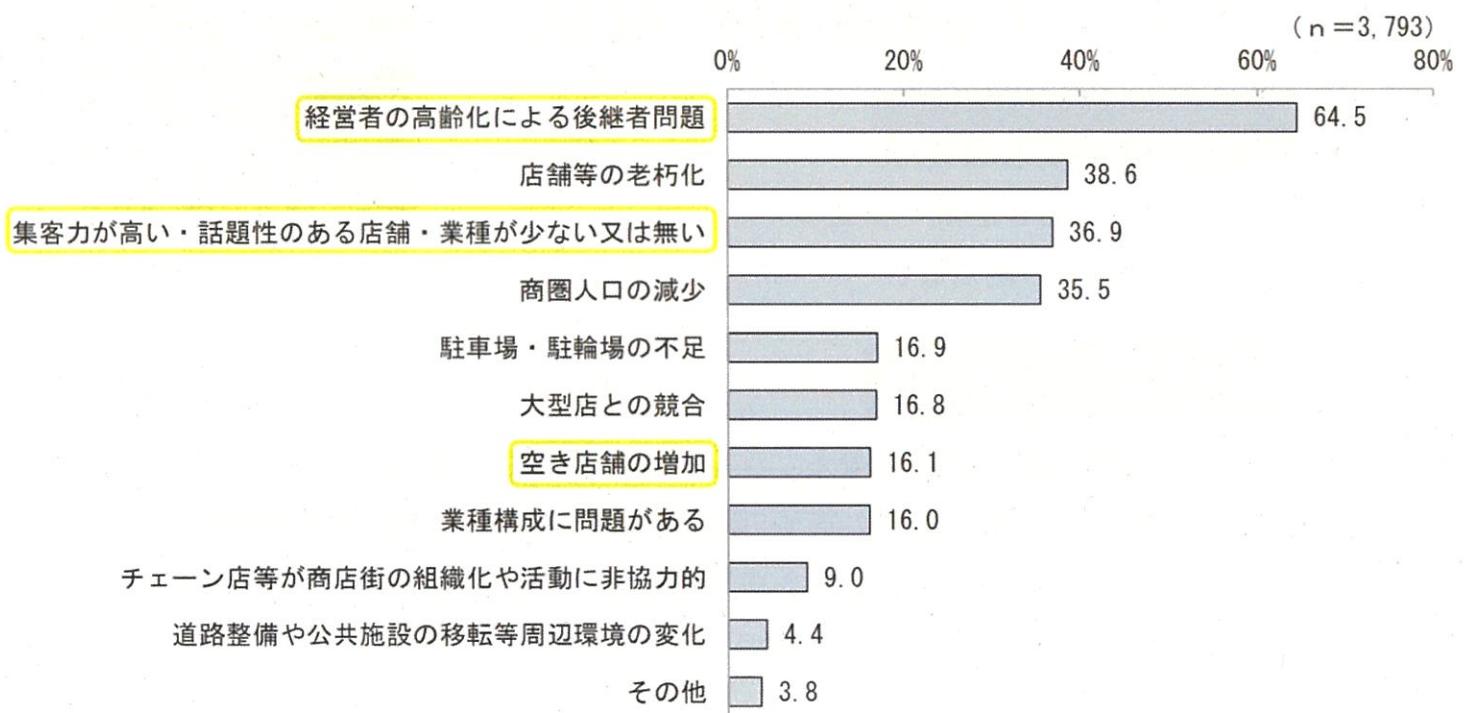


まちに訪れた人々の声

- ・40代女性 空き店舗が増え、シャッター街化して寂しい
- ・40代男性 大通りの横の道や2階などに空きスペースが多いと思う
- ・10代男性 休憩のためのベンチがほしい
- ・60代女性 島瀬公園全体に屋根が欲しい
など

佐世保市街地における 空きスペースの現状

図表 28 商店街の抱える問題(複数回答:3つまで)



平成30年度商店街実態調査報告書 概要版 資料13ページ



空きスペースのマッピング

商店街を中心に活用されていないと感じた場所や空き店舗などをマッピング調査



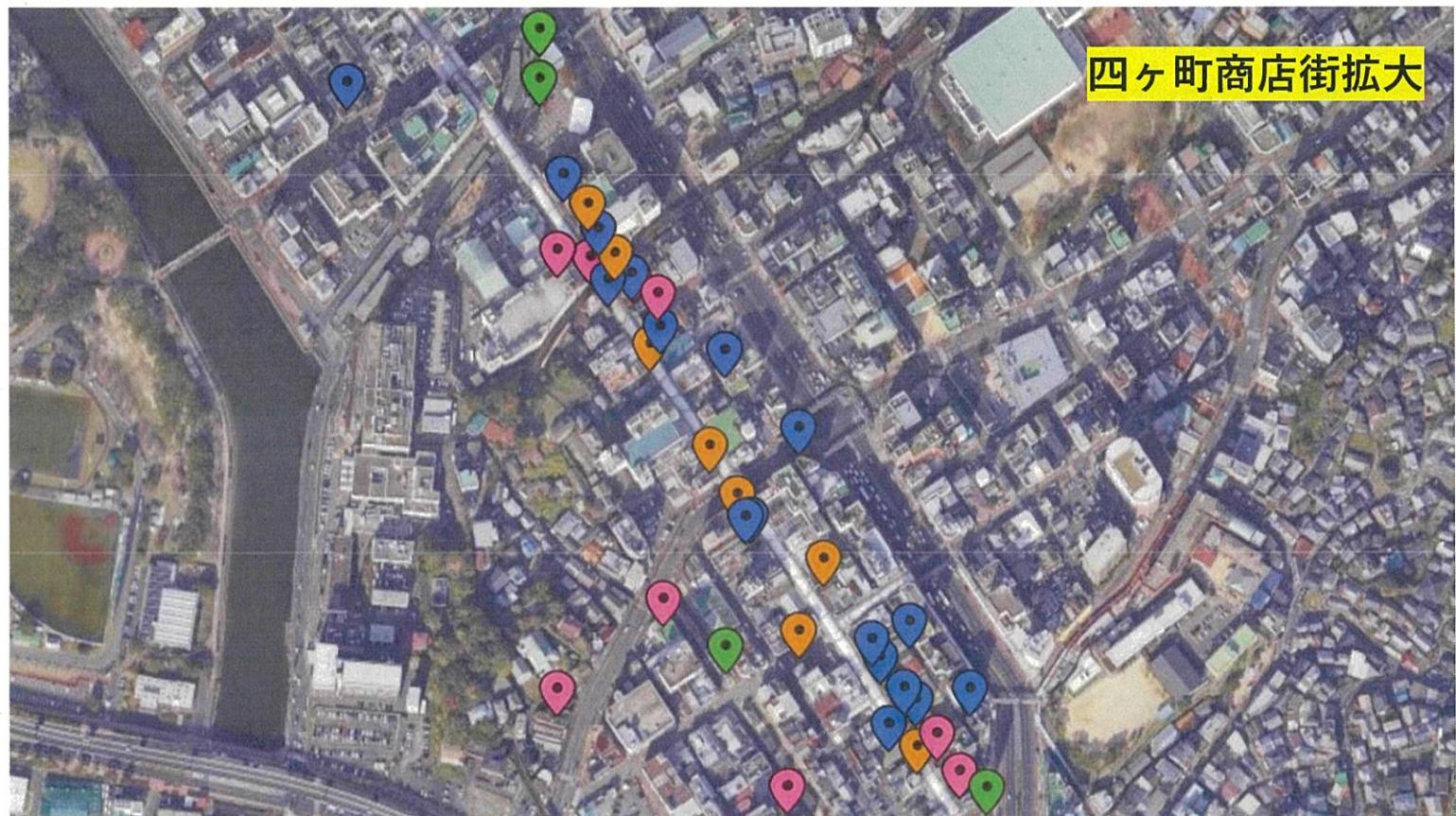
四ヶ町商店街

- 2019年10月以前に閉業
- 2019年10月以降に閉業
(閉業予定含む)
- 2階以上のテナント募集
- 物件
- 広場、公園など

<https://padlet.com/br119022/w99zr64hirt1rrbj>

2021年12月現在

四ヶ町商店街拡大



商店街の中の空き店舗の様子

同様にテナント募集の空き店舗が
かなりの数点在している

松浦公園の様子

広い空間が活用されていないことがわかる





アーケード商店街の
空きスペース、空き店舗

佐世保市 公園や広場活用

島瀬公園



コロナ禍での制限があるものの
ほぼ活用されていない



利用には市役所窓口、または郵送での申請が必要

広場、公園の利用のハードルを下げることが必要

空き店舗の現状とそれに対する考え方

三ヶ町商店街 (空き店舗はあまり見られない)

管理はこの不動産会社

取り組みは特にしていない（買い手が見つかっている）

四ヶ町商店街 (空き店舗が多く見られる)

管理は個々の不動産会社

取り組みは特にしていない（困っていない）

市役所（都市市整備課）

管理する建物はない

計画は特にしていない

空き店舗の現状とそれに対する考え方

三ヶ町商店街 (空き店舗はあまり見られない)

管理はこの不動産会社

取り組みは特にしていない（買付）

空き店舗は直接管理されておらず
特に対策は行われていない！！

市役所（都市市整備課）

管理する建物はない

計画は特にしていない

佐世保市の商店街・創業支援補助金制度

- ・佐世保市商店街の活力回復促進事業補助金（市役所）
- ・佐世保市魅力ある商店街創出支援事業補助金（市役所）
- ・商店街等を核とするにぎわい創出支援事業（県）
 - 対象者が組合、商工会議所等、期間限定
- ・佐世保市創業促進補助金（市役所）
 - 製造業、情報通信業、産学金官連携のベンチャー限定



空きテナントに関する行政の補助

(事例)

兵庫県 商店街空き店舗再生支援事業

補助対象事業：1.商店街に必要な業種等の魅力ある出店者

2.短期・週末など柔軟な形態の出店者（**チャレンジ出店**）

店舗賃借料、内装工事費、広告宣伝費、コンサル委託料など

補助期間：3年（チャレンジ出店の場合、3ヶ月単位での補助）

兵庫県HP：商店街空き店舗再生支援事業

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr07/syoutengai-akitenpo-saisei.html>

チャレンジ出店のイメージ

【姫路市みゆき通り商店街 「アイスは別腹」さん】

・地元の大学生二人の経営するヨーロッパフェ専門店

営業時間：6時～23時

・姫路城からすぐ近く アーケード商店街



みゆき通り商店街

姫路市（兵庫県）の商店街・創業支援補助金制度

・姫路市中心市街地商店街空き店舗対策事業（商工会議所）

・姫路市まちなか・商店街創業支援事業（市役所）

→ 創業、新装開店補助金

・商店街若者・女性新規出店チャレンジ応援事業補助金

・空き店舗情報サイト

（公益財団法人ひょうご産業活性化センター、起業プラザひょうご姫路）

空きテナントに関する行政の補助

西海市 西海市商工会が空き店舗のマッチングを行い、

経営指導員等の巡回などによる定期的な「開業サポート」で創業を支援

西海市商工会が運営する空き店舗のマッチングサイト

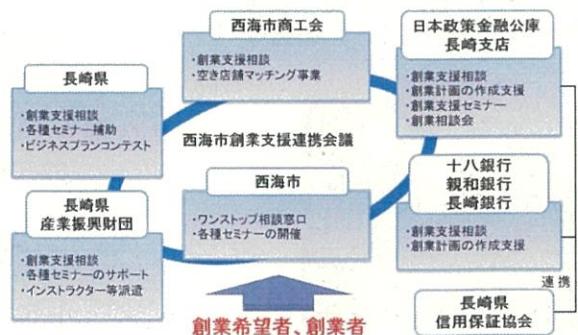
(<https://saikai-business.com/>)

創業希望者を支援する仕組み

消費者相手の小売が中心

マッチング後 現在まで出店の続いている店舗も

短時間のスペース貸出（イベント）



西海市商工会議所が運営する空き店舗マッチングサイト



空き店舗マッチングと並行して、商工会が窓口となり
創業の準備段階から安定軌道に乗るまで伴走支援を行なう

(<https://saikai-business.com/>)



参考

- ・姫路市まちなか・商店街創業支援事業補助金について 姫路市HP
(<https://www.city.himeji.lg.jp/sangyo/0000005743.html>)
- ・姫路市中心商店街空き店舗対策事業 姫路商工会議所HP
(https://www.himeji-cci.or.jp/machidukuri/machi_akitenpo.html)
- ・公益財団法人ひょうご産業活性化センター (<https://web.hyogo-iic.ne.jp/>)
- ・起業プラザひょうご姫路 (<https://kip-himeji.biz/>)
- ・佐世保市商店街の活力回復促進事業補助金
(<https://www.city.sasebo.lg.jp/kankou/syouko/documents/katsuryokukaifuku.pdf>)
- ・佐世保市魅力ある商店街創出支援事業補助金
(<https://www.city.sasebo.lg.jp/kankou/syouko/documents/miryokuaruyoukou.pdf>)
- ・商店街等を核とするにぎわい創出支援事業
(<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2021/05/1620355113-3.pdf>)



やってみたいこと、
実現したいこと

四カ町商店街の再編

植松もも子

四カ町商店街の再編

飲食店で賑わう街へ



浅草や中華街など食べ歩きスポットは観光客が集まる



ネット社会になり、店舗でモノが売れない時代



チェーン店ではなく、個人経営の店が増えることで
地元にお金が落ちる

植松もも子

①ハウステンボスから誘客

観光施設であるのと同時に大型宿泊施設であるため、滞在拠点として佐世保観光へ。

例) 由布市では別府市の宿泊客が訪れていることが多い。

・誘客するには・・・

ハウステンボス宿泊客に向けた四ヶ町アーケードのPR

公共交通機関でのアクセスの案内・紹介

植松もも子

ハウステンボスから誘客

グルメを求めてアーケードへ

- ・昼食やおやつに寄ってもらえる場所に。
- ・チーズドッグやタピオカ、アイスなど手軽に食べることが出来、若者に人気の商品を提供。
- ・「食べ歩き」ができるという空間を提供する。

植松もも子

ハウステンボスから誘客 観光客の利便性を追求

◎キャッシュレス決済を導入

・・・海外ではクレジットカードが主流であるため、インバウンドが期待できる。

◎ハウステンボスに限りJRと提携した割引券の発売

・・・JR利用者増加が見込める。

◎佐世保の飲食店（クーポン券）の交付

・・・四ヶ町を訪れるきっかけに。

植松もも子

②店舗のマッチングをする

空きテナントと飲食店などをオープンさせたい個人をマッチングさせ、商店街内の空きテナントを無くす。

空き家バンク

空き家物件情報を地方公共団体のホームページなどで提供する仕組みのこと。



「ラーメン店に向いている」など
内装情報を掲載。



植松もも子

SDGsをテーマにした街づくり



◎近年、SDGsが注目を集めている。

◎SDGsに取り組むアーケードとして話題性を持たせる。

植松もも子

SDGsをテーマに

・商品の容器を自然素材のものにする。

・・・紙製や木製など

・ゴミ箱を設置して環境と景観に配慮

デポジット制度

・・・一定の金額を預かり金（デポジット）として販売価格に上乗せし、製品（容器）を返却すると預り金を消費者に戻すという仕組みのこと。



預り金の代わりに記念品や券
ルーレットが回りおもちゃがもらえる



植松もも子

長崎県の犬猫殺処分の現状

保健所に引き取られた犬猫は2763匹



このうち

行き場がなく殺処分された犬猫は1953匹

保健所に引き取られた71%が殺処分されている

・・・全国ワースト1位

現在行われている取り組み

地域猫活動・・・避妊去勢手術や空き地を猫の居場所に

植松もも子

そこで・・・SDGsをテーマに

アーケード内に

・**保護犬カフェ、保護猫カフェ設置**

・・・体験型消費

回転率が良い（30分1000円など）

犬猫の居場所を作ることができ、殺処分を減らす
ことが出来るのでは。

植松もも子

アーケードの再活性化への道

SASEBO未来デザイン会議 | 長崎県立大学院M1 | 田崎獎

スライドの内容

- ・アーケードチームの目標
- ・佐世保市のSWOT分析
- ・アーケードのSWOT分析
- ・市民のニーズ
- ・アーケードの現状
- ・最終的な私の提案内容
- ・目標実現に向けた課題
- ・目標実現に向けた課題解決策

SASEBO未来デザイン会議、アーケードチームの目標

- 三ヶ町、四ヶ町アーケードの再活性化を計り
佐世保市全体の活性化につなげる。
- 規模の大きい社会事業としてインフラ整備も行い
経済の面でも活性化をめざす。
- ビジネス的視点で、売り上げとして収支を黒字にするために
まずは中心部から改革に着手する方がよい。

私的佐世保市のSWOT分析 **Strength（強み）**

- 米海軍佐世保基地の影響により国際色豊か
- 鎮守府の歴史を持ち現在も自衛隊が多く存在
→**呼び込まずとも人口増加のチャンス**
- 自然も、食も、歴史もある街
- 全国屈指のテーマパーク“ハウステンボス”がある
- 大学が二つ存在していて若者の転出超過対策にも優れている。
- 医療体制に強みを持つ
- 長崎県が全国的に高い知名度を持ち魅力度ランキングも高い

私的佐世保市のSWOT分析**Weakness (弱み)**

- ・ 福岡など他の都市に他の町と比べても比較的容易に行ける
→アクセスが良いのは素晴らしいが**ストロー現象にも注意が必要**である
- ・ 休日等に時間とお金を使う場所が極めて限られている
- ・ 県内全域含め好待遇の職の幅が狭いと思われている
- ・ 長崎市の観光客に佐世保まで足を延ばしてもらうための方法が不足している
- ・ クルーズ船の観光客は決められた極めて狭小なエリア内でしかお金を使わない

私的佐世保市のSWOT分析**Opportunity (機会)**

- ・ 今後のIR設置正式決定の如何で更なる佐世保、長崎県の発展に望みがかかる
- ・ ハウステンボスの影響もあり佐世保市がメディアに露出する頻度も少なくない
- ・ 歴史系アニメやゲームの主要なキャラクターと関係がある事も多いようなのでイベントの開催は良い機会になるであろう（殆どが海軍）

私的佐世保市のSWOT分析 Threat (脅威)

- 一般の住民に関して他の地域から転入してきたものに対して
融和な態度を取り受け入れるが商業面での排他性は極めて深刻である
→競争相手を避け続けるため新陳代謝と成長が期待できない

私的アーケードのSWOT分析 Strength (強み)

- 歴史があり、今でも最終的に佐世保市内の中心としての
集客力を持つ
- 飲食店等もあり夜にも沢山の客がいる
- バスの無料敬老バスを持ち時間にも余裕のあるシニアの方々が
買い物に来られる
- 佐世保駅やバス停、佐世保中央駅など
便の多少に関わらず公共交通機関の停留所が多い。

私的アーケードのSWOT分析 **Weakness (弱み)**

- 高齢者向けのブティックを含め比較的高齢者向けの店舗が多いため新たな層の獲得が出来ていない
- 駐車場の数が限られていて、割引の利くお店と利かないお店が不透明で客の視点からすると怖い
- 家賃が他の土地よりかなり高価なようで費用対効果の面で経費が重くのしかかる。

私的アーケードのSWOT分析 **Opportunity (機会)**

- ハウステンボスと並び比較的メディアの露出も多い
- 日本人だけでなくアメリカ海軍佐世保基地の人々も客として呼び込むことが可能である。

私的アーケードのSWOT分析 Threat (脅威)

- 大規模店舗やショッピング施設の建設を激しく嫌い
市場競争すらしていない
- 商業団体として店舗数や空き店舗数など全く把握できていない
- 佐世保市民全体として駐車場にお金を払いたくない、
お金を払ってまでくる必要性は無いと考えている。

これまでの佐世保とそこから見える市民のニーズ

- 比較的広い敷地を持つ店舗などが閉店し新たに何かができる時には
いつも大規模遊技場などができると言う流言が流れる
- 最終的には毎回、商業者団体の反対で計画が消えたと耳にする。
- この手の流言は市内あらゆるエリアで同じ話が流れる。
- 事実関係は置いておいてそれは

市民の願望から来る流言ではないかと考える。

アーケードの現状は…

- ・アーケードの現状は四ヶ町は人通りもあり、平日、休日関係なく人通りがある。
- ・一方で三ヶ町は佐世保玉屋付近を境目として急激に人通りが減る。
→再活性化を目指すエリアは三ヶ町アーケードにするべき。
- ・大塔にあるイオンショッピングセンターや佐世保五番街にも沢山の人が集まる

私が考える具体的な内容

- ・新たに新規店舗を誘致する際には既存の商業者との摩擦は最大限避けなければならない。
- ・初手に四ヶ町アーケード内に大規模全国チェーンの新規店舗を作ると間違いなく摩擦が起きる。
- ・そこで三ヶ町アーケードに大学生以下の若者や子育て世帯をターゲットにして遊技場のような物を作る。

私が考える具体的な内容（2）

- 将来の顧客の保持に向けて佐世保五番街やイオン大塔に向いている客層をアーケードに集める
- 佐世保駅や佐世保中央駅から三ヶ町アーケードに人手を創出する事で四ヶ町にも自然と人手を創出することが出来る
- 説明する際にはそのような既存業者にとってメリットとなる話をする事が重要

目標実現に向けた課題

- 駐車場の割引
- 既存業者との摩擦

目標実現に向けた課題解決策

駐車場の割引

- 一定の金額以上お店で使うと駐車場X時間無料というものは必要であると考える。フリーライダーに関する事が課題となるのであればX時間まで最大200円など予め少ない金額で推すほかないと考える。現状として**お金を払ってまで四ヶ町には来なくていいと考える人も多い為**

既存業者との摩擦

- 行政として市民の経済活動に関して深く首を突っ込むべきではないと考える。しかしあくまで「**三ヶ町に大型遊戯場を作り人手は作るから後は各自で**」とする事でこれを生かすも殺すも各店舗に委ねられる為最適であると考える。
- 「**将来に向けた顧客作り**」と銘打つのは如何であろうか。

ニューデザインのアーケード

日本一オシャレなアーケード街を目指して

わかものふんかと
時代の融合。

目指したい四ヶ町と三ヶ町

SNSでの拡散を狙うため「わかもの好み」に合ったアーケードを作りたい
しかし、今あるアーケードや佐世保の雰囲気は残したい

アーケードの直線を活かして、直線の中に老若男女うけするアイディアを盛り込みたい



行ってみたい 思わせる

SNSでの拡散をねらう

ターゲットはSNS世代（10～40代）
レトロな町並みを活かしたアーケード作り



1 おしゃれなカフェを 増やしたい

気軽に集える場所を

食べること。飲むこと。飲食は旅にとってはかかせないもの。
だからこそ、誰もが気軽に集えるそんなスペースを
多く設けたい。

2 小店の展開

買い物できる場所の提供を

商業施設にはなさそうな、個人経営の独自の
小店を設置し、ここでしか手に入らないをね
らう



3 子どもが遊べる 室内施設

天候に左右されない集客を目指して

アーケード内に親子が一緒に楽しめる施設をつくりたい

4文化との 融合

Jazzの街を活かして

音楽を身近に

定期的なコンサートの開催
島瀬のステージをもっと高頻度で
活用



5国際交流

異国情緒漂う町並みを考える

アーケードの一角に他国を感じられる町並みを作りたい。
姉妹都市の文化をもっと身近に感じてもらいたい。

ニューデザイン のアーケード



おしゃれなカフェを増やしたい



小店の展開



子どもが遊べる室内施設



文化との融合



国際交流

毎週末のナイトマーケット

『毎週祭りで何が悪い？？』

- ・毎週末中央公園でナイトマーケットを開催
- ・出店料は一晩1500円～2000円だけ
- ・ナイトマーケットでの売上は非課税対象
- ・包装は資材は全て佐世保市が管理（売上を調査するために）

SASEBO 未来デザイン会議

5

佐世保でやってみたいこと②：地頭園

毎週末のナイトマーケット

<https://www.flickr.com/photos/aotaro/33953239720>



SASEBO 未来デザイン会議

世界最速のドローンレース

世界中からドローンオタクが集まる大会に

- ・アーケードの一直線（Uターン）のタイムトライアル
- ・1往復およそ30秒弱の一瞬で決まるレース
- ・防護ネットを張り巡らせて、各店舗は迫力の観戦席
- ・各店舗はSSS席販売の手数料をゲット

SASEBO 未来デザイン会議

7

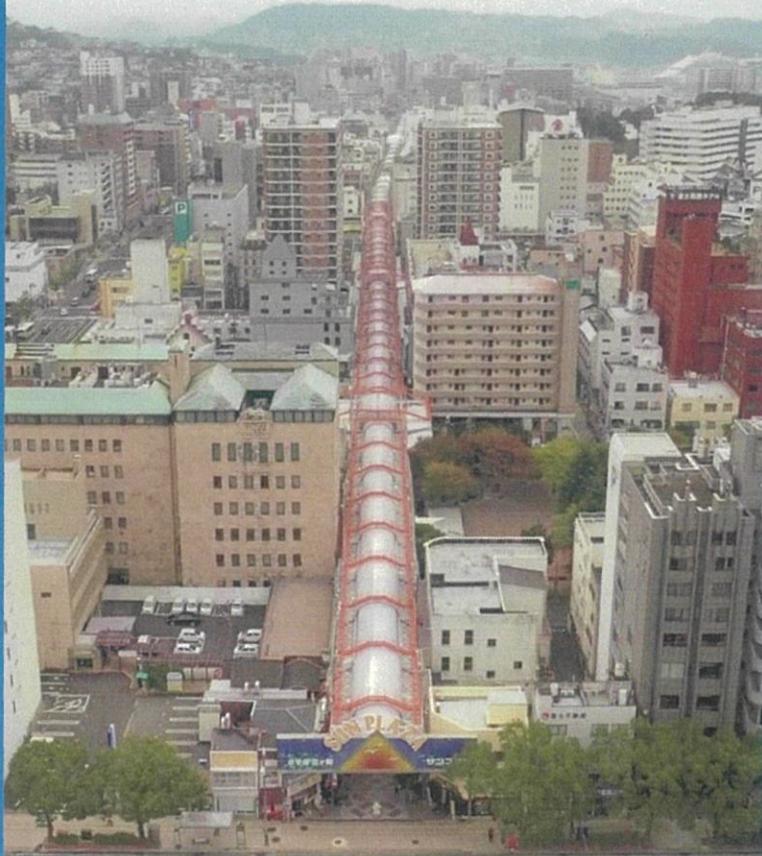
佐世保でやってみたいこと③：地頭園

世界最速のドローンレース

<https://www.azcentral.com/story/travel/destinations/las-vegas/2016/03/15/las-vegas-march-madness-st-patricks-day/81597264/>

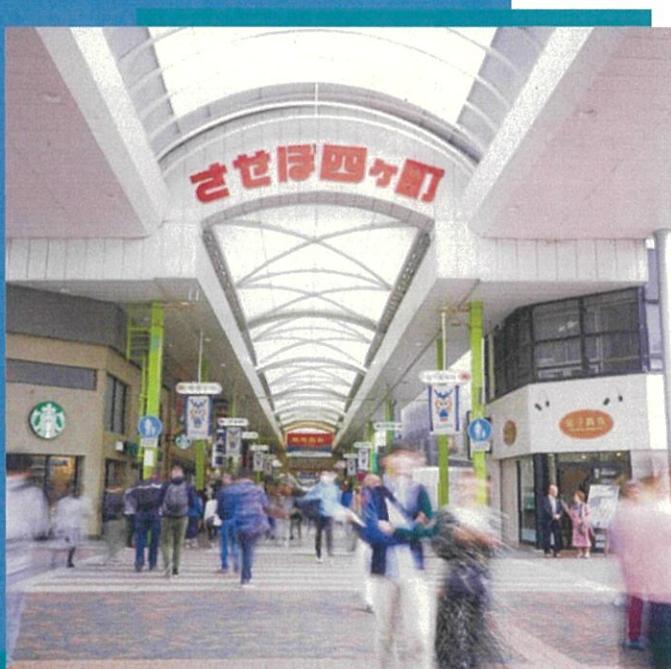


SASEBO 未来デザイン会議



アーケードを ぶつ壊せ

～リメイクして創る佐世保市の未来～



何を壊すのか

- 無駄な土地、空き店舗
- 無垢な屋根デザイン
- 古い考え方



今のアーケードの存在価値は？

3

・存在するメリット

- ・雨風がしのげる
- ・日陰がある
- ・街と言えばの象徴

・デメリット

- ・土地代が高くお店が出せない
- ・客が集まらない
- ・佐世保駅から遠い
- ・駐車場が少ない
- ・長いのに休憩場所が少ない



4

提案①



大型商業施設の誘致

- ・松浦公園等のアーケードに面した広い場所を崩して、IKEAやコスト、等の大手を招き入れる。

→効果として、他県に流れていた客層を取り戻す。

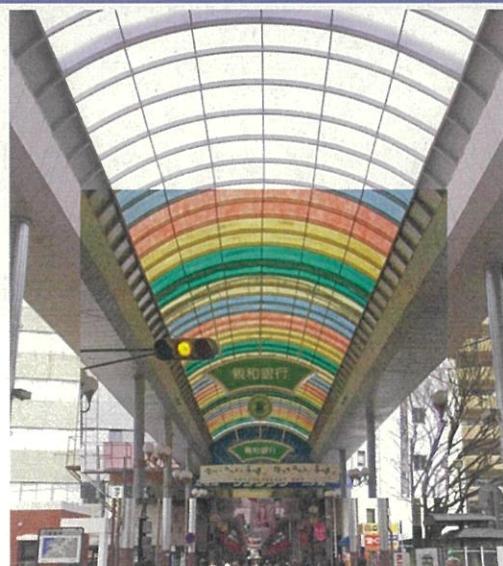
5

提案②

アーケードの天井一面を アートボードとして活用する

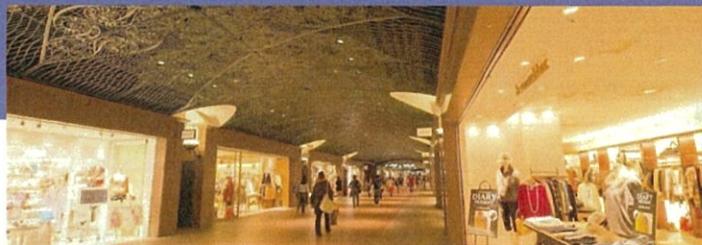
- ・アーケードの天井に九十九島などの佐世保ならではの景色を写す。
透過する印刷や、投影などの方法を用いる

→効果として、アーケード全体がアートになり、観光スポットの目玉となる。



6

提案③



アーケードへのアクセス改善

- ・佐世保駅からアーケードまでの地下街
- ・中央公園からの屋根付き歩道
- ・五番街→アーケード→佐世保駅→中央公園の循環無料シャトルバス

→効果として、天候に左右されず周遊できる環境が出来る



ご清聴ありがとうございました。

第3章 観光・情報発信

- 1 佐世保市を盛り上げよう（小野村嘉乃）
- 2 佐世保にHIKARIを（宮島美優）
- 3 場所と場所をつなぐ道づくりSASEBO PASS（山口鈴七）
- 4 佐世保×Music Tourism（江口航輝）
- 5 佐世保サイクリングロード計画（岡本一成）
- 6 伝統文化の支援制度導入（岡本一成）
- 7 口ヶ地に“佐世保”という選択肢を
～口ヶ誘致を通して届ける佐世保のいいところ（石丸愛望）
- 8 \みんなでつくる！/球体型芸術祭の開催
—ミュージックツーリズムの実現・コミュニティ形成—（迎ゆかり）
- 9 歴史・文化が身近な街、佐世保をつくる（井手勇旗）

佐世保市を盛り上げよう

小野村嘉乃

Sasebo観光マップ作り

動機

- ・佐世保を楽しんでもらいたい
- ・人口流出を抑えることができるかも？
- ・小さいお店、新しくできたカフェ、子供たちが遊べる公園なども掲載していろんな場所を知ってもらう

マップについて

- ①佐世保の観光地を載せたマップを作る
(各観光地の情報や写真付き)



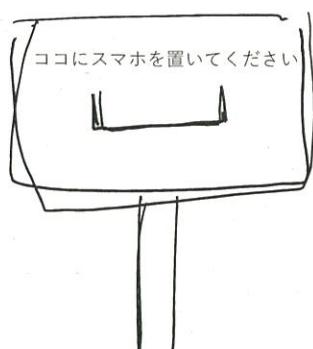
- ②各観光地に写真スポットを設置

- ③スタンプラリー形式にする

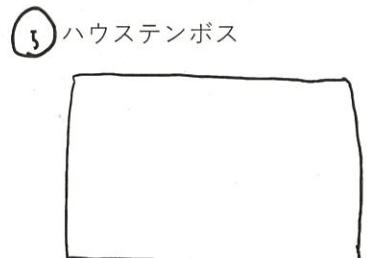
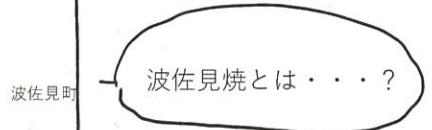
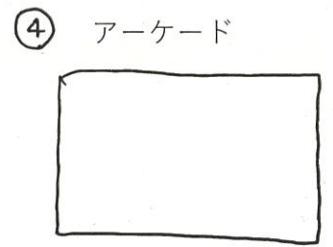
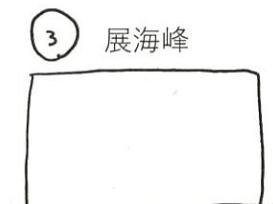
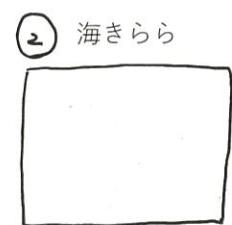
- ④スタンプがたまつたら○○

- ・紙とアプリでマップを作る

映えるのは景色



紙バージョン



アプリの場合

○既存のアプリと連携させてもらう

例) 佐世保ナビ

- ・イベント情報の通知が来る
- ・行きたいエリアを選べるようにする
- ・だれでも編集できるようにする
- ・自己流のマップを作ってコンテストをする
(自分しか知らない穴場、みんなに共有したいグルメ…)

拡散方法

- ・学校で配布してもらう

→生徒にも保護者にも知ってもらう

- ・共通のハッシュタグを作る

→①#Sasebonotakaraなどのハッシュタグを決める

②写真スポットで撮った写真をSNSに載せるときにそのハッシュタグをつけ
てもらう

③ハッシュタグからホームページに飛べる、関連情報を見れるようにする

- ・広告となるポスターを貼ってもらう

佐世保にHIKARIを

長崎県立佐世保南高等学校
宮島美優

実現したいこと

インスタ映えスポット

- ・十代二十代を中心とした若者が遊べる場所を作る。
- ・佐世保のシンボルを作ることで、観光客を増やす。

SASEBO - SEA TOWER

タワーを設立し、佐世保のシンボルを作る。場所は佐世保駅。
佐世保市制120周年を記念して高さ120mのタワーにする。
中にはレストラン・バー・カフェ、インスタ映えスポットを作る。
佐世保にはベースがあるので、アメリカをイメージするようなカフェなど
にする。
非リアの聖地を作る。（恋愛成就）
夜はライトアップ。（季節や行事によって色やデザインを変える）
タワーのゆるキャラを作る。

タワーデザインとイメージ

1 外観

2 内装（展望台フロア）

3 内装（非リアフロア）

SASEBO - SEA TOWER Design

noon. ver.

design

- ・色はブルー
- ・シルバーの鉄格子
- ・上部は波をイメージした形
- ・佐世保の街に似たエコウス形

120m-

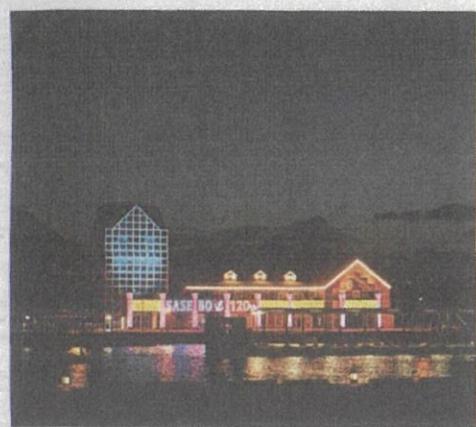
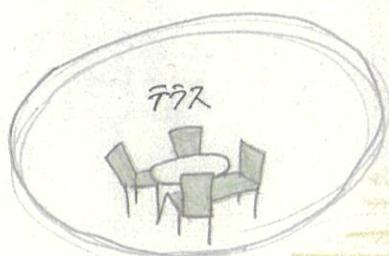
SASEBO-SEA TOWER

night . ver.

ライトアップ

place

佐世保駅



(内装) 展望台70F

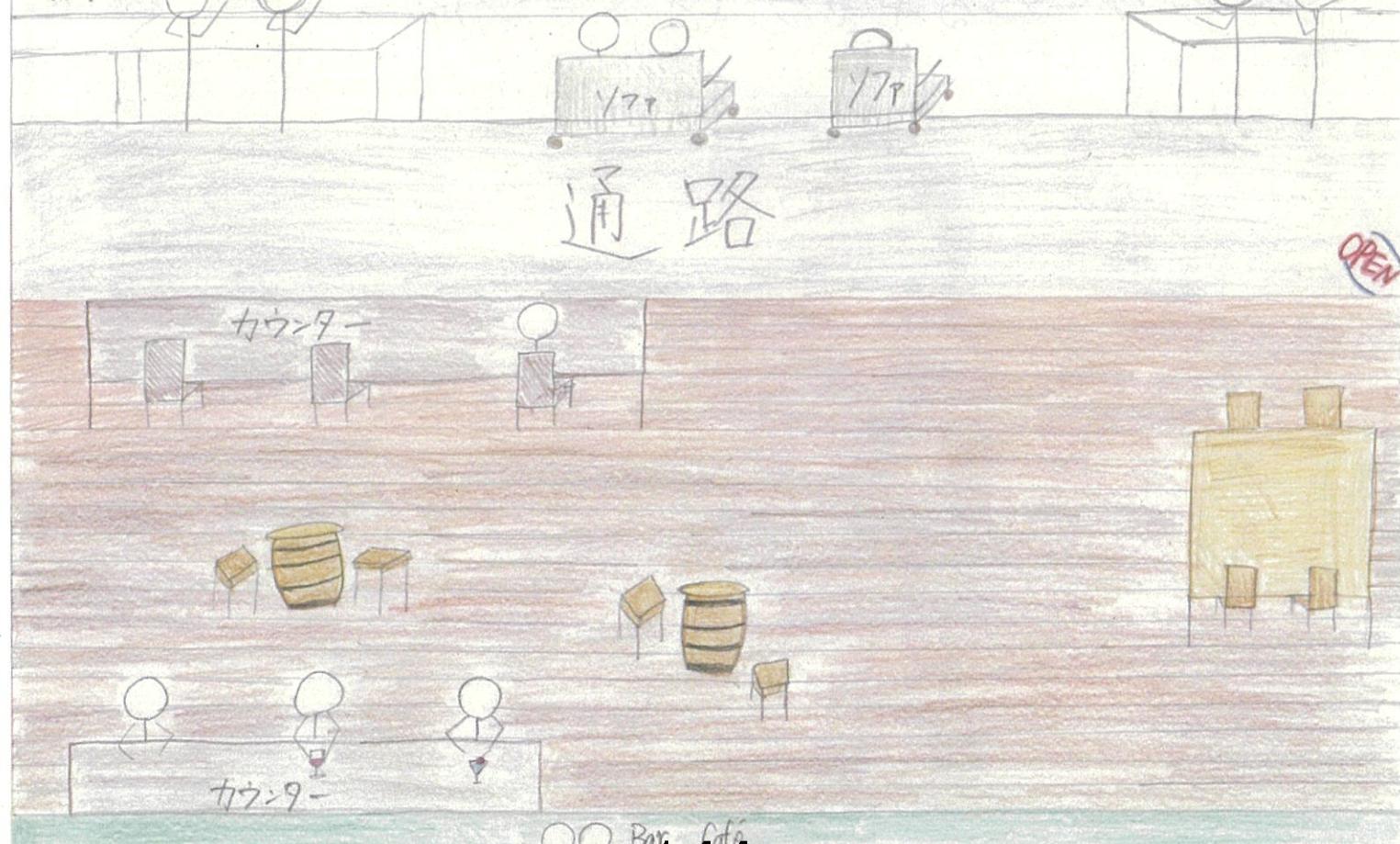
カウンター

景 色

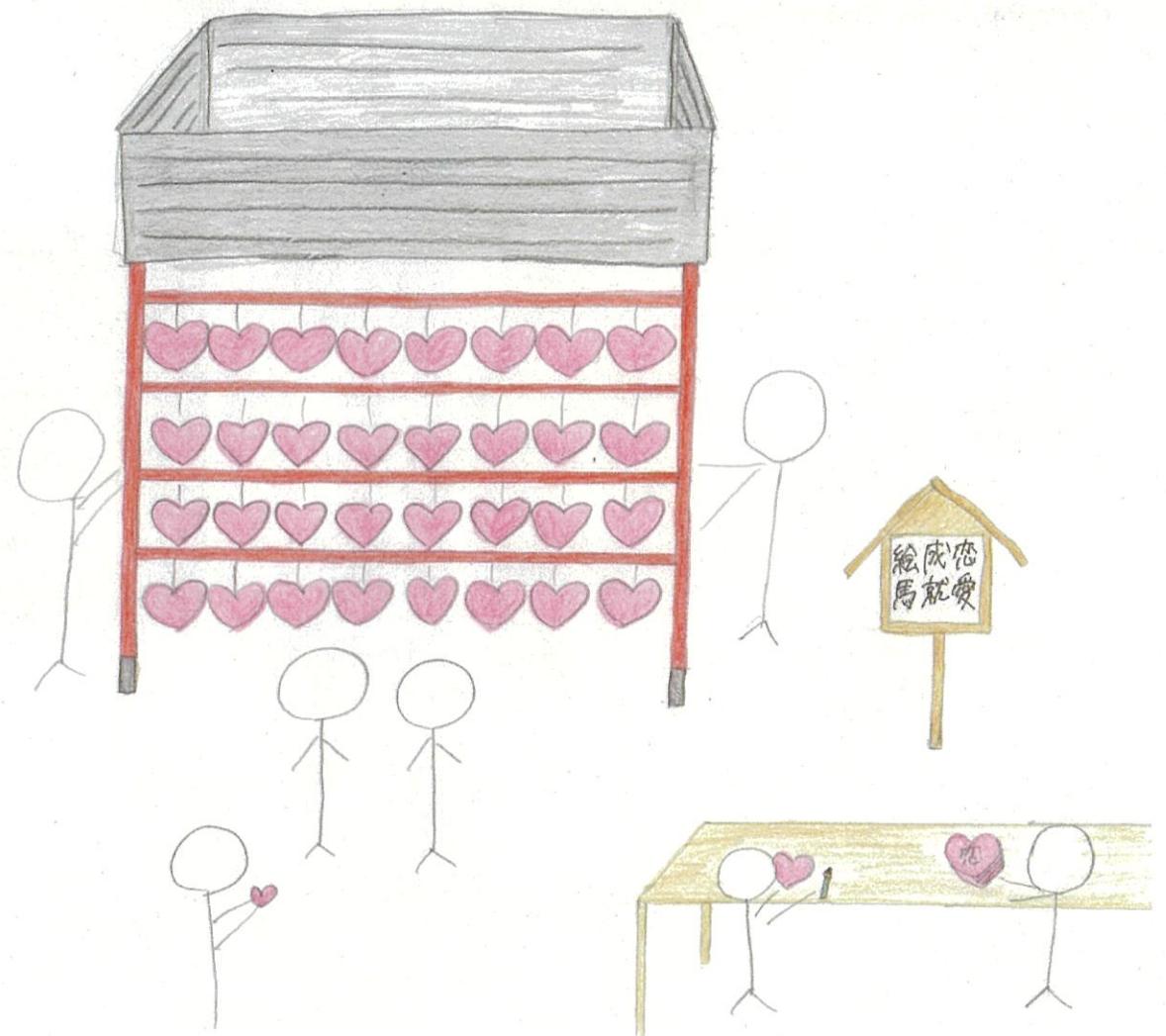
OPEN

通 路

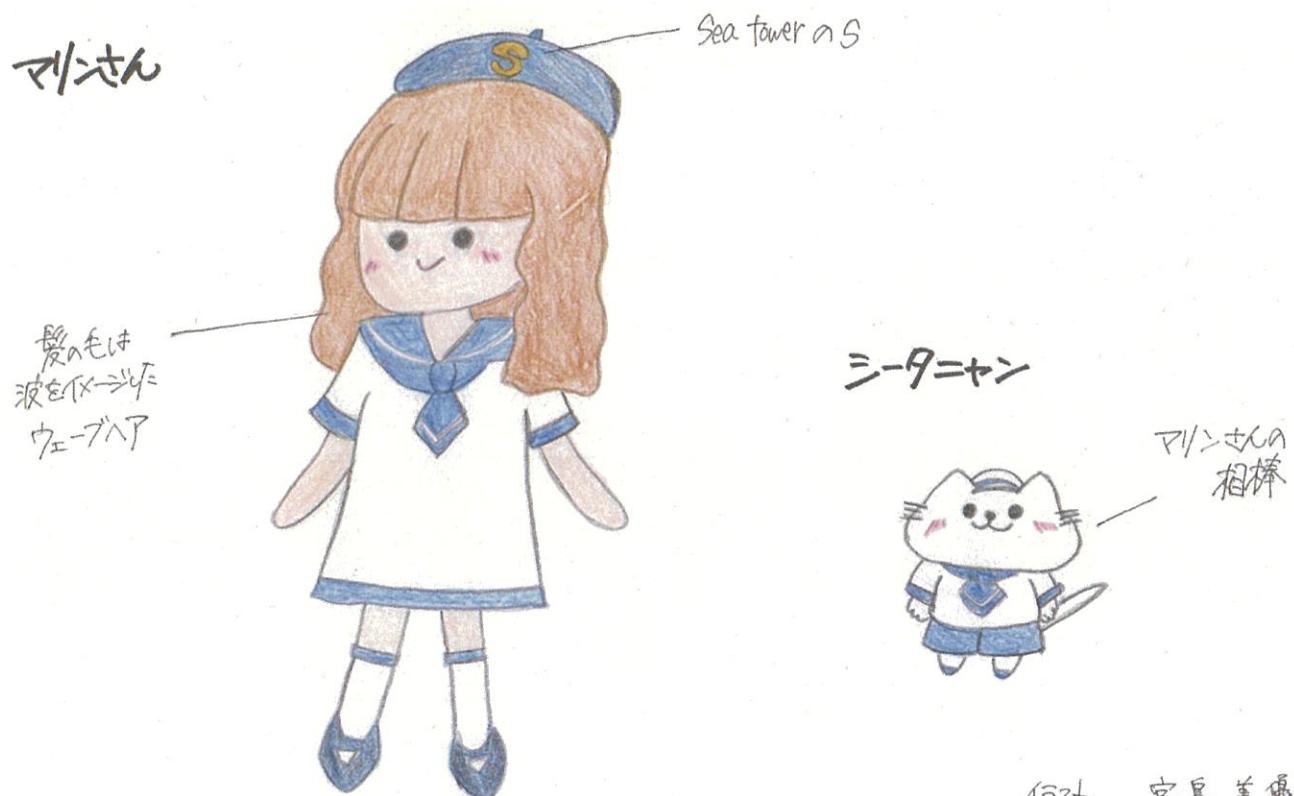
カウンター



非アコア(恋愛成就)



シータワーゆるキャラ (イメージ)



145 宮島 美優

場所と場所をつなぐ道づくり **SASEBO PASS**

佐世保未来デザイン会議 観光・情報発信チーム
山口 鈴七

はじめに

- 料金や免許などのことを考慮し、アドバイスで頂いた案を採用して、タクシーを使ったアイデアで考え直してみました。
- 今までのアイデアと類似のプロジェクトとして

京都府京丹後市旧丹後町 NPO法人“気張る！ふるさと丹後町”

「公共交通空白地有償運送」通称『ささえ合い交通』

があり、これを参考にして、可能であれば従来のアイデアと近いかたちのものも実現したい！

思いついたきっかけ

- ・佐世保には観光地が点在している。
- ・せっかく来たのに、“足”がないから思いっきり楽しめないのは残念
- ・バスではどうしても補えないところがある。
- ・駅やアーケードの近くで見かける、手持無沙汰なタクシーをうまく利用してきたい。

SASEBO PASSとは

- ・SASEBO PASSを購入することで、タクシー料金が割引される。(2割or3割)
→タクシーを使った移動を促進する。
- ・紙製で、バッグに入るくらいの大きさ。
→買いやすくする、無くならないので思い出として保管できる。
- ・バスの路線図、西肥バスの時刻表検索ページに飛べるQRコード、各タクシー会社の電話番号などを記載する。
→SASEBO PASSを買うメリットを増やす。

SASEBO PASSとは

- 滞在日数×1000円(仮)で販売=使用期限
一律同じ値段で販売するよりたくさんの人々に買ってもらえるのではないか
- 使用期限はSASEBO PASSの表紙に記載する。
- SASEBO PASSをタクシーの運転手に見せると割引される。
- 観光に来た方向けに、佐世保駅をはじめとする有人駅、バスセンターで販売

タクシーを使いやすく(使いたく)するために

- HTB、九十九島観光公園、動物園、水族館、弓張岳、烏帽子スポーツの里、西海橋付近などの場所にタクシーを数台常駐させる。
→タクシーを呼ぶ手間をなくす。
(大体の場所にはタクシー乗り場があるので可能だと考える。躊躇なくタクシーを使ってもらうためにも、3台ぐらいはいてもらいたい)

タクシーを使いややすく(使いたく)するために

- ・『幸運のタクシー』みたいなやつを作る

幸運のタクシーとは、業界大手の日本交通が、東京で7台だけ走らせて
いるタクシー。乗車すると高級感のあるデザインの乗車記念証がもらえると
いうもの。出会う確率はゴルフのホールインワンと同じぐらいらしい。

この佐世保バージョンをつくる(乗った時にもらえるものを、佐世保出身
の有名人さんの複製サイン入り限定グッズにしたり、有効期限なしの遊覧
船乗船券とかにすると、タクシーを使ってみようってなる人が増えそう)

佐世保 × Music Tourism

チーム希望 江口航輝

1. 背景

- ・佐世保を代表するフェスがない
- ・コロナ渦による観光客、観光収入の減少
- ・有効活用できる場がある

2. 目的

- ・音楽の力で佐世保市の人口流出を抑える
- ・関係人口の獲得を図る
- ・自然、軍港を最大限活用する

3. 手段

1

フェスに適した場所をピックアップし、佐世保市にゆかりのあるアーティスト、ないアーティストを呼び、県内外からの集客をする

2

ライブハウスがない学生バンドに出演を依頼し、地域に根ざしたイベントにする



4.具体的な場所



①佐世保駅みなと口広場



②九十九島觀光公園

①②それぞれのメリット

①佐世保駅みなと口広場

- ・目の前にターミナルがある
- ・以前祭りをしていた実績がある
- ・駅から近くアクセスしやすい

②九十九島觀光公園

- ・九十九島の絶景を一望できる
- ・傾斜があり、ステージから遠いお客様も楽しめる

①②それぞれのデメリット

①佐世保駅みなと口広場

- ・周辺の交通渋滞
- ・街中であるため、騒音被害の可能性

②九十九島観光公園

- ・中心地からアクセスしやすい
- ・駐車場がない

SASEBO JAM FESTIVAL

(このプレゼンが完成後にSASEBO JAM FESTIVALが開催された)

- ・かなりの集客もあり、実際参加したが、毎年開催してほしいと心から思った
- ・大物アーティストも佐世保に好感をもって会場を後にしていった（開催後の某アーティストのTwitter）
- ・ランタンもすごく綺麗で素晴らしい企画だった
- ・グルメも充実していた



文句なしの最高のイベントだった!!!!

- 老若男女が集まる場
- live会場あり
- 集客力あり

SASEBO JAM FESTIVALに私の案を提案する形にする事で更に良いイベントに！！



佐世保サイクリングロード計画

岡本一成

佐世保市の課題

交通の便が悪い

- ・バスの本数が少ない
- ・運賃が高い
- ・駐車場が少ない



他にも…

- ・体験型観光コンテンツがない
- ・身边に歴史や自然を楽しむまちづくり
- ・自動車の交通が多く歩道がない
- ・年代に関係なく集まれるコミュニティースペース



佐世保サイクリングロード計画とは

佐世保市を縦貫（循環）するサイクリングロードを整備

観光、日常の導線としての自転車道

自転車のステーションを交流空間に

コミュニティスペース、「だべれる場所」化



分散する観光地を結ぶ新たな交通手段 シェアサイクル

体験型観光



歴史・自然を身近に感じるまちづくり

なぜ自転車なのか

- ① エコ
- ② 駐車場がない
- ③ 自動車を持っていない若者・子ども うれしい
- ④ 自分で行き先を決めることができる
- ⑤ 佐世保競輪

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS





自転車活用の広がり

自転車活用推進法（活用計画）

国交省に自転車活用推進本部を設置

自転車専用道路、シェアサイクル設備整備の等の施策を行う



ナショナルサイクルルート

走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信など様々な取組を連携

させたサイクルツーリズム

例：しまなみ海道、ビワイチ

日本のシェアサイクルの導入都市数は
世界でも上位！

自転車ネットワーク計画

国土交通省と警察庁が合同で

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を策定

→ ガイドラインに基づき、自治体に歩行者と分離された

自転車通行空間の整備を推進（自転車ネットワーク計画）

佐賀市のシェアサイクル

佐賀市「BALLOONERS CYCLE」

- ・市内14か所のステーション
- ・電動アシスト付き自転車
- ・15分以内70円 12時間以内であれば上限1,000円
- ・アプリで予約・アプリで決済



「HELLO CYCLING」

全国各地、どこでも借りられて好きな場所で返せる電動アシスト自転車の

シェアサイクリングのサービス

佐賀市「BALLOONERS CYCLE」は系列



シェアサイクルを整備するメリット

① 佐世保市内での体験型観光の提供



② 分散する観光地をつなぐ

③ 観光地だけではない佐世保市の魅力ある風景



④ 外国人サイクリストうれしい

⑤ まちなかの新たな移動手段

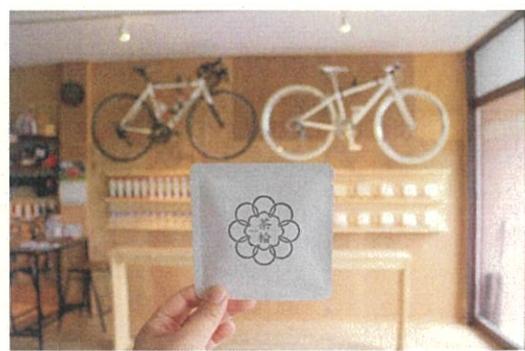
嬉野レンタルサイクル「茶輪」



「茶を楽しむ空間」と「嬉野の観光地」を自転車で巡る

嬉野茶の豊かな味わいと自然豊かな嬉野の魅力を体感

茶ボトルのレンタル及びお茶や水の提供 + レンタルサイクル



「茶輪」公式サイトより

シェアサイクル導入の課題

① シェアサイクルの採算性

無人管理では約6割、有人管理は約2割において収支がマイナス

② サイクルポートの設置許可

道路上へのポートの設置に関して法的な位置付けがない

③ 補助金などによる補填の未活用

地方公共団体による補助金を活用している事例は2割程度

① シェアサイクルの採算

無人管理では約6割、有人管理は約2割において収支がマイナス

対策例

姫路市：シェアサイクルのネーミングライツ

神戸市：駐輪場運営権を付与した一体的な運営

東京都：路上広告の独占的な権利を与える

→ 採算性向上！



③地方公共団体による補助金の活用

自転車活用推進法に基づく補助制度

例：要件を満たすシェアサイクルポートの設置物について

3年間、税標準価格の3／4とする特例措置を創設

他にも…

「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」においても
人の接触を低減する取組として推奨されている

②サイクルポートの設置

道路上への設置に際して、シェアサイクルの法的な位置付けがない
対策例

- ・道路法に基づく道路占用
- ・都市再生特別措置法に基づく道路占用特例

などの制度を活用

→ シェアサイクル導入の際には自治体による制度の整備が必要

佐世保サイクリングロード計画

佐世保市を縦貫（循環）するサイクリングロードを整備

観光、日常の導線としての自転車道



自転車のステーションを交流空間に

コミュニティースペース、「だべれる場所」化

分散する観光地を結ぶ新たな交通手段 シェアサイクル

体験型観光 自分で観光・探検のルートを考えられる

歴史・自然を感じるまちづくり

観光地だけではない佐世保市の魅力ある風景



作成したサイクリングロードマップ

佐世保市に提案したいこと

- ① 既存の自転車活用に関する法律等を生かした体制づくり
- ② シェアサイクルやシェアサイクルを活用した観光の実証実験・ツアーパッケージづくり
- ③ 事業者の公募・選定
- ④ 周辺自治体との協働



以下補足（岡本の妄想）

佐世保サイクリングコース モデルコース

佐世保市内を縦貫するメインルート

→ 「平戸往還」に沿ったコース、海岸に沿ったコース

針尾、俵ヶ浦など市内各地に「支線」

メインルート各所に「自転車の駅」を設置

あくまでコースは目安

→ 自分で観光・探検のルートを考えられる



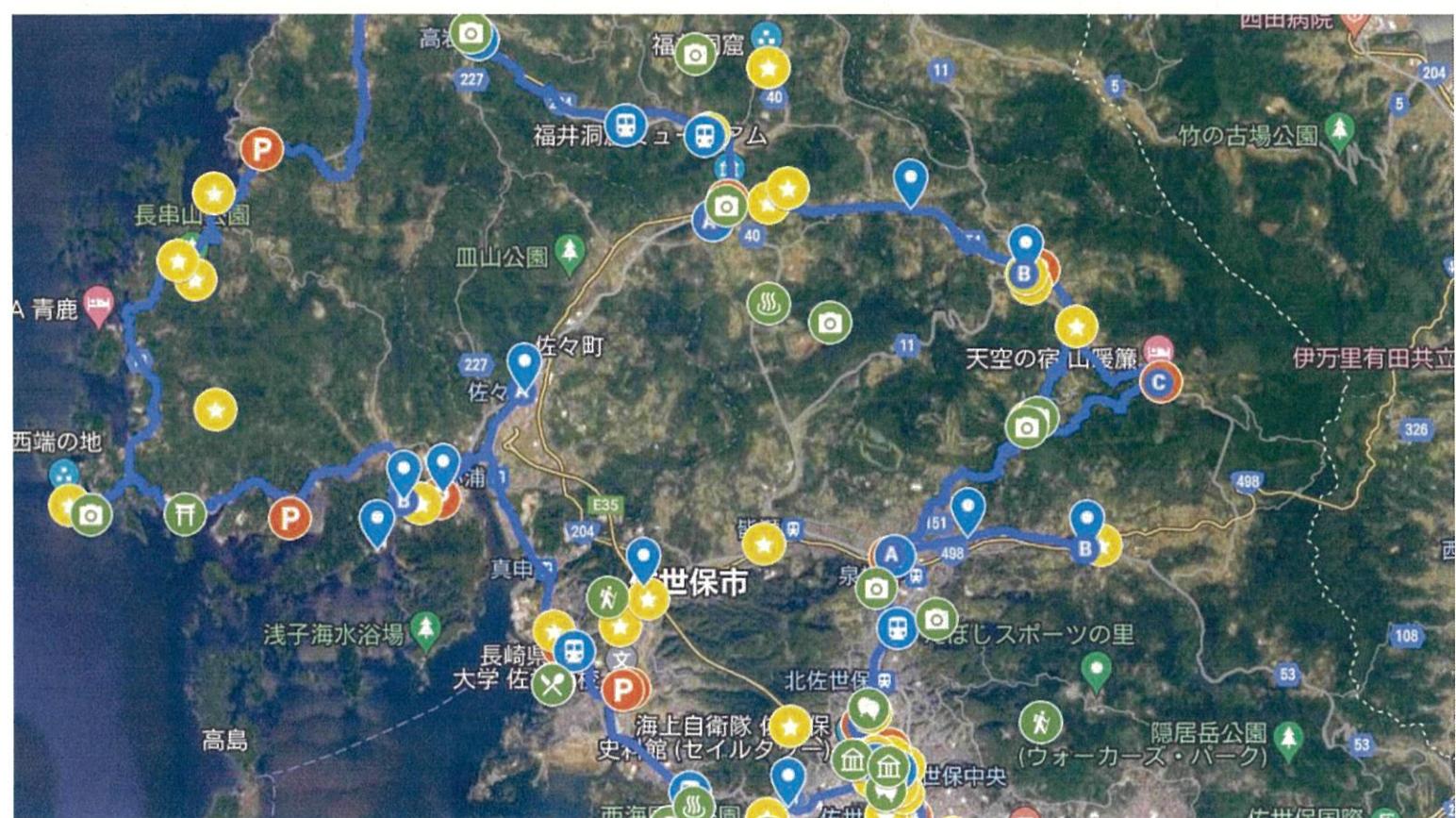
メインルート案

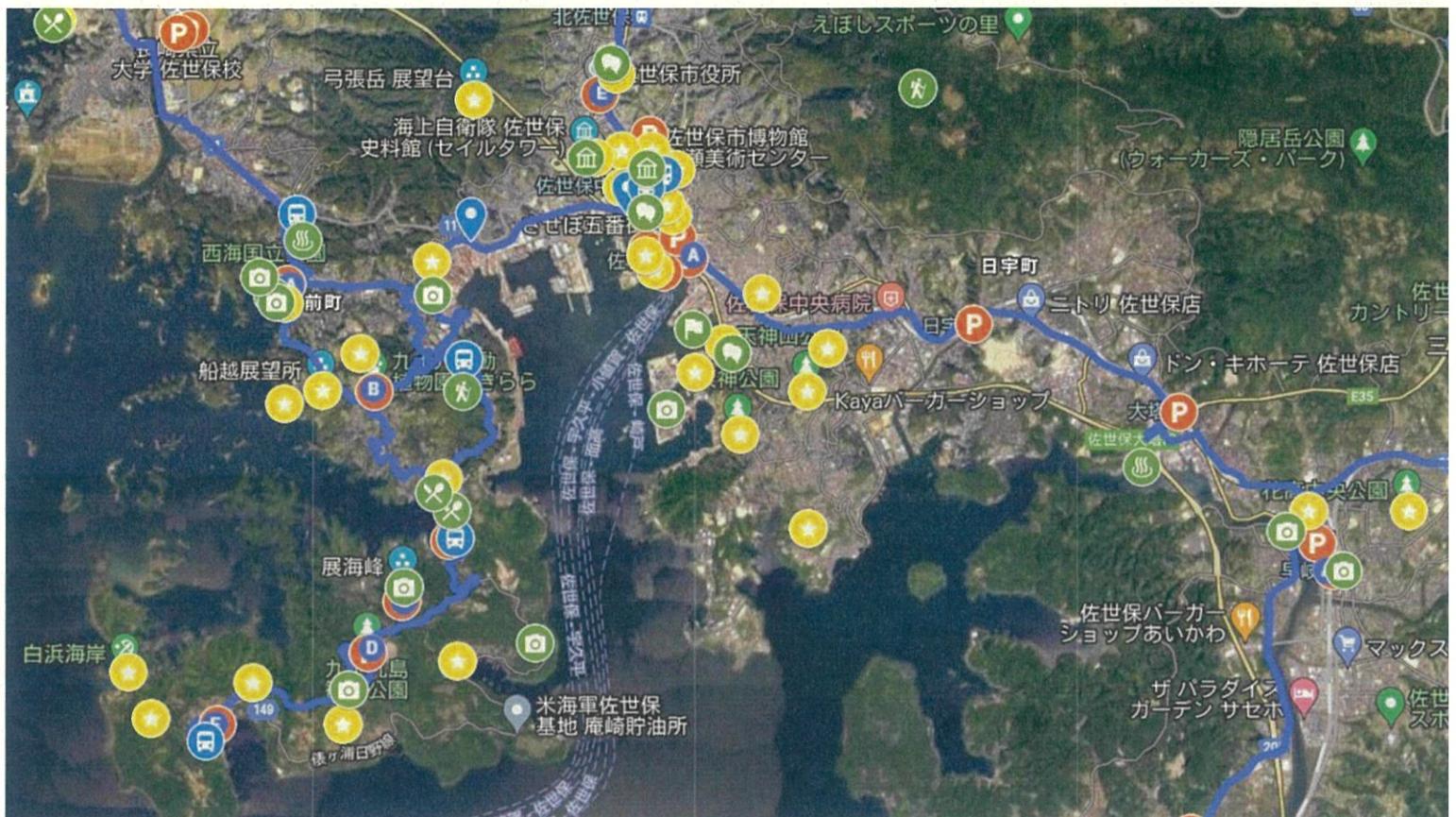
佐世保駅 → 相浦 小佐々 → 江迎鹿町
(約45キロ)

佐世保駅 → 大野 世知原 → 江迎鹿町
(約32キロ)

佐世保駅 → 早岐 → ハウステンボス
(約15キロ)

岡本妄想マップ





サイクルポート候補

- 佐世保駅
- 鯨瀬ターミナルビル
- BRICK MALL SASEBO
- 万津町公会堂
- 九十九島パールシーリゾート
- 佐世保市相浦地区コミュニティセンター
- 黒島旅客船（有）相浦待合所
- 小佐々スポーツセンター
- 佐世保市 小佐々支所
- 佐世保市鹿町地区コミュニティセンター
- 鹿町温泉やすらぎ館
- 江迎鹿町駅
- 佐世保市役所 江迎支所
- 福井洞窟ミュージアム
- 佐世保市 世知原支所
- 佐世保市 大野地区コミュニティセンター
- 佐世保市役所
- 佐世保中央公園

- 島瀬公園
- アルカス S A S E B O
- 天空の宿 山暖簾
- 長崎県立大学 佐世保校
- 九十九島動植物園森きらら
- 佐世保市九十九地区コミュニティセンター
- 半島キッチン ツッテホッテ
- 九十九島観光公園
- 俵ヶ浦公園
- 佐世保市日宇地区コミュニティセンター
- 大塔駅
- 早岐駅
- 佐世保市早岐支所
- 佐世保市江上地区コミュニティセンター
- 長崎国際大学
- ハウステンボス駅
- 佐世保市宮地区コミュニティセンター
- 入国インフォメーションセンター
- 浦頭引揚記念館
- 旧佐世保無線電信所（針尾送信所）
- 西海公園
- 佐世保市針尾地区コミュニティセンター
- させぼ 四季彩館

市の施設や駅を中心に





メインルートで見られるであろう風景

「支線」ルート案 ① 傑ヶ浦半島

傑ヶ浦半島のトレイルマップ

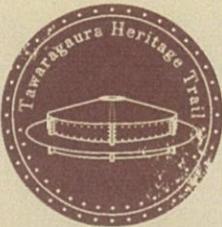


傑ヶ浦半島は

- ・ 展海峰、九十九島觀光公園、日本遺産などの観光スポットを擁する
- ・ トレイルルートが設定されている

トレイル（徒步）と組み合わせたコース設定

長崎県佐世保市
俵ヶ浦半島



俵ヶ浦半島のトレイルとは

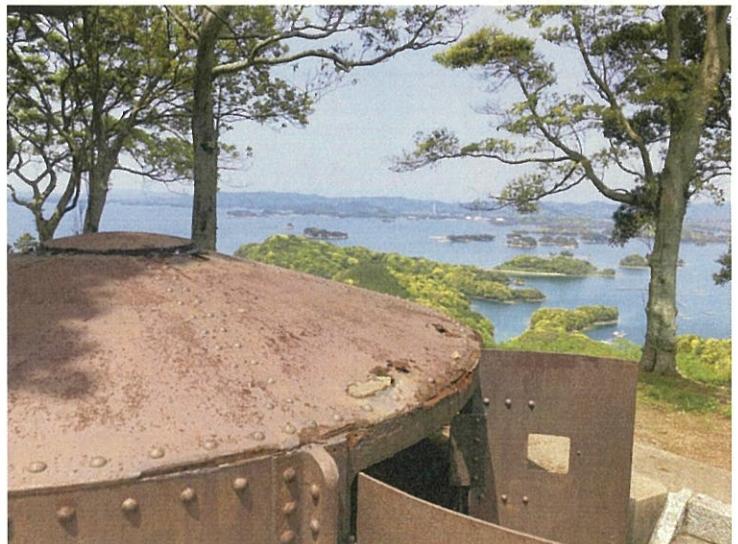
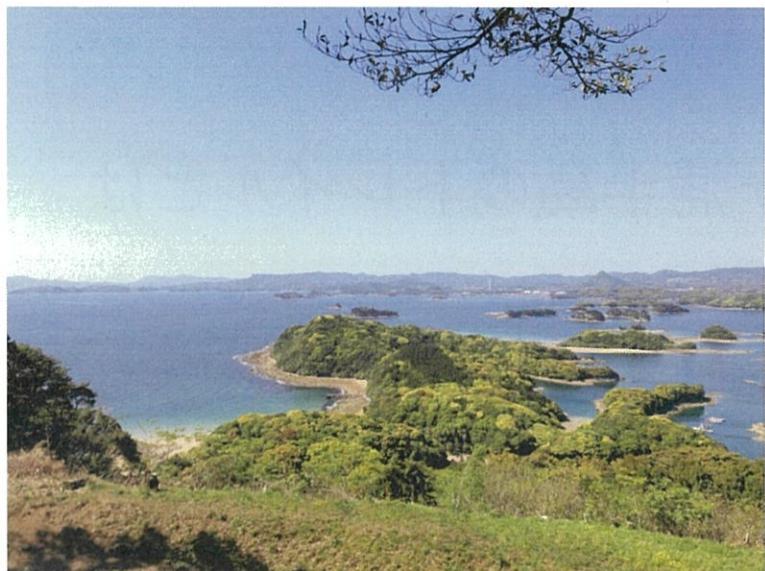
- 2013年からはじまった佐世保市観光コンベンション協会が主体となって行われた取り組み
- 4町それぞれにコースが設定され、それぞれにテーマがある
- トレイルの標識などは地域住民や有志による手作り



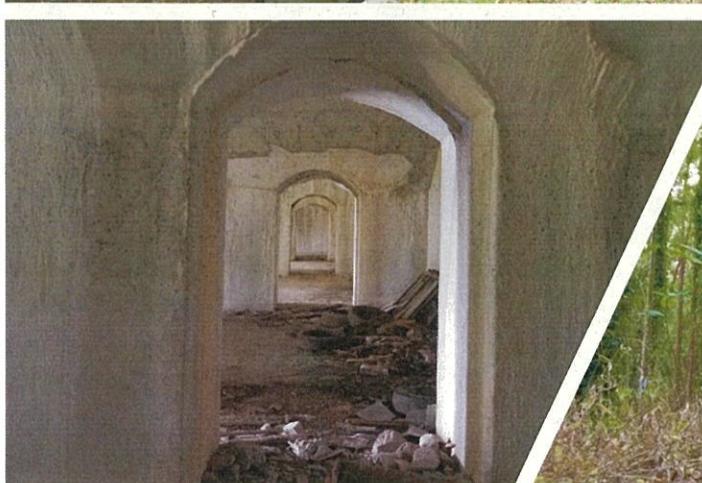
トレイルのマップ

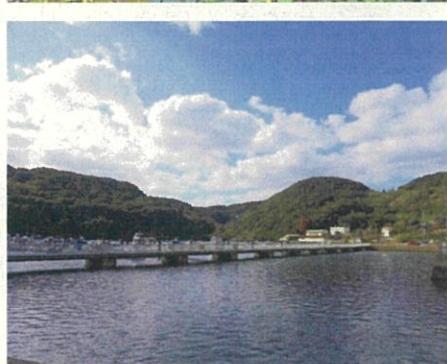
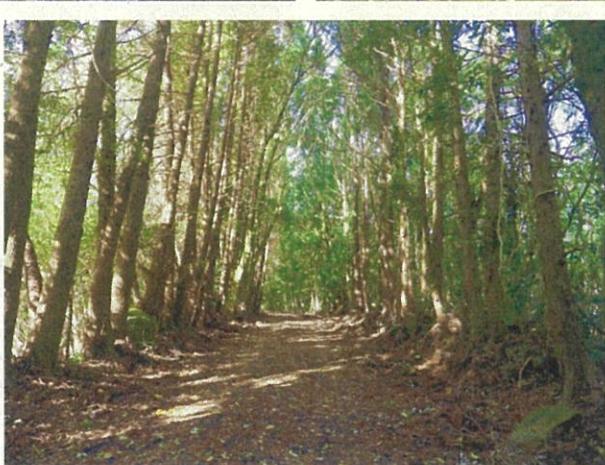
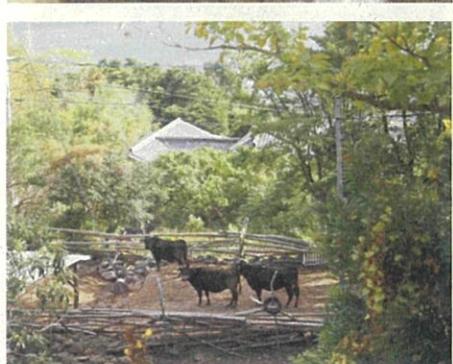
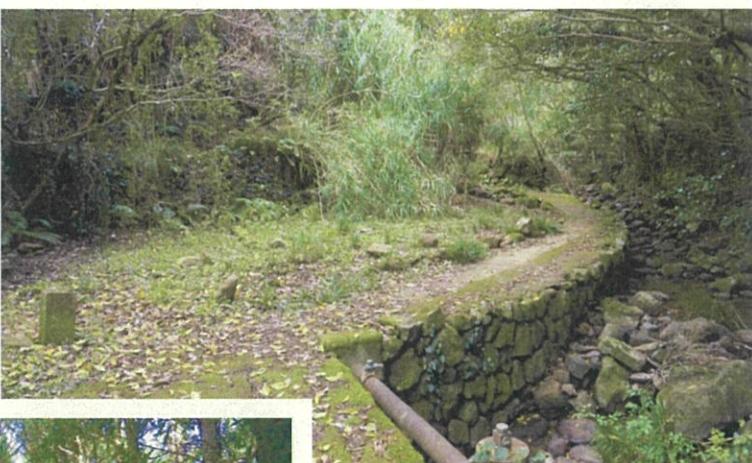
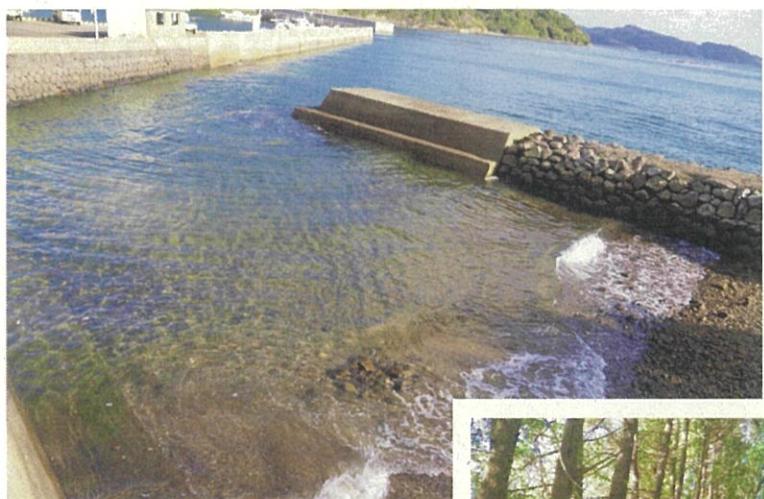
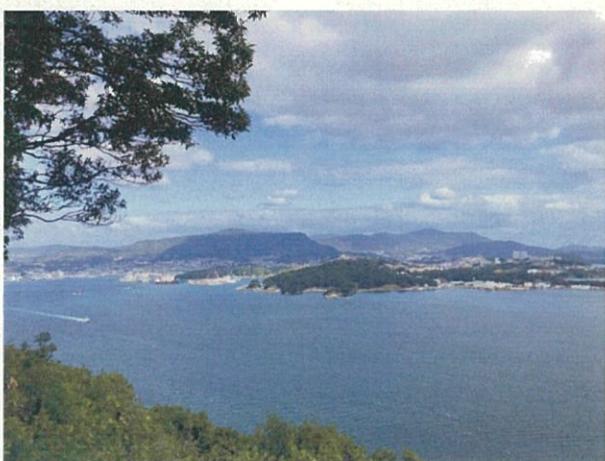
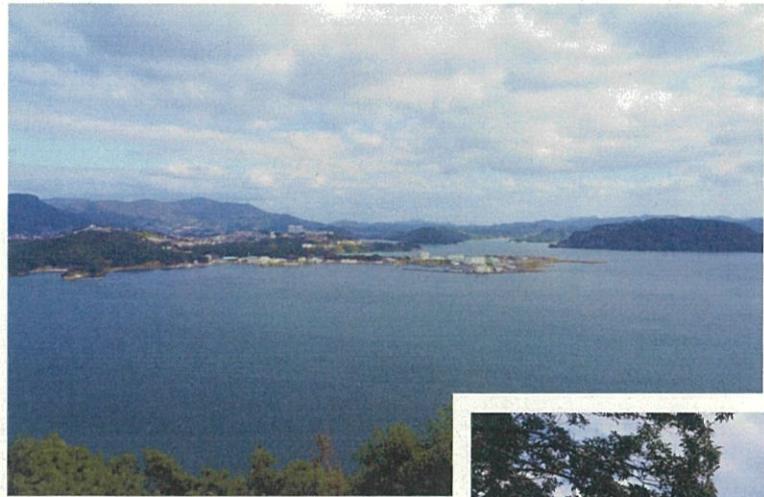
「海風の国」でダウンロード可

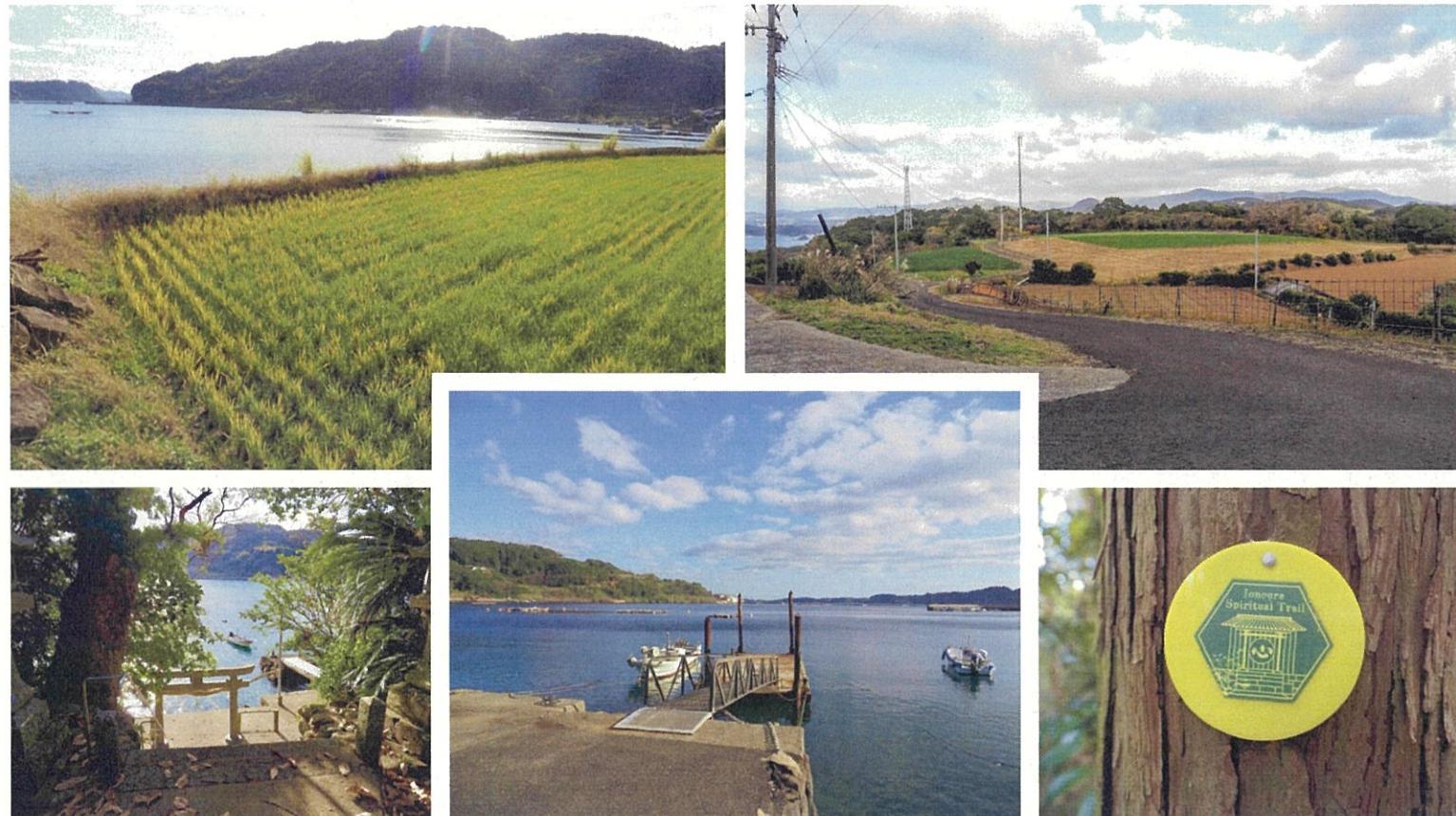
丸出山観測所跡



小首堡壘跡







「支線」ルート案 ② 針尾島

針尾島

早岐駅スタートのコース

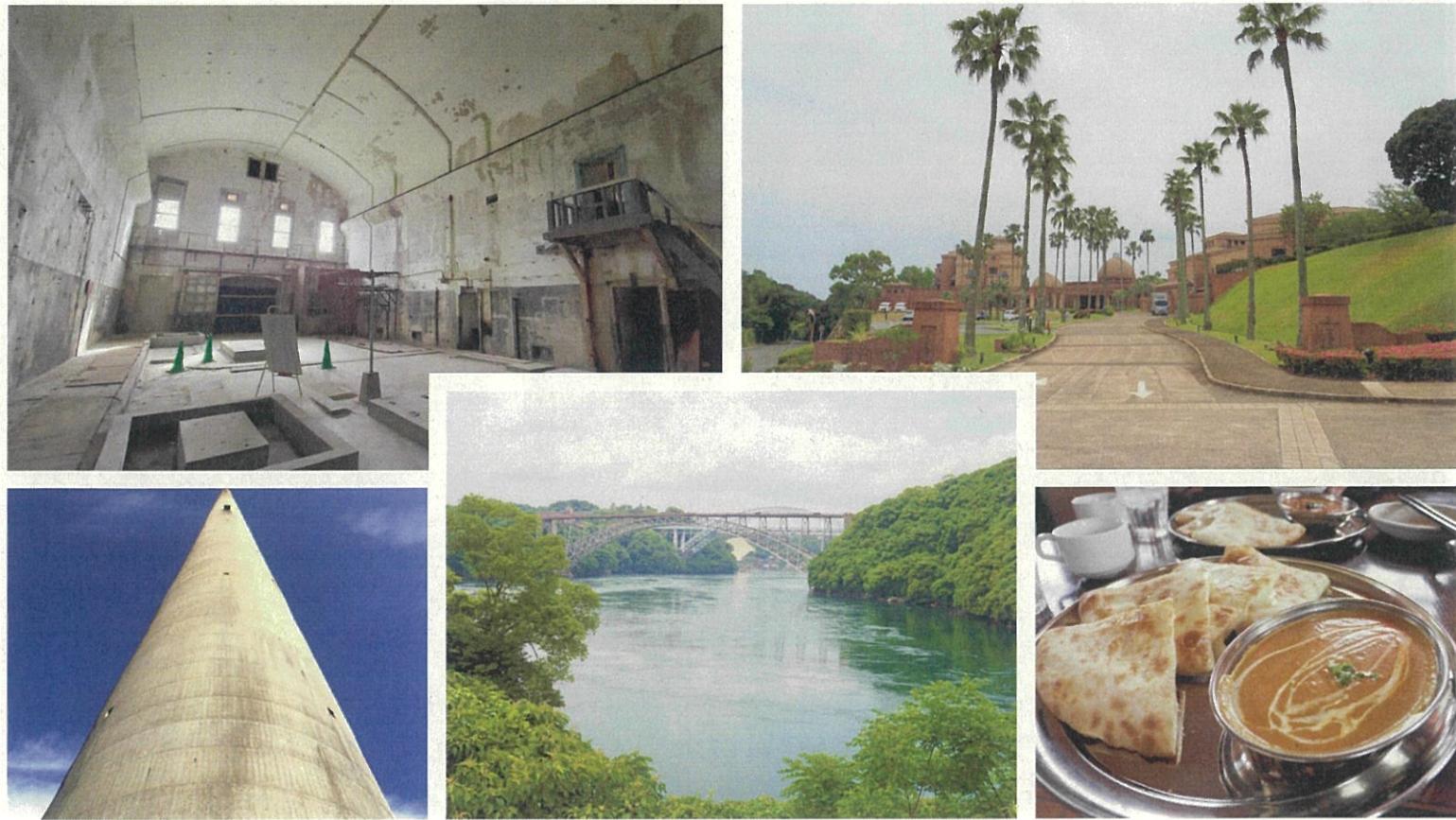
早岐瀬戸、浦頭引揚記念公園、針尾無線塔、
西海橋など

カキ焼き小屋やインドカレーのお店など飲食店も

※ 西海パールラインは自転車通行不可

早岐駅 → 針尾無線塔 → 西海橋公園
(約15キロ)





参考

- ・国土交通省 自転車活用推進法の施行について
(<https://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/pdf/about.pdf>)
- ・国土交通省ナショナルサイクルルート (https://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/good-cycle-japan/national_cycle_route/)
- ・BALLOONERS CYCLE (<https://balloonerscycle.hellocycling.jp/>)
- ・HELLO CYCLING (<https://www.hellocycling.jp/>)
- ・「茶輪」 (<http://www.ureshinocharin.com/>)
- ・俵ヶ浦半島トレイルおすすめコース (<https://www.sasebo99.com/feature/tawaragaura/trail>)
- ・岡本が作成したサイクリングロードマップ
(https://www.google.com/maps/d/u/0/edit?mid=1vlffFLjaFuu8Jvy9_20SxmRoR5fbnl&usp=sharing)

写真はすべて岡本撮影



ご清聴ありがとうございました

伝統文化の支援制度導入

岡本一成



長崎県知事指定伝統的工芸品

- 「長崎県伝統的工芸品産業振興対策要綱」に基づき長崎県知事が指定する10品目
- 「製造過程の主要部分が手工業的であること」「伝統的な技術又は技法により製造されるものであること」などの条件がある

三川内焼は「経済産業大臣指定伝統的工芸品」



画像：長崎県HPより



佐世保市の文化財・民俗文化財

- ・佐世保市には54件の有形文化財と14件の有形民俗文化財がある
- ・佐世保市には4件の無形文化財と19件の無形民俗文化財がある
(うち国指定選択4件、県指定3件)
- ・佐世保独楽は含まれない
- ・未指定文化財も多数
- ・合併前から引き継いだもの

木場浮立



口ノ里念佛講



画像：佐世保市HPより



長崎県知事指定伝統的工芸品

令和4年度長崎県伝統的工芸品支援事業補助金

申請対象：指定工芸品製造事業者

補助対象：販路開拓、新商品開発、ネット販売開発、海外出店の経費

補助限度額：20万円

申請期間：令和4年5月19日から6月30日17時必着（およそ1ヶ月）

申請方法：書類を郵送または持参

実績報告：事業が完了した日から30日以内に報告が必要（2年間）

無形文化財への補助

重要無形文化財：重要無形文化財保存特別助成金

選定保存技術保持者、保持団体：毎年補助金交付

無形民俗文化財：必要に応じて

地域文化財総合活用推進事業

地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業

(1) 用具等整備事業

地方自治体の計画案に基づき事業団体が申請

(2) 後継者養成事業

(3) 記録作成・情報整備事業

(戦前に始まった地域固有のものが主な対象)

文化財指定はなんのため…？

所有者に対して行政が保存・活用の指導助言や財政的な支援を行う手段

しかし…

改正文化財保護法



文化財と観光を結び付けて考える方針



佐世保市でも

文化財・伝統工芸を活用した観光プランをPR



画像：海風の国より

長崎県文化財保存活用大綱より

保存・活用の基本方針

「無形文化財の伝統芸能や伝統技術などの保存団体や個人に対して、文化財的価値を広く周知するための公開事業や伝承者講習のための研修会開催や、有形・無形民俗文化財の施設・用具の修理や新調、記録保存の作成や公開事業など、必要に応じて財政的支援を行う。」

長崎県文化財保存活用大綱より

保存・活用のために講ずる措置

「ふるさと教育をとおして、本県の伝統や文化、地域の歴史や自然を学び、先人の業績等について理解を深めることにより、本県の有形無形の財産を未来へ継承しようとする態度を育み、子どもたちが地域の人々とふるさとの有形無形の財産を活用し、本県及びその地域を担う資質や能力をもった人材を育成する。」



文化財を観光に活用するためには…

市はクルーズ船、ＩＲなどの誘致によるインバウンド観光に注力

→ 観光のターゲット層は**富裕層**

たくさん来てもらう観光からの転換

富裕層にお金を使ってもらえるような**コンテンツづくり**



文化財・伝統工芸を活用

市の包括的な観光システムの確立、マーケティングが必須



「長崎刺繡」再発見塾

- ・長崎市が行っている「長崎伝習所」活動の一つ
- ・刺繡の基礎を学びながら古い長崎刺繡の見学や資料作成を行う
- ・「長崎市伝統工芸人材育成事業」
- ・長崎県指定無形文化財



画像：厚生労働省「技のとびら」、ART STUDIO HPより

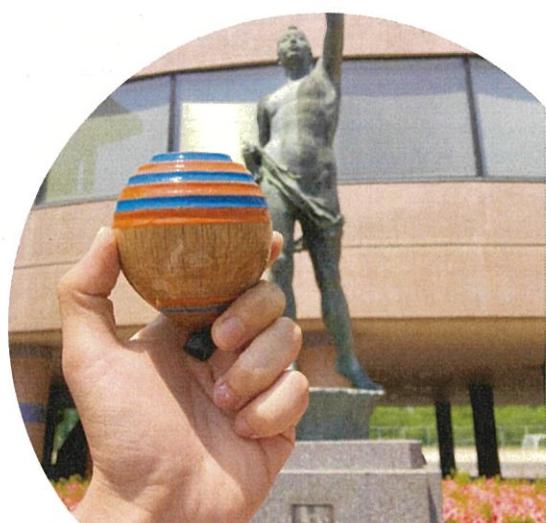


佐世保市への提案

- ・伝統文化、文化財の積極的な学校教育への導入
→ 伝統文化や文化財に触れる機会を増やし、後継者育成に
- ・伝統工芸の振興、後継者育成のための支援制度導入
→ イベント出店や学校教育に対する支援、住宅支援などの生活の支援
- ・市の産業のマーケティング調査
→ 販路開拓、観光
- ・長崎県、国に対する支援制度導入の要請

長崎県立大学 佐世保独楽サークル

佐世保市の伝統工芸、佐世保独楽を回しながら
佐世保と佐世保独楽の歴史を調べたり、
佐世保独楽のグッズを作成したり、イベントに
参加したり企画や遊びのルールを考えたり…と
様々な活動に取り組んでいます。
これまでまちの広場で佐世保独楽体験ブースを
出展したり、地域の神社の縁日に参加したり
しました。



口ヶ地に“佐世保”という選択肢を

～口ヶ誘致を通して届ける佐世保のいいところ～

石丸 愛望

佐世保の観光、
口ヶ誘致から始めて見ませんか？

やってみたいこと、実現したいこと

◎ 口ヶ地を観光につなげる取り組み

理由①

- ・高校生の頃に映画の撮影が母校で行われたことで、佐世保も映像の世界になることができると発見した。
- ・近年、「#推し活」の流行により、「推し」が撮影した場所などを巡る聖地巡礼が普及している。
- ・Instagram等SNSにより、「映えスポット」が若者に注目されている。

3

やってみたいこと、実現したいこと

◎ 口ヶ地を観光につなげる取り組み

理由②

- ・今佐世保にあるいいところを最大限に引き出す！

⇒ **低成本**

- ・SASEBO未来デザイン会議が終わっても持続できる！

⇒ **持続可能性**

4

1. 口ヶ地を観光につなげる取り組み

○○ツーリズム

例) グリーンツーリズム、グルメツーリズム、ワインツーリズム、ティー
ツーリズム …etc

⇒ ロケツーリズム

「映画・ドラマのロケ地を訪ね、風景と食を堪能し、人々のおもてなしに
触れ、その地域のファンになってもらうこと」

1. 口ヶ地を観光につなげる取り組み

ロケ誘致
(準備)

放送

ロケツーリズム
(観光)

1. 口ヶ地を観光につなげる取り組み

事例① 映画「釣りバカ日誌16浜崎は強もダメだった」

事例② 映画「69sixtynine」

事例③ 映画「坂道のアポロン」

事例④ 映画「こはく」

事例⑤ NHKドラマ「逃げる女」

出所：【制作者の方々へ】WEBロケハン／佐世保市役所 (sasebo.lg.jp)

ツーリズムにつなげるためにはもっとロケ誘致が必要…？

1. 口ヶ地を観光につなげる取り組み



2. 口ヶ誘致を行うために

参考事例：**島原市**

2021年度 ロケツーリズムアワード「地域大賞」 受賞

2021年4月～ ロケツーリズム班を開設（島原市役所）

2022年度ふるさと納税『ロケ誘致で島原を元気に！』

- ・島原ロケーションガイドの作成
- ・ロケなび！の活用

9

2. 口ヶ誘致を行うために

島原市の実績（2022年）

- ・マクドナルド 「マックシェイク カルピス」 CM
- ・NHK Eテレ 「グレーテルのまど」（再放送）
- ・マクドナルド 「マックフルーリー 濃厚マンゴー&カルピス」 CM
- ・BSフジ 「ローカル単線でめぐる旬旅」
- ・NHK 「ドキュメント72時間」

出所：ロケツーリズム班 / 島原市 (shimabara.lg.jp)

10

島原市役所組織図

☆ロケツーリズム班を開設。

市長公室

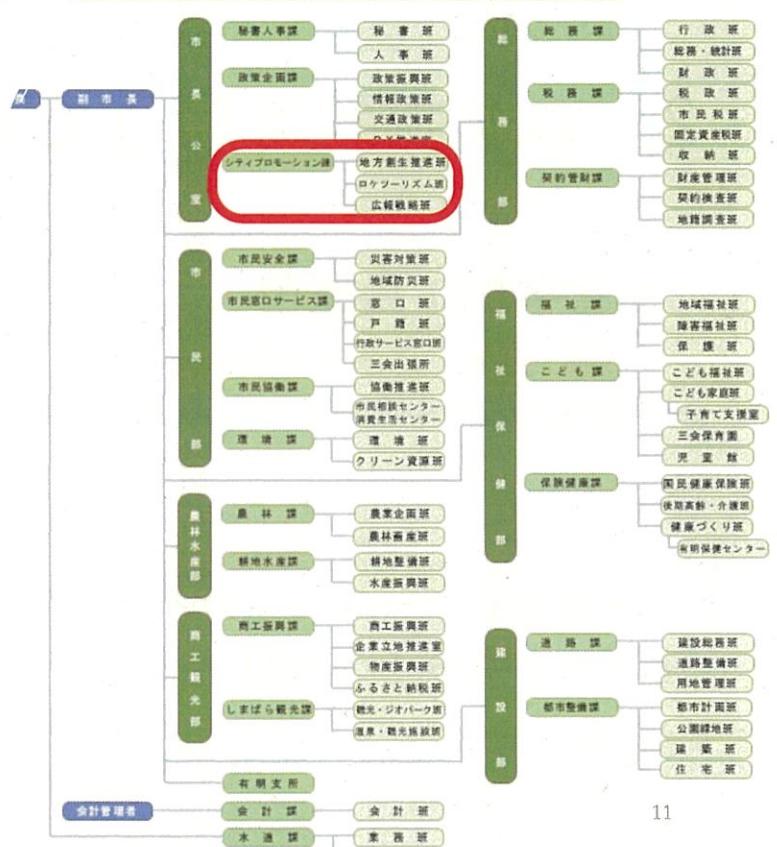
↳ シティプロモーション課

↳ ロケツーリズム班

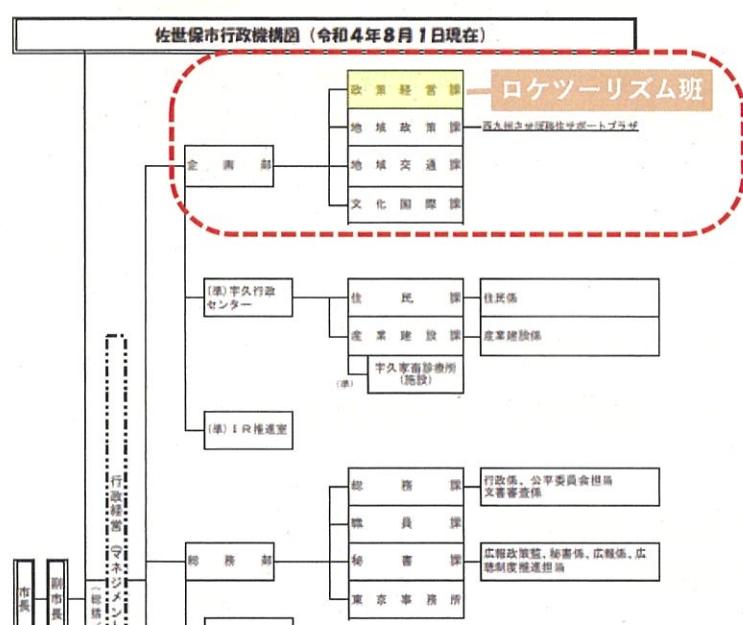
出所：組織図（令和4年4月1日現在）／島原市
(shimabara.lg.jp)

【仮説】

これを佐世保市役所に当てはめることも出来るのではないか？



11



佐世保市行政機構図

行政経営（マネジメント）

↳ 企画課

↳ 政策経営課

↳ ロケツーリズム班

資料1 佐世保市行政機構図 (4/4ページ)

出所：佐世保市役所ホームページ 佐世保市行政
機構図kikouzur408.pdf (sasebo.lg.jp)

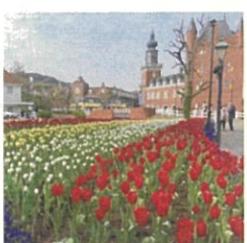
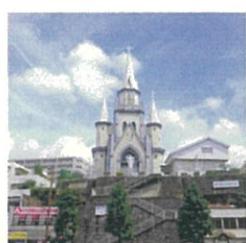
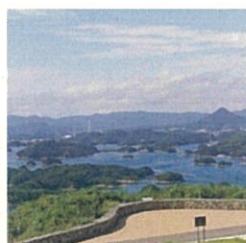
12

2. 口ヶ誘致を行うために

- ⇒ 誰が . . . 佐世保市役所 企画部 政策経営課 ロケツーリズム班
- ⇒ どこで . . . 佐世保市ホームページ、「ロケなび！」等サイト
- ⇒ どうやって . . .
① 佐世保市ロケーションガイドの作成
② ロケ地誘致サイト「ロケなび！」の活用
③ キラッ都佐世保応援寄付金（ふるさと納税）の活用

13

3. 佐世保市のロケ誘致



ロケーションの提案

- ① 山（弓張岳、烏帽子岳、展望峰、愛宕山等）
- ② 海（パールシー、九十九島観光公園、五番街等）
- ③ 街並み（三ヶ町、四ヶ町アーケード、夜店通り、戸尾市場等）
- ④ 造船場、ハウステンボス等

出所：レトロ可愛い！港まち佐世保でゆるっと楽しむカメラ女子向けPHOTO TRIP | モデルコース |
【公式】佐世保・小値賀観光/旅行サイト 海風の国観光圏 (sasebo99.com)、路線バスで巡る長崎 佐世保・平戸の旅（前編） | OnTrip JAL (1/2)、本人撮影

3.佐世保市のロケ誘致

ロケーション誘致サイトの活用

⇒ロケなび！ロケ地・ロケ弁・撮影情報 無料検索サイト (locanavi.com)



15

3.佐世保市のロケ誘致

ロケ誘致は、

今ある佐世保のいいところをアピールすることで出来る！

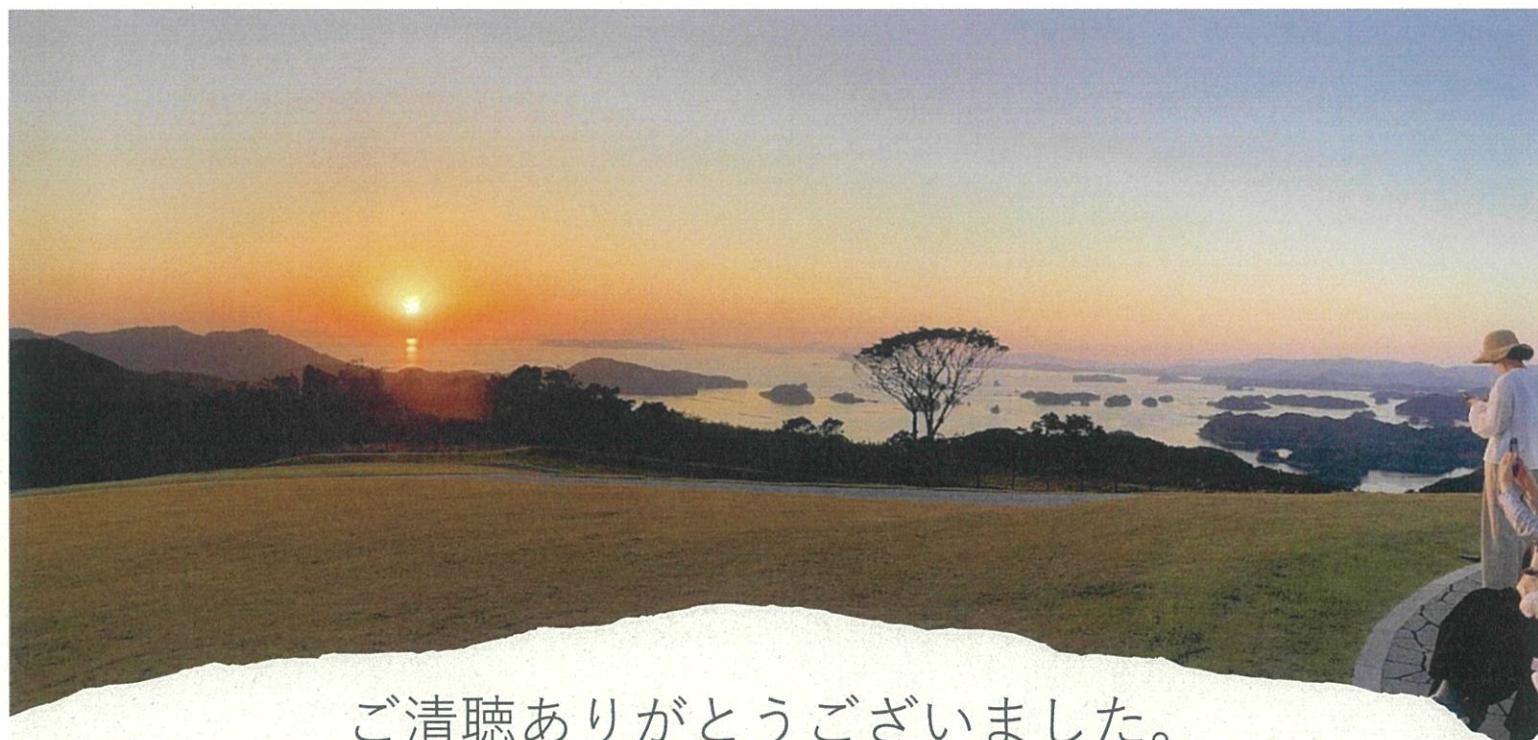
【長期的目標】ロケ誘致を通してロケツーリズムを成功させる！



16

佐世保の観光、 口ヶ誘致から始めて見ませんか？

17



ご清聴ありがとうございました。

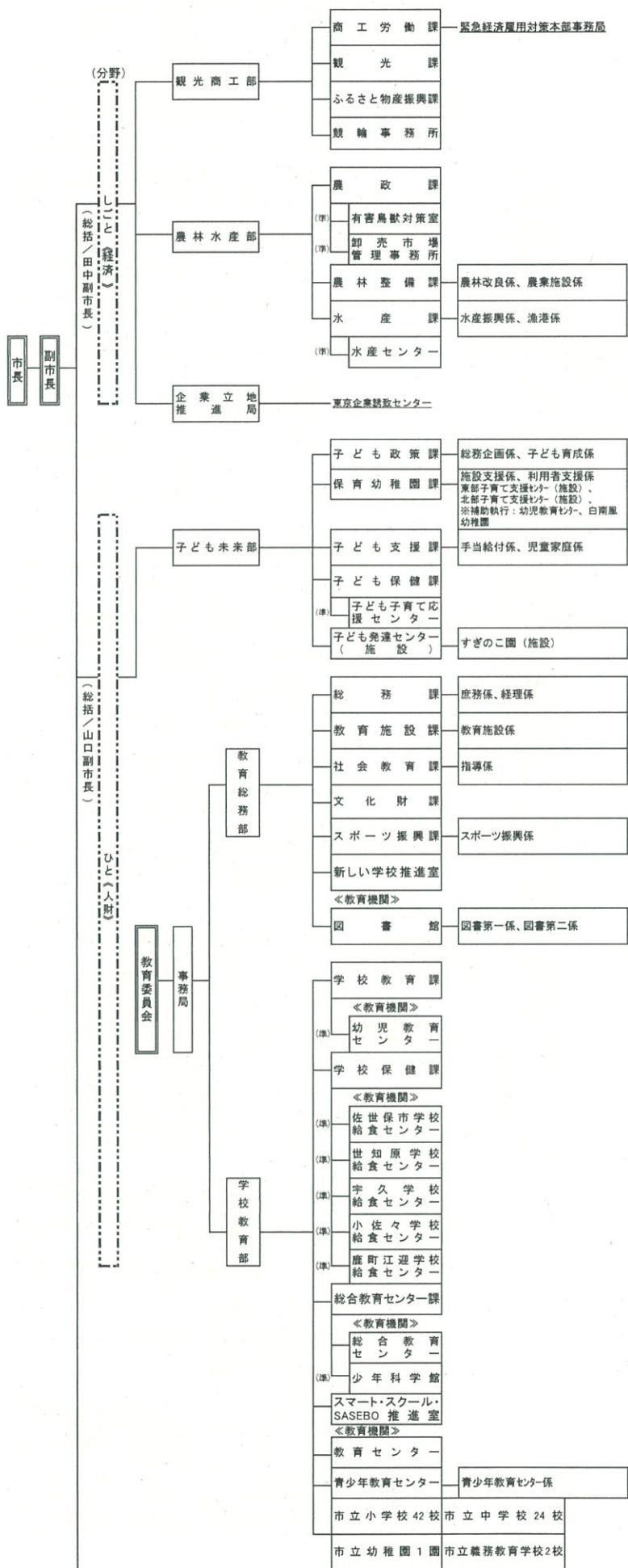
18

参考

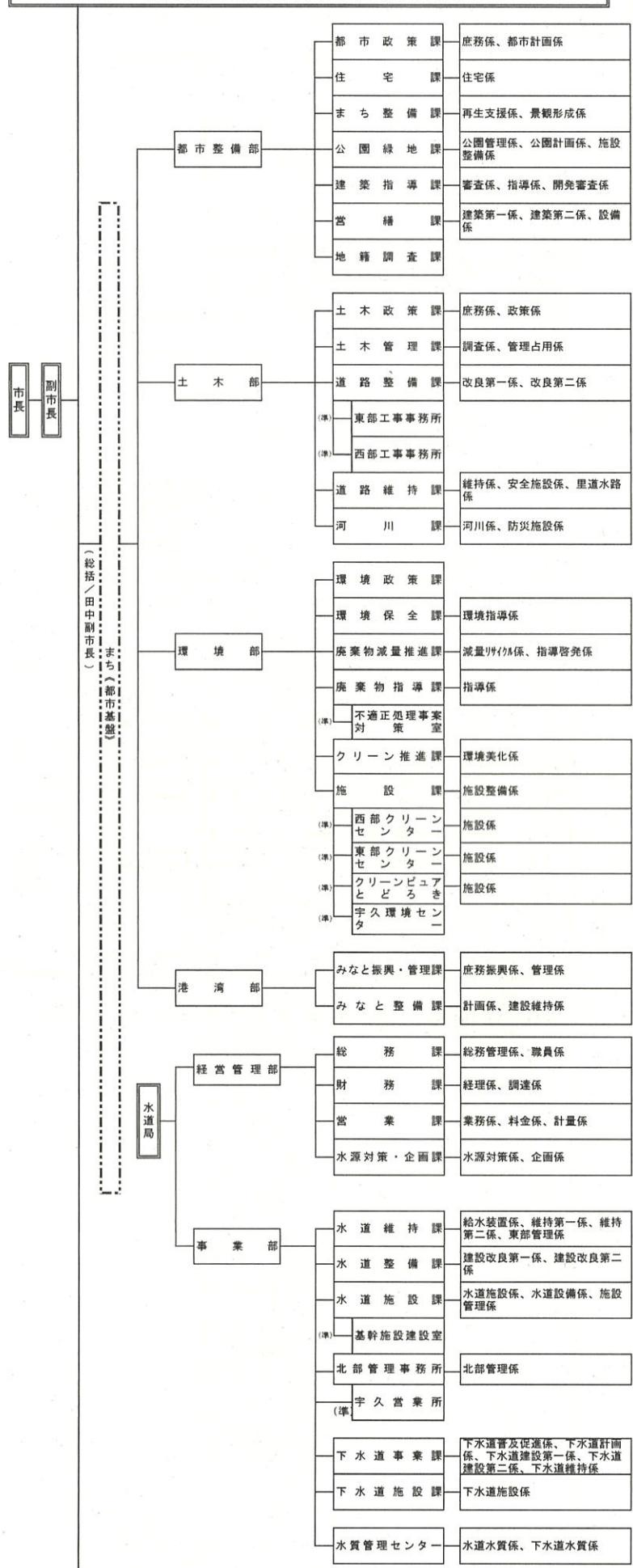
- ・ロケツーリズムに注目 地域を盛り上げ人を呼び込む仕掛けづくりとは -旬刊旅行新聞 - 株式会社旅行新聞新社 (ryoko-net.co.jp)
- ・【制作者の方々へ】WEBロケハン／佐世保市役所 (sasebo.lg.jp)
- ・ロケ誘致で成果 島原市にロケツーリズムの「地域大賞」 | ニッポンふるさとプレス (furusato-s.co.jp)
- ・ドラマ、情報番組に大人気！コロナ禍でも積極的にロケ誘致！ 「ロケツーリズム班」新設で撮影実績を蓄積する長崎県島原市とは？ | ロケ隊サポート(食・宿・地域ニュース) | ロケなび！ロケ地・ロケ弁・撮影情報 無料検索サイト (locanavi.com)
- ・【募集】令和4年度企業版ふるさと納税『ロケ誘致で島原を元気に！』 / 島原市 (shimabara.lg.jp)
- ・ロケーションガイド（映像制作者向け） / 観光TOP / 島原市 (shimabara.lg.jp)
- ・ロケツーリズム班 / 島原市 (shimabara.lg.jp)
- ・組織図（令和4年4月1日現在） / 島原市 (shimabara.lg.jp)
- ・佐世保市役所ホームページ 佐世保市行政機構図kikouzur408.pdf (sasebo.lg.jp)
- ・レトロ可愛い！港まち佐世保でゆるっと楽しむカメラ女子向けPHOTO TRIP | モデルコース | 【公式】佐世保・小値賀 観光/旅行サイト 海風の国観光圏 (sasebo99.com)
- ・路線バスで巡る長崎 佐世保・平戸の旅（前編） | OnTrip JAL (1/2)

19

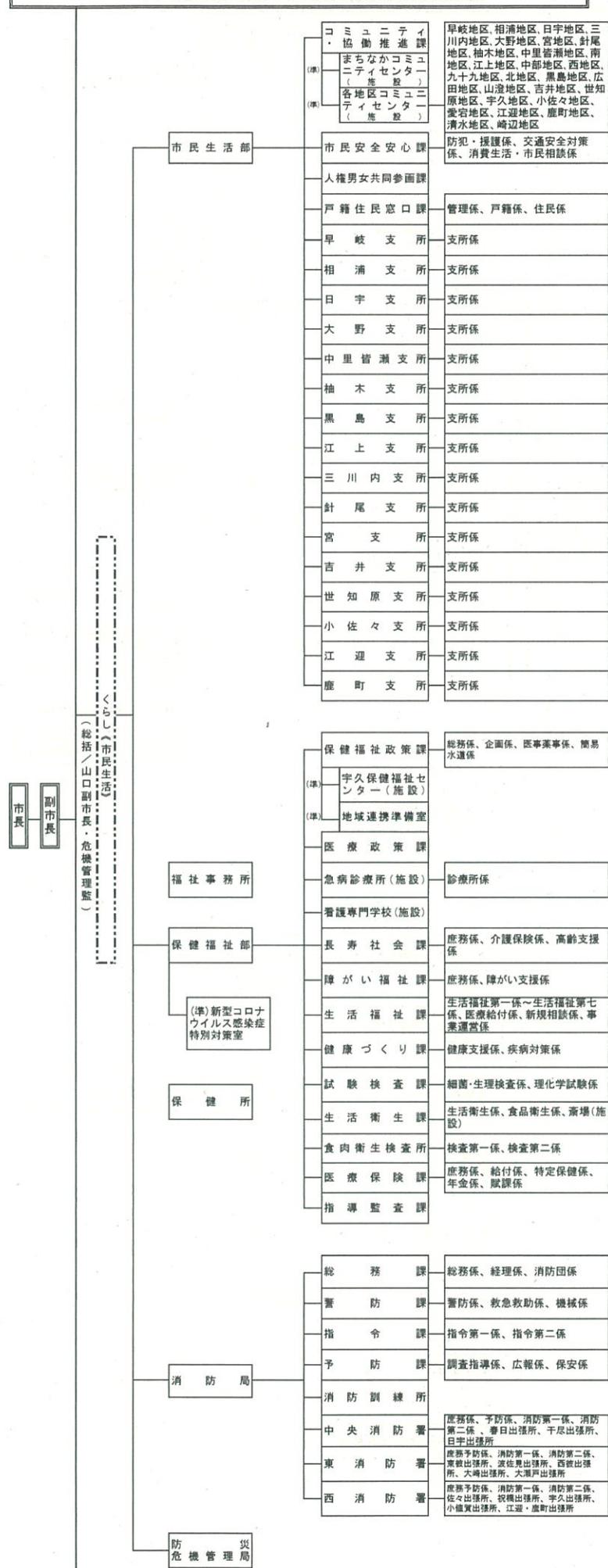
佐世保市行政機構図（令和4年8月1日現在）



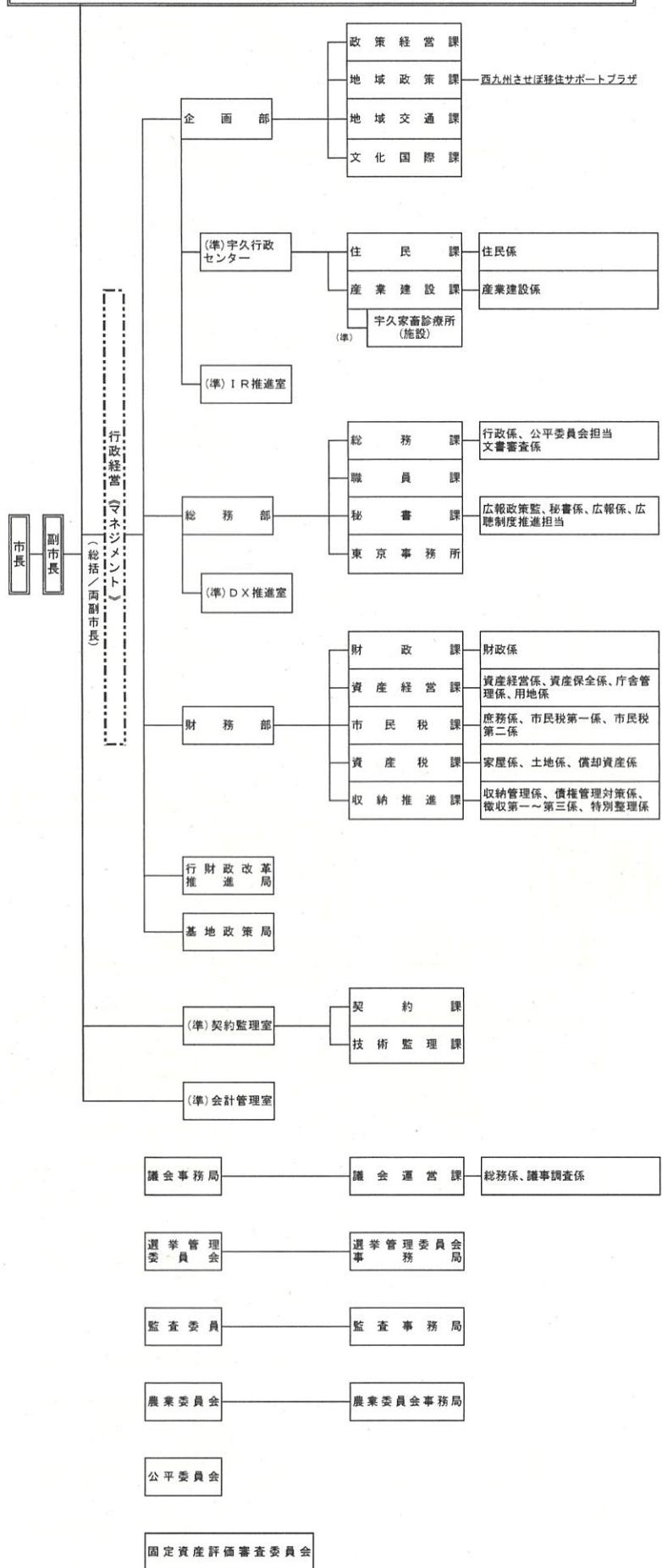
佐世保市行政機構図（令和4年8月1日現在）



佐世保市行政機構図（令和4年8月1日現在）



佐世保市行政機構図（令和4年8月1日現在）



\みんなでつくる！/

球体型芸術祭の開催

—ミュージックツーリズムの実現・コミュニティ形成—

迎 ゆかり

Agenda

I なぜ音楽祭を開催するのか？

II 数字で見る音楽関心度

III 音楽業界の現状

IV ミュージックツーリズムとは

V 球体型芸術祭とは

VI 期待できること

VII イベント運営・開催想定

VIII おわりに

I なぜ音楽祭を開催するのか？

- ・音楽人口を増やして心豊かな街な佐世保を目指す。
- ・関心度の高いコンテンツ（芸術文化）を活用し、佐世保を盛り上げる。
- ・ミュージックツーリズムを活用し、イベントだけではなく、観光事業としての集客を目指す。
- ・皆で運営力を身につけて更に佐世保を熱狂する街に盛り上げる！



NEXT▶本当に関心度が高いコンテンツ？

II 数字で見る音楽関心度

芸術家の人口（H22国勢調査）
長崎県1,760人
10万人あたり
全国平均195人 長崎県123人

趣味娯楽の行動率
演劇・芸術・舞踊鑑賞
全国平均 14.5 長崎 10.4

楽器人口
1,240万人→10人に1人
女性が割合高い (男性8.7%・女性13.0%)

クラシック音楽鑑賞
全国平均 10.1 長崎 7.5

生活時間の動向(趣味娯楽)
1位テレビゲーム
2位読書
3位楽器演奏

学習・研究内容
1位PCなどの情報処理
2位文化芸術
3位美術

データ出典 社会生活基本調査 2016

Point !

- ✓ 学習関心度や生活時間の傾向より
音楽に興味や関心がある人は多い。
- ✓ 長崎県の楽器人口が最下位。
※25歳以上人口100人あたり4.75人(偏差値32.8)
→理解者と環境を整える必要がある。
- ✓ 楽器人口は女性の割合が多い。
人口流出抑制のヒントにもなる？
- ✓ 全国では関心高いコンテンツだが、
長崎県は平均以下が多い。
→芸術文化に触れる機会を設け、
音楽人口や理解者を増やすことが大切

音楽業界の現状

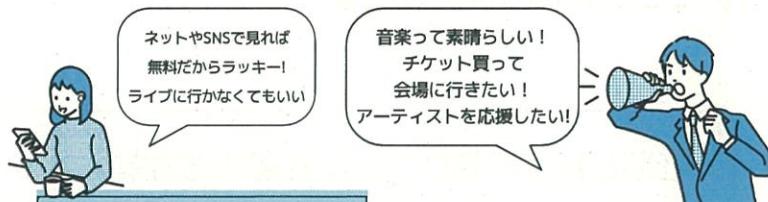
サブスクの時代へ

コロナ禍でおうち時間増加→音楽視聴時間は*12.6%増加
サブスリクション(定額音楽聴き放題)の有料会員の増加
サブスクは気軽に音楽に触れられる→知らない曲に出会える
ファンはグッズとしてCD購入継続→にわかはサブスク一択へ
アーティストは見つけてもらえる反面、
CDが単価が高いため、サブスクが主流になると収入が減少傾向。

今はサブスクなどの配信でバズらせてライブの集客に繋げる。
CD買ってもらうために握手券などの特典をつける。
なんとか生き残っていく。

過酷な音楽価値が浸透するとアーティストを諦める人も増加。

*日本レコード協会データ



音楽は無料で楽しむもの?

無料動画・音楽配信サービスも増加

音楽以外の娯楽の選択肢も増えた。
音楽は無料で楽しめる娯楽と認識されている傾向がある。

Point!

違法ダウンロードもできる抜け穴を知っている
デジタルネイティブの子供たち。
→「音楽は無料が当たり前でしょう?」
当たり前になる前に正しい理解を促し音楽の価値を守る
アーティストになる選択肢を守ることにも繋がる。

ミュージックツーリズムとは

音楽に関心がある人が多い!
一方で敷居が高いと感じる人もいる。
→音楽人口・理解の普及!
佐世保を音楽の街に。
音楽業界を変えるためには長崎・佐世保
だけでなく全国の人にも広めていくべき。
→観光客にも音楽理解してもらう!



佐世保が芸術文化に関心高い街になると…
更に有名なアーティストのライブも
佐世保で開催ができるかも!?

佐世保は可能性に溢れている!

- 成長可能性ランキング(H29) 全国10位
- 移住者に優しく適度に自然がある環境で仕事ができる 7位
- 多様性を受け入れる風土 3位
- 企業スピリッツがありスマールビジネスにも適している 6位
- 長崎県の地域注目度ランキング 1位
- 2024年にJR長崎本線ICカード導入
- HTBを森岡毅さん率いる株式会社刀が支援!
→USJ・西武遊園地をV字回復最強マーケター!
- 魅力的なイベントが沢山ある!
もっと認知してもらわないと勿体無い!

芸術文化×観光×佐世保人の魅力

ミュージックツーリズム

IV ミュージックツーリズムとは

音楽と観光が結びついた音楽観光事業。
音楽を楽しみつつ、その土地固有の食や
文化、歴史、工芸、アトラクション、
アクティビティなどに触れながら
地域の人びとと交流する観光のこと。
経済効果だけでなく、地域コミュニティの
形成・維持、*シビックプライドの醸成、
シティプロモーションなど、地域の活性化を
促進する様々な効果があります。

*まちへの「誇り」「愛着」「共感」をもち、「まちのために自ら関わっていこうとする気持ち」のこと

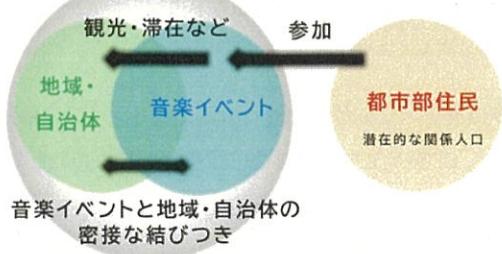
引用：https://www.soumu.go.jp/main_content/000807136.pdf

従来の音楽イベント



「地域・自治体」は「音楽イベント」の開催場所を提供している
だけなので「都市部住民」は「地域・自治体」に無関心

ミュージックツーリズムの考え方



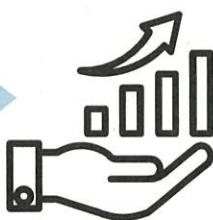
「地域・自治体」と「音楽イベント」が密接に結びついているため
「都市部住民」は「地域・自治体」に関心を向ける
従来の音楽イベントとミュージックツーリズムの違い

IV ミュージックツーリズムとは

ミュージックツーリズムは目的ではなく手段!!



ミュージックツーリズム
を通して地域活性！



街づくりが神ってる佐世保 /
市民がマネジメント力
をつけて企画・企業！



Point!

目的は芸術文化の機会に触れ、関心度を高め、理解者を増やすこと。

市民コミュニティの活性化（人口減少抑制・維持）

そのために手段としてミュージックツーリズムを活用する！

球体型芸術祭とは

実施までにフラットな関係で作り上げるコミュニティがある。

従来の参加型イベント



- ・立案した人、団体が企画運営を行う。
- ・企画決定後に参加者を募集して開催する。
- ・イベントのファンになる。

球体型イベント



- ・どの立場でもフラットな関係で意見を出し合い企画運営を行う。
 - ・企画段階よりコミュニティがあることでシビックプライドの醸成に繋がる。
 - ・運営人（コミュニティ）とイベント等、関わる全体のファンになる。
- 持続・発展可能なイベントになっていく。

期待できること

観光PR

複数日の開催で佐世保の
観光地PRも狙う。
SNS投稿（口コミ）で
非参加者の後続観光。

外国人向けアカウント
ビジュアルメインアカウント

地元店舗の発展

会場での出展、周辺店舗の
クーポン発行などで
店舗利用を促す。
地元住民には
リピート利用を目指す。

グルメマップの作成

公共施設のPR

普段足を運ばない方が
利用することで後続利用と
施設の運営理解を促す。

意外なモノとコラボ
→ex: お寺×ROCK

運営者の育成

外部委託ではなく、市民の運営力育成
を目指すことで、持続・発展可能な芸術祭
へ。コミュニティ形成にも繋がる。
学生は地元での成功体験で県内就職
将来的なUターン・起業も期待できる。

取り組みをサイトやSNSで発信
公共文化施設の予約簡易化

共通交通機関の利用

複数会場開催にすることで
車利用者の利用体験を促す。
遠方参加者に向けては
MaaS導入があれば◎

10/5～佐世保・西九州エリア追加！/
STLOCALの普及

異文化交流

佐世保の魅力の一つの
アメリカ文化のイベント開催。
多様性を活かしながら
新たな文化創造へ。

ex: JAZZイベント
英会話イベント

期待できること

芸術文化の発展

- ・文化的活動の発展
- ・佐世保から更に文化人の創出→佐世保を全国・世界へアピールする。
- ・国籍、地域、文化問わず市民だけでなく、観光客にもPRが期待できる。
- ・文化芸術創造拠点形成事業等の事業支援に採択されると更に持続可能に。

市民コミュニティの活性化

- ・球体型にすることで市民もマネジメント力を身につけ、やってみたいことを自ら挑戦できる。
- ・持続可能な文化祭へ発展させることでボランティアで留まらず、有償として働く場所をつくる。
- ・シビックプライドを持つことで人口減少の抑制へ。
- ・活動的な佐世保の人や街に魅力を感じた人が移住。

VII イベント運営・開催想定

【コンセプト】みんなでつくる芸術祭

【開催期間】9月中旬ごろに3日間開催（土日+敬老の日）

【会場想定場所】アルカスSASEBOを中心に佐世保近辺に5ヶ所以上を会議にて選定。

アルカスSASEBO、アーケード（島瀬公園）、佐世保市民文化ホール、九十九島観光公園、佐世保中央公園、五番街、えきマチパディオ広場など

【イベント概要】

- ①開催1年半前を目処に運営チームを公募。
- ②マーケティング講座や佐世保の調査を行い、開催日程や場所の選出。
- ③活動状況をSNSで発信しながら調査結果を基に、会議でイベント内容を決めていく。
- ④イベント内容を発表し、開催に向けて運営を進めていく。（必要に応じてボランティア募集）

*イベント実行委員会(仮)はイベント内容を選定するのではなく、運営チームのサポートを行う。

例：運営チームが学ぶための講座の準備・会議場所の用意など



イベント参加のメリットだけでなく、運営チームとして学べるメリットも！

マーケティング
広報PR
チーム

- ・イベント開催に適した日時、場所の調査
- ・SNS運用など
- ・円滑な準備、意見出しのためのチーム内の交流をまとめる。

イベント運営
チーム

- ・キャスティング
- ・プログラム作成など

観光イベント
チーム

- ・イベントと観光に繋げるための戦略チーム

VIII おわりに

私は佐世保で音楽に出会いました。

小学生の頃、市民会館での音乐会がきっかけにアップライトピアノを買ってもらったこと、

アルカスSASEBOでの演奏会に参加したことで音楽進学を決意したこと…全てが地元、佐世保での出来事でした。

しかし、真剣に音楽と向き合いたいと音楽進学を決意したとき、音楽を学べるのは市外の学校という選択でした。

中学校や塾の先生からは「音楽進学は現実的ではない、佐世保3校がいい」という話を面談で伝えられ、

悔しかったことが今でも忘れられません。

今、地元にこだわって演奏活動しているのは過去の悔しい経験も原動力となっているかもしれません。

幸い、私は佐世保で音楽と出会い、好きなことを仕事にしています。

それは奇跡的な“きっかけ”があったから。

近年、コロナ禍でイベントも制限され、経済的な理由でも挑戦できない環境の人もいます。

苦しい世の中になると優先順位が下がってしまうものではありますが、

不安なことが続く今だからこそ、言葉も必要ない芸術文化のチカラを信じてより良い佐世保を作りたいです。

更に音楽や文化など好きなことに思いっきり挑戦できる街、心豊かな街になることを望みます。

SASEBO未来デザイン会議で 実現したいこと

井手勇旗

歴史・文化が身近な街、佐世保をつくる
歴史パート（歴史×最新技術）



- ・変わることがない、基本的な情報は立札で、研究が進み更新された内容は、QRコード読み取りからで随時更新！
- ・QRコード読み取りで音声ガイドを楽しむことも可能
リアルタイムで佐世保の歴史を追っかけることができる

スマートフォン1つあれば、最新の佐世保の歴史を見ながら学ぶことができる

【アイディアメモ】

- ・平戸往還
- ・VR体験
- ・小学生の歴史研究資料の閲覧
- ・もしかしたら、ラミネート加工したA4サイズの案内板でも良いかもしれない。
- ・フリーWi-Fiの設置？
- ・通りの名前やごく限られた地元しか知らない情報も網羅
- ・井手個人としては、日露戦争時に日本の戦艦がバルチック艦隊を撃破しに向かった場所をぜひ、教えてほしい

歴史・文化が身近な街、佐世保をつくる

歴史パート（歴史×交流）

佐世保に関係する歴史上の人物の子孫や研究者とのトークセッション

○○はどんな人だったのか？小説ではこんな感じに描かれているけど実際は？

→佐世保に関係する人から始めて、最後は佐世保に関係のない歴史上の人物の子孫も招く！

例えば……



東郷平八郎
だったり。



上杉謙信
だったり。



真田幸村
だったり。

なぜ、今行政が歴史に関する事業をしなければならないのか？

①佐世保のアイデンティティーを守る

佐世保の歴史とはすなわち、私たち佐世保人のアイデンティティーです。教科書に載っている歴史を学ぶことは重要ですが、それと同等に佐世保とはどんなところなのか、佐世保はどのように成り立ってきたのかを知ることはすなわち、郷土愛につながります。

佐世保市民として誇りや親しみをより持てるようになるためにも、地域の歴史について知ることは大変重要です。それは、事業者主体で行うよりも佐世保市としてどんなことに市民に知ってもらいたいかを明確にし、発信していく必要があると思います。

②歴史に親しむきっかけを作る

上記の目標を達成するためには、まず佐世保の方に歴史について親しみを持ってもらわなければなりません。

そのために、まずは誰でも知っているような歴史上の人物の子孫の方や、歴史に関するアニメやゲームに関係した方々をお呼びし、

歴史はダサい、知らない、興味がないなどと思っている方に少しでも佐世保の歴史に興味を持つてもらえるように動いていかなければならないと思います。

第4章 交流

- 1 米軍基地との交流（黒田美也）
- 2 佐世保の中高生に学習スペースを（永山奈々）
- 3 高校生会議（川瀬優子）
- 4 キャリア教育を踏まえた企業立地、起業支援（下川賢人）
- 5 企業と学生をつなぐ新たなプラットフォーム「就活カフェの設置orイベント」
～高校生・大学生×社会人が”長崎で働く”と一緒に考える～（諸國麻柳）
- 6 社会貢献活動する人の交流会（福田渚、藤松謙之介、田中初音）
- 7 若者が集うコワーキングスペース構想（新井輝）
- 8 佐世保市役所若者部おもしろ課設立について（古川拓也）
- 9 佐世保の中小企業、個人事業主を活性化したい
生活に役立つ情報アプリ（内野彩）
- 10 あの時 あの日を思い出す地元ネットワークを繋げる交流（田中初音）
- 11 佐世保つながるプロジェクト～地域×行政×高校生～（藤松謙之介）
- 12 共生社会をめざして～バリアをのぞいてみよう～（岡智志）

佐世保未来デザイン会議 黒田美也
企画運営など他の機関と連携
あくまでも若者が主体となる
安全保障の観点から日常の中で互いに理解や協力意識を高めるため
@佐世保と米海軍基地の関係性
日本各地の米海軍基地駐在都市の関係性を調べてみる
実際に開催されているイベントや交流を挙げ、説得力アップ

@米海軍横田基地内の「ランニング大会

「フロストバイトロードレース」参加賞のパンチのきいたアメリカ国旗がデザインされたt-shirt やハンバーガーやホットドッグなどアメリカンフードの提供などユニークな発想で人気を博したイベント。

@米海軍基地探索ツアーin 横須賀

@御殿場市 米海軍海兵隊 キャンプ富士 フェスティバル

「フレンドシップフェスティバル」

一般開放しておりライブパフォーマンス、ゲームブース、食品の提供や軍装備品の展示もある。

@横浜港 在日アメリカ軍の港湾施設 横浜ノースドック

「横浜スノードックラン」

みなと横浜の絶景を楽しみ、走るマラソン大会

5km・10km・ハーフマラソンを楽しめるのが魅力的である。

最近の傾向としては、ランニング大会などのアクティブに体を動かすイベントに需要があり、人気もある。

@福生フレンドシップパーク

「フリーマーケット」

アメリカン雑貨・アンティーク家具・古着・ハンドメイド雑貨・アーミーグッズ 個性豊かなアイテムが多数販売されており探すも、ベースの方々とのふれあいを楽しむのもよし、たくさんの楽しみ方があるイベント。

@横田基地

「インターナショナルフェア」

衣料品や雑貨のほか、食べ物や音楽など外国を感じさせるイベントが多数。

DJ やバンドが音楽を奏で、街の人たちが気軽に参加し楽しめる、アメリカ発祥のブルックパーティを楽しめるのも魅力のひとつ。

@横田基地

「フレンドシップフェスティバル」

「横田基地友好祭」

米軍ハウスが在る在日アメリカ軍横田基地の一般解放米軍横田基地友好祭フレンドシップ
フェスティバル

普段は決して見られない基地内の様子や、軍用機、BIG サイズのアメリカンな食べ物まで、
1 日でアメリカ気分を味わえる大人気イベント。

日米友好祭は例年、2 日間にわたり開催する 15 万人以上の来場者が集まる大型フェスティバル

横田基地の中はさながらカリフォルニア州米軍所有の航空機の展示やステージショー、ア
メリカンフードなどアメリカの文化を一日で体験できるイベント。とにかくアメリカを身
近に感じることができる。

@佐世保米海軍基地でのイベントや交流

佐世保市は米軍基地に対して友好的かつ協力的

双方のより良い関係性を築くためには、行政のサポートのもと現地に住む市民同士の双方
理解や連携が必要不可欠である。

佐世保ベース内では市民も楽しむことのできる多様な文化が入り混じるユニークなイベン
トが定期的に開催されている。

実例

○ クリスマス・インザ・パーク

- ・花火の打ち上げ
- ・ホットココアの提供
- ・英語でのコミュニケーション

○ アメリカ独立記念フェスティバル

○ 英語が話せる街 SASEBO プロジェクト

The 7th Sasebo swExpo 2023

~世界の遊びとダンス~

- ・世界各国と日本のお祭り、踊り、遊びの文化を外国の方々と共に体験する
- ・クイズやゲーム、英語でのコミュニケーションを楽しむ

さらに市民の認知度を高めるためにどのようにアプローチ + SNS の活用が必要である。

1 回きりの単発のイベントではなく、日常にどれだけ浸透させるかも重要である。

互いに交流するメリットを見出す。

佐世保市民のメリット

佐世保に住みながらも、英語をはじめとした世界中の言語を吸収することができる。日常の中で多文化交流ができるのがポイント。

佐世保に定住し家族を築き、子育てを行う。

子どもたちが幼少期から英語に触れる機会の多さをアピールする。言語の習得は、より幼少期からの習慣である。学校現場での英語教育を充実させていき日常の中で英語の飛び交う環境を佐世保人の第2母語を「英語」にをテーマに子育て世代へのアプローチすることで佐世保市的人口減少、特に若い世代の流失スピードを遅らせる。

提案

~取り組み内容のイメージ像~

○ 佐世保歴史ツアー×米軍基地ツアー

対象 佐世保にゆかりのある学生×キングスクールの学生

世代に問わず、幅広い交流を目指す。

学校の授業の一環として取り組むためには行政の存在が必要不可欠である。

佐世保の中高生に地域の学習スペースを

永山奈々

1 目的

佐世保の中高生に学習の場を設けると同時に中高生と市、が一体となって地域のつながりを生み出す。

2 現状

佐世保市にはいくつかの学習スペースはあるが、

- ① そのほとんどが会話禁止でありお互いに教え合いをすることができない。
- ② どこにどのような学習スペースがあるかはっきりわからない。
→場所、時間、注意事項、等
- ③ 教えあうために商業施設のフードコート等で長期間滞在している。

3 提案

- ① 商店街の空き店舗を学習スペースとして開放する。

→中高生は部活や受験勉強などで地域とのつながりが小学生と比べて薄いため、学習スペースを作ることで商店街に足を運ぶ人が増えると考える。

- ② 使用できる学習スペースの見える化

→佐世保市のホームページや広報誌に使用できる学習スペースの詳細を記載する。
同時に施設周辺のイベント情報も載せておくと中高生の地域探究に役立つと考える。

4 具体案

- ① 学習スペースの場所→四ヶ町アーケードの空き店舗を起点とし、必要に応じて他にも作る。
- ② 一部屋の収容人数→30人程度収容できる広さだと一人一人が集中してできると考える。
- ③ スペースの維持費→無料開放が理想的だがそれだと維持が困難になりかねないため、一度の使用で数百円徴収すればよいと考える。
- ④ 部屋の設備→wi-fi、冷暖房、パーテーション等があると便利だと考える。

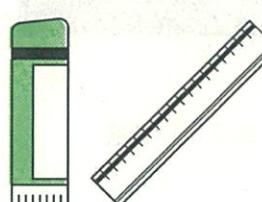
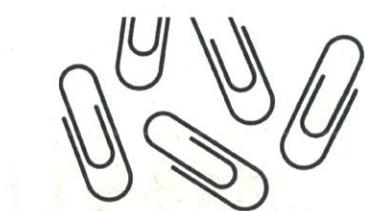


私のやってみたいこと

高校生会議

川瀬 優子

高校生は
何を考えている？





自分ごとに する思考力

社会問題へのアプローチ、地域への思い、
将来の希望、なんだって自分ごとにして考えてみる

交わりから知る自分自身



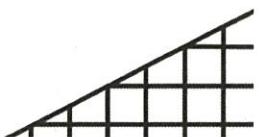
何者かを知らない状態



周囲との交流で気づく自分

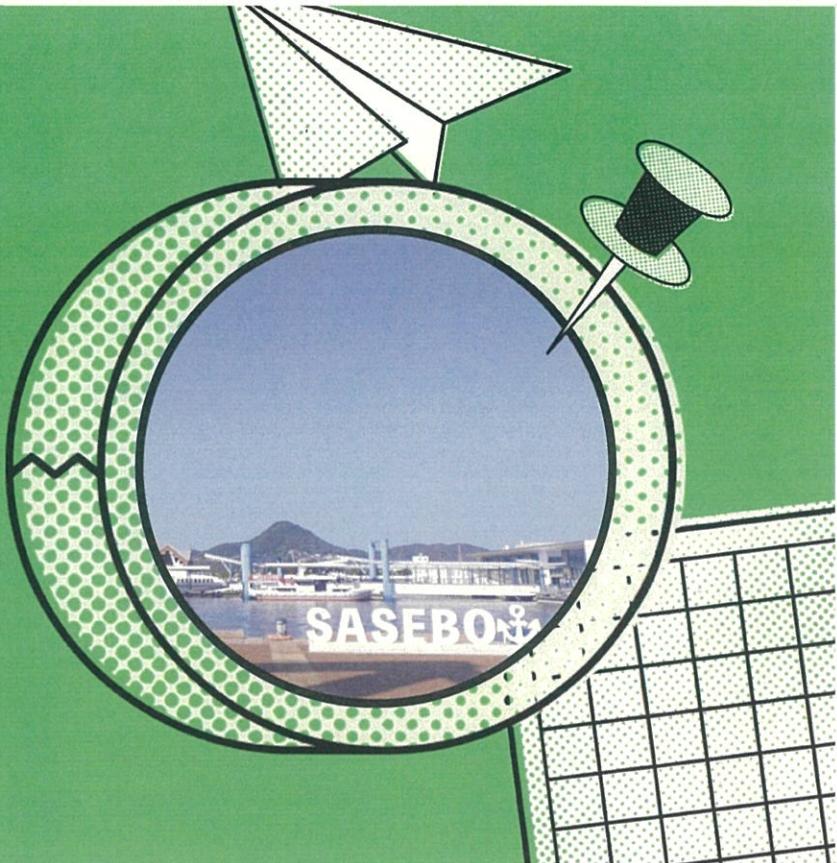


何者かを知る・考える



佐世保 再発見

自分の中に佐世保があるということ



ありがとう
ございました

質問はありますか？

SASEBO未来デザイン会議 やってみたいこと、実現したいこと

チーム希望

下川 賢人

1

やってみたいこと、実現したいこと 「キャリア教育を踏まえた企業立地、起業支援」

背景

若者の人口流出、生産年齢人口の減少。

目的

若者(高校生・大学生)に向けたキャリア教育、支援を充実させ、ただ何となく県外に流出する若者人口を減らす。佐世保にもチャレンジできる環境を創り出す。将来的に佐世保に人が集まり仕組みを創る。

具体案

- 佐世保出身の起業家や佐世保で働くイケてるビジネスマンを招き各種大学、高校でキャリア授業を定期開催。
- 各種高校、大学で起業部、起業サークルを立ち上げ、講師として前述のような方を招きアドバイスをいただく等若いうちからビジネスに触れる。
- 市として可能な限りの起業支援、移住支援
- 企業誘致に向けた、法人向け税制面での優遇措置の検討

2

企業と学生をつなぐ新たなプラットフォーム

「就活カフェの設置orイベント」

～高校生・大学生×社会人が“長崎で働く”と一緒に考える～

プレゼンター：諸國 麻椰

就活カフェとは？

就活カフェとは、学生が無料でWi-Fi、電源や就活生向けのサービスを利用できるフリースペースのこと。

定期的にセミナーやイベントを開催し、実際に長崎で働いている社会人の方とのスペースを通してコミュニケーションをとることが出来る。

メリット

- ・リーズナブルにネットや就活サービスを利用できるという点で、金銭的余裕に関係なく使うことが出来る（就活生以外の普通の学生も利用可）
- ・学生同士で交流が出来、有益な就活情報を共有したり、就活の悩みを解消したりすることも可能。

企業説明会との違いは？

堅苦しい雰囲気になりがちだが、就活カフェのイベントはカジュアルに行われることが多く、学生と企業の心理的な距離が近く、生の声を聞くことが出来る。

補足：コラボ案

長崎県は新設された法人増加率全国3位！（前年比21.9%）
創業した人や創業を考えている人と学生とのマッチングという目的を絞り込んだイベントをコラボという形で開催を提案。
具体コラボ先ex：佐世保創業カフェどっと混む（創業する人や次世代経営者に向けて経営のサポートを行う場）



高校生と 社会貢献活動する人の交流会

2022年12月12日
福田渚、藤松謙之介、田中初音

私の思う佐世保ビジョン	P3
提案	P4
私が紹介したい地元の大人	P5
協和商工さん	P6
YAMABE KAJUENさん	P7
ながよ光彩会さん	P8
効果	P9

目次

チャレンジするためには・・

ステップ

- ① 知る
- ② 考える
- ③ 行動



高校生に
社会貢献活動する人の話を
聞く機会を

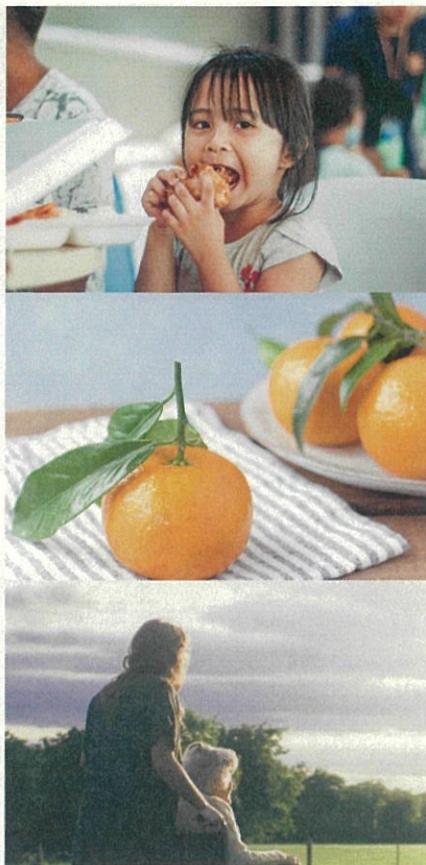
ターゲットが高校生の理由

地元にも社会貢献のために奮闘する人がいることを知らせ、自分の人生を考えるきっかけにしてほしいから

Business Plan | January 2020

Example

私が紹介したい人



株式会社協和商工様

YAMABE
KAJUEN様

社会福祉法人
ながよ光彩会様

協和商工株式会社
本業：食品の卸売会社



社会貢献活動：フードバンク事業

事業の中で発生するフードロス
自社HPを介して食材提供
児童養護施設やこども食堂等、必要としている人のもとへ

YAMABE KAJUEN

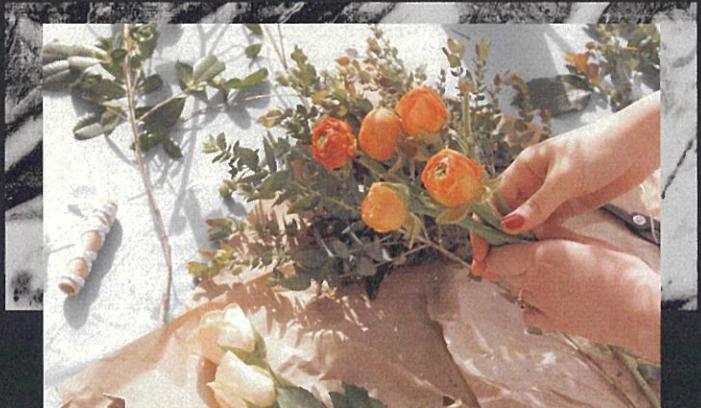
本業：オーガニックの柑橘類等を販売



社会貢献活動 耕作放棄地の再生

新しい農業の形を創造し
耕作放棄地の再生に挑戦
オーガニックコスメブランド立ち上げ

ながよ光彩会さん
本業：特別養護老人ホームの運営



社会貢献活動 多世代間交流、 地域の交流スペース運営

みんなの学び場み館

入所者や職員のために行っているイベントを
地域の方も参加できるようにお裾分けしている

例：入所者による生花教室、タイ出身職員によるタイ料理教室

進歩

佐世保南高等学校にて交流会を実施予定

日時：12月26日13：30～ 協和商工様ご講演、交流
12月27日or28日 ながよ光彩会様

社会科見学実施

①日時：10月16日13：00～

場所：ながよ光彩会

参加者：佐世保南高校藤松先生、生徒2名

②協和商工様11月下旬に生徒が放課後見学予定

進歩

社会科見学の目的

交流に向けて理解を深める。

自分の目で現場を見て学びを深める。



ながよ光彩会での社会科見学の様子

佐世保市役所へのお願い

地域貢献活動に奮闘する方のご紹介
取り組みの広報（未来デザイン会議の広報ページ）



知る



地元で頑張ること
もかっこいい

効果



自分の将来を考える
きっかけに

チャレンジしている人の背中に学び
地元で頑張る魅力や
かっこいい大人を知ってもらう
社会課題の解決を目指し
にぎわいのある街へ！

結論

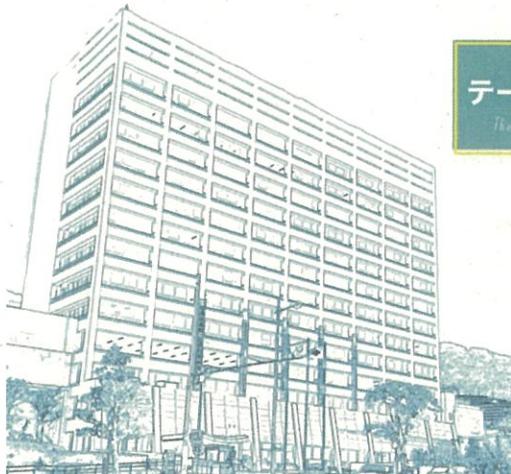


ご清聴ありがとうございました！

写真・画像の引用元:unsplash

若者が集う

コワーキングスペース構想



テーマ

若者をメインターゲットとした

学習スペース

コワーキングスペース

開放的な交流スペース

を中心市街地に設ける

若者が集う

コワーキングスペース構想

課題

若者の集まる

スポットが少ない

ゲームセンターの閉店

イオン佐世保店（ジャバチ）の閉店

開放的で集まりやすいフードコート機能を有した施設がない

学生たちの

学習の場が外にない

カフェやレストランは長時間の勉強や滞在は困難

図書館や美術館などの勉強スペースは席に限りがある

若者の分かりやすいニーズにマッチしていない

若者にとって分かりやすい「街の魅力」とは **住みやすさ**。その記憶や原体験がないまま成長していくと、佐世保の街に魅力を感じないまま「住みにくい街」というイメージが硬直化。学生たちの生活シーンに役立つ街づくり、若者のニーズを捉えたスポット策定をすることで、「佐世保は住みやすい街」というメリットを感じさせることに繋がる。

若者が集う

コワーキングスペース構想

提 案
Proposal

市役所に大規模なコワーキングスペースを整備

Example O1

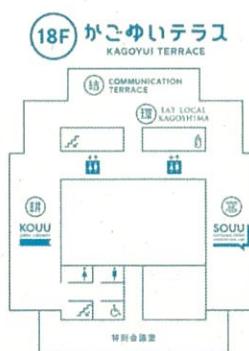
鹿児島県庁コワーキングスペース
かごゆいテラス



イベント開催
弁当販売
チャレンジショップ出店エリア

NPO法人運営の
コワーキングスペース
セミナースペース

起業家による寄贈本などを
中心とした本棚エリア



若者が集う

コワーキングスペース構想

提 案
Proposal

市役所に大規模なコワーキングスペースを整備

Example O2

群馬県庁 NETSUGEN (ネッゲン)
tsukurun-GUNMA CREATIVE FACTORY-



学習向けのほか
起業家に向けた
コワーキングスペース

デジタルクリエイティブに特化した
若年人材育成拠点



若者が集う

コワーキングスペース構想

提 案

Proposal

市役所に大規模なコワーキングスペースを整備

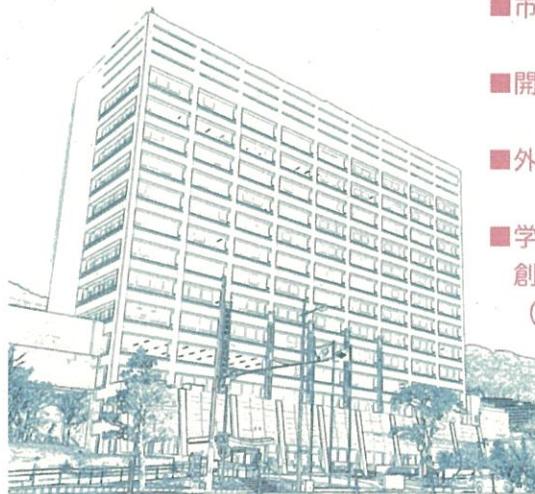


■市役所や市街地の空き家の利活用

■開放的なつくりで大規模なもの

■外観・内観ともにデザイン性に富んだもの

■学習スペース、デジタル技術による
創作活動の場の提供、だべれる場所
(フードコート)などの整備



若い人のニーズを捉えたうえで
若い人の成長の機会や佐世保の街への親しみを
取りこぼさないコワーキングスペースにしていく

佐世保市役所 若者部 おもしろ課 設立について

古川 拓也

はじめに

本資料は、SASEBO 未来デザイン会議における交流関連の議論を踏まえ、佐世保市役所内に若者をターゲットにした新しい機能を持つ組織を発足し、各種課題への対応や、未来における都市としての魅力向上を目指したいと考えるに至り、その新しい組織の必要性などについて記載したものである。今回、新しい組織を「(仮) 佐世保市役所 若者部 おもしろ課」(以下、「新組織」)と名付けると共に、若者は高校生～39歳までの社会人を対象にし、検討を行なった。

1. 未来デザイン会議（交流グループ）での議論

筆者は、SASEBO 未来デザイン会議のテーマのうち、交流グループの一員として議論に参加し、他の参加者と共に議論を行なったが、例えば以下のような課題が議論された。

- ・高校生が勉強をする場や交流をする環境に乏しい
- ・教育課程において「社会に開かれた教育課程」ということが謳われ、社会課題を解決することを入り口とした「総合的な探究の時間」がカリキュラムとして組み込まれており、学校が社会・市民と接点を持つ必要があるものの、相談あるいはネットワークを広げるといったことが現実的には難しい
- ・学生と社会人が交わるコワーキングスペースのような物理的な場所がない
- ・社会人同士がネットワーキングをする機会に乏しい
- ・障がいの有無に関わらず、インクルーシブに交わる機会に乏しい

筆者は、当初の議論より新組織設立のアイデアを提示していたが、当初においてはその新組織の機能などが抽象的であったが、上記のような他の参加者の課題感や議論のサポートがあり、機能などをより明確にすることが出来た。筆者なりの理解において、議論中で挙がった各種課題を解決しようとした場合、いわゆる「コミュニティ形成」を行うという取り組みになるものと考えられるが、人口減少・若年層の流出傾向が続いている、今後高齢化が一層進む中で、いかに若者を引き留めるあるいは移住などで流入を促すことが出来るかは重要な論点であると共に、後述しているように政策および市役所各部の既存の取り組みにおいて、若者へのアプローチの必要性を感じながらも、現時点では踏みこめていないということを鑑み、若者へのアプローチ・フォ

一カスした市役所の新組織設立を検討することとした。

2. 新組織の概要

① 新組織の特徴

新組織は、高校生から39歳までの若者を1つのコミュニティとして捉え、そのコミュニティにアプローチする点がユニークな点である。後述するが、若者のコミュニティの中で、接点が生まれ、アイデアを発掘し、実装されるといった好循環を生み出すことを目指すことから、例えば「高校生」・「大学生・専門学校」・「社会人（～39歳）」をそれぞれ異なる組織が、それぞれに担当・アプローチする（縦割り）というのではなく、「若者という横串」を指し、施策を行なっていくという点が重要な特徴である。なお、付言すると、新組織の機能や生み出す効果を明確にする観点からメインのターゲットを高校生から39歳までの若者としているが、新組織の取り組みに、高校生よりも若い世代や、40歳以上の市民などが参加すること、あるいはより幅広い世代間のコラボレーションがなされることは良いことであると共に、妨げるものではないという立場である。また、今回の未来デザイン会議では議論出来ていないが、後述の通り、市の部局であることや、部活動の地域移行等も鑑み、中学生も対象にすることについては検討する必要があると考えている。

② 新組織の機能・役割と「接点」について

新組織の機能・役割は、図1にも示しているように、高校生～39歳までの「若者」という1つのコミュニティに対し、同世代・他世代間の「接点」をディレクションすることである。「接点」とは、「同年代同士、他世代間において、佐世保のことを考え、課題を解決にする為の仲間や相談が出来る相手と出会う場や空間」のことを意味することにした。この「接点」が生み出されることで、市民同士が関係性を保有することになると考えられるが、以下のステップで関係性が深まると考えられる。

認知（単なる知り合い）→理解（思いを共有している）→共感（協力したい・一緒に何かをしたいと思う）→コミットメント（やることを言語化する）→実践（やってみる）

今回、未来デザイン会議（交流グループ）の議論や、筆者の経験を踏まえると若者コミュニティにおいては、「認知」・「理解」を促す機会が乏しく、「共感」すなわち、「一緒に何かやってみよう」といった状態になる前の段階であると考えている。

例えば、私自身も、高校生においては未来デザイン会議においても高校生会議（学校の垣根を越えて話をする）といったアイデアが出たり、高校生が勉強する場所がないといった深刻な課題を抱えていることを会議の中で初めて認識した。言い換えると、学校を跨ぎ高校生同士で話をしたいという機会を欲していると共に（＝現状はない）、高校生自らで大人に解決をしてほしいと思っている課題感を保有しているものの、「接点」がないことで、知ってもらう（認知）ことやなぜ悩んでいるのか？（理解）ということをまちとして吸い上げきれていないのではないかと思われる。また、大学生や社会人においても同世代間のネットワーキングを欲しているという意見も出たことや、障がいをお持ちの方々が抱える悩みの理解といったような、そもそも「接点」がない限り認知や理解は広がらない課題があり、同様に「認知」・「理解」のステップを踏むための「接点」が乏しいことがうかがえる。

このような若者コミュニティの現状を踏まえ、新組織は当面「認知→理解→共感」のステップに注力した施策をディレクションしていくことが主な役割になるものと想定される。

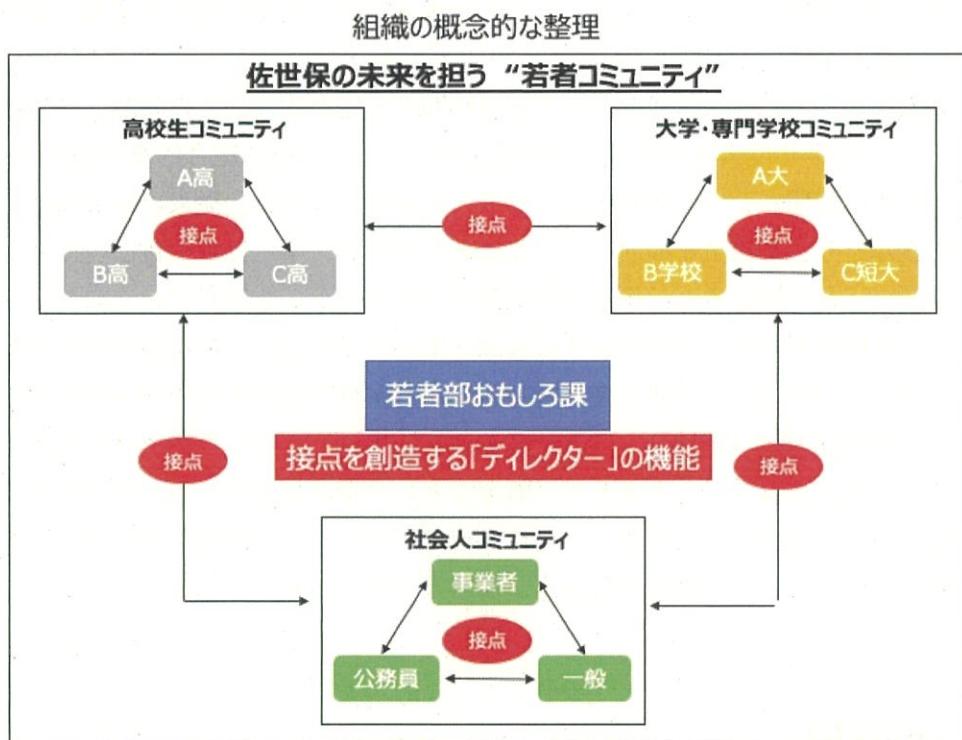


図 1:新組織の機能・役割の概要（出典：筆者作成資料）

③ 若者の置かれる状態

新組織は、「接点」をディレクションするにあたって各種施策を企画・実行していくことになる。前述の通り、当面は若者の関係性を「認知→理解→共感」のステップへ促す施策を検討することになるが、施策を検討する前に、現時点における各世代の置かれる状態を整理したい。

【高校生】

高校生は、進学や就職に向けた重要な3年間を過ごす時期であり、将来のキャリア形成にとって重要な時期である。多くは、佐世保市に生まれ育ち、愛着がある状態にある高校生に対し、この重要な時期に、まち全体・市民全体で応援する（恩を売る）ことが、仮に市外へ流出したとしても繋がり続けるきっかけや縁となり、将来的な移住などへ貢献する可能性を秘めている。また、市内で就職した高校生にとっては、就職後もまちづくりに関与するきっかけとなり、高校生の時のつながりが、パパ・ママ世代となった時の良き仲間になるといった、年代が移り変わっても助け合える、“つながりの出発点”にもなりうる。後述するが、子育てをする上で、仲間の有無が子育てをする上で大切な要素の1つでもあり、子ども未来部の取り組みを後押しすることにも繋がる可能性もある。

また、高校においては従来の総合的な学習の時間が「総合的な探究の時間」へ名称が変更となり、2022年度より授業の中で実施されている。従来の総合的な学習から「総合的な探究の時間」という名称変更を行なった背景としては、従来の総合的な学習は、課題設定をし、解決策を検討していくことに加えて、学生自身の自己の在り方も考えさせたい、言い換えると、単なる解決策のアウトプットを出していく取り組みではなく、その解決策に自分がどのように貢献していくのかという点を合わせて考えさせたいという意図がある（参考：文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説」総合的な探究の時間編）。自分がどのように貢献していくのかという点について考えていく場合、おのずとキャリア（職業など）や企業の研究といった学校外の人物や組織と接する必要があるものの、高校生自身がそのような機会を設定する、あるいは高校が準備することは容易ではなく、進め方が難しい状況にある。

【大学生・専門学校】

佐世保市内にはいくつかの大学や専門学校が存在するが、高校生とは異なり、佐世保市で生まれ育った学生のみならず、大学・専門学校入学をきっかけに佐世保市に初めて住む学生も存在する。また、市内の大学・専門学校を選択する際の動機や理由もさまざまである。大学・専門学校時代は、それぞれの授業もさることながら、アルバ

イトや日常の生活などを通じて、社会へ出るための準備を行う重要なタイミングであると共に、就職活動や資格試験（公務員試験や医療系資格など）といった社会人人生を左右するイベントを控えている。当然ながら、初めて暮らす街には縁もなく、相談する場所も少ない。このような状況に置かれる大学生・専門学校をしっかりと街・市民全体で受け入れ、支えることで、卒業後に市内に残るか否かに関わらず、一定数かつ定期的な“ファン”を生み出すことが出来、ファンが全国へ散らばり、関係人口の増加や将来的な移住に繋げる可能性は十分にある。また、学生と市内企業の関係性においては、市内企業への就職という選択肢以外にも、足許の働き方の柔軟化を踏まえ、例えば学生時代に企業と行なっていたプロジェクトを“副業”として社会人になっても関わってもらい、実質的に労働力を確保することに寄与することも考えられるだろう。人生を決めるその瞬間に、街・市民全体が温かく見守り、サポート出来るという絶好の機会を逃すことなく、積極的かつ能動的なアプローチを行うべきであると考えられる。

【社会人】

社会になると、仕事や家庭といった現実に追われる日々になる。圧倒的に時間がなくなり、接するコミュニティは狭くなりがちである。他方、仕事や家庭を通じて、社会を支える一員としての感覚や自信が芽生え、新たな学びの必要性を認識したり、育児や仕事、あるいは街への貢献といった“共通の悩み”を持つ同世代と接点を持ちたいと思っている社会人も少なくはない。また、筆者のように市外に住んでいるが関係人口として佐世保に何か貢献したいという層も一定存在するのではないかと考えられる。若者コミュニティの社会人層は街全体を動かす原動力であり、企画を実装するにあたっては不可欠な層である。この層が考え、行動している姿が高校生や大学生を勇気づけ、街の魅力そのものになっていくと考えている。また、VUCAの時代と言われる昨今においては、いわゆるリスクリキングは必須となるのに際し、そもそもどのようなスキルを学び直すのか？という根本的な問いを、自身の中だけで向き合うではなく、さまざまな企画を通じて見つけ出す機会の提供も必要であろう。総じて、社会人の層には、街の原動力としての役割を担ってもらいつつも、社会人自身の次なる目標に向かってレベルアップを促すといった重層的な施策が必要となる。

このように、「高校生」・「大学生・専門学校」・「社会人」においても直面する状況は異なり、同世代間の接点で解決するものもあれば、若者コミュニティの中で他世代同士が接点を持ち、コラボレーションしなければ解決できない状態が存在する。このような状態を前提として、「接点」を創出するための施策を検討していく。

④ 具体的な施策例

以下にて、接点を創出するための施策としていくつか例示したい。前述の通り、新組織は、「接点」を創出し、若者の関係性を「認知→理解→共感」のステップへ促す施策を行うことを主な機能と想定をしていることから、これまでに無かった場や機会の設置と自走化の支援が当面の具体的な動きになる。これまでに無かった場や機会の設置は包括的に把握が可能であり、参加者の心理的安全性の担保の観点（市の取り組みとすることでの安心感など）も考慮したことから、市の1つの部として本件を検討したことも付言しておく。

●高校生会議（高校生×高校生）

高校生同士が、佐世保の課題などについて話し合う場。高校生は、総合的な探究の授業にて、地域課題を題材にしていることも多く、コラボレーションの余地があると共に、高校生が抱える課題を自ら解決することも支援する。当初発足時は、新組織にて仕組みを立ち上げるが、最終的には部活動のように、先輩が後輩を指導するといった形式で、自走することを目指す。高校の垣根を越えて、コラボレーションをする機会や場を設置することが、新組織の役割であると共に、最も重要な点である。

●進路相談プロジェクト（高校生×大学生・専門学校）

高校生にとって、大学・専門学校の情報や、進学先の街のことなどを相談出来る場を作ることで、進路を決める際の参考にする取り組み。大学生・専門学校生にとっては、高校生から佐世保のことを聞く機会になると共に、自分がこれから何を学んでいくのかといった点や、将来のビジョンを考え、振り返る機会（リフレクション）にもなりうる。

●探究活動でのコラボレーション（高校生×大学生・専門学校×社会人）

高校生は総合的な探究の時間で、大学生・専門学校生はゼミなどで地域の課題解決を取り扱っていることがあり、課題設定や解決策を相互に共有することで、さらに学びを深めることを目指す。高校生にとっては、大学生・専門学校生の知見や考え方は参考になると共に、大学生・専門学校生も年齢が下のメンバーに物事を分かりやすく伝え、プロジェクトを進めていくという経験を得られる。また、課題を実際に解決するために、サービスなどを実装しようとすると社会人とのコラボレーションは必須となる。現状、高校生・大学生・専門学生が社会人へ気軽に相談できる場や機会は多く

なく、設置は不可欠であろう。相談された社会人にとっても、実装する際のハードルを乗り越える経験や必要なスキルの認識などにも繋がり、単に相談を受けることだけではないメリットが複数存在するものと考えられる。何より、地域の課題を取り扱っていることを踏まえれば、新組織にて場や機会を設置することを支援すべきであると共に、若者のアイデアや考えを常時吸い上げられる体制は必要であろう。

●キャリア研究(高校生×大学生・専門学校×社会人)

高校生、大学生・専門学校は、キャリアや職業に関する情報を聞く機会は少なく、学校単独で満たすことは難しい。他方、このニーズに応えようとする場合、市内の社会人のみならず、市外の佐世保出身者へもアプローチし、多種多様な人材プールを準備する必要がある。本施策における佐世保市のメリットが一見すると見えづらく思うかもしれないが、ポイントは関係人口の発掘とニーズの早期認識である。例えば、市外の佐世保出身者へアプローチをしようとする場合、分かりやすい訴求の方法やマーケティングが必要となるが、“佐世保の若者のため”とすることで、一定の共感を得ながらその役割を担ってもらえる「想いのある関係人口」の発掘を同時並行で行うことでも可能である。言い換えると、高校生、大学生・専門学校のキャリア支援という重要なニーズに街として応えようとするプロセスの中で、「関係人口」の発掘を行うことを意図した企画である。また、高校生、大学生・専門学校のキャリアのニーズを確認出来る場や機会が存在することは、市内事業者が早い段階でニーズに応じた打ち手（採用方法や雇用形態の改訂など）を実行可能となったり、企業誘致をする際の業種の参考となるといったメリットもある。

●コラボレーションの為の場所づくり(高校生×大学生・専門学校×社会人)

未来デザイン会議の中でも、高校生が集まる“場所”やコワーキングスペースのような社会人が交わるような“場所”がないという意見が出ていた通り、若者が集まり、自然と交流できる場所を検討していくものである。場所づくりを行うにあたっては、検討時より、当事者（=若者）自身が要件を整理し、交渉を行うなど、プロセスの中に関与させ、市役所が作った場所ではなく、“みんなで作った場所”という愛着を形成するプロセスデザインを新組織として担っていく。具体的な場所を検討する中で、例えば空き家の利活用、都市計画といった具体案が出てきた場合の仲介役としても新組織が担っていく。

●就活連携・起業・仲間づくり(大学生・専門学校×大学生・専門学校)

大学生・専門学校生のそれぞれの学校の垣根を越えた交流の場や機会の提供を行うものであるが、前述の通り大学生・専門学校生はさまざまな故郷からさまざまな理由があり佐世保に移り住んでいることを考えると、“仲間”的存在が大切である。仲間が出来ることで、就活で助け合ったり、起業したり、旅をしたりすることが可能になる。人口という意味においては、必ずしも効果が直接的に現れづらい側面もあるが、“仲間”が出来た街は、仲間にとての生涯での集合場所となり、大切な思い出になる。その思い出を作ることに、街・市民全体が支援していくことで、ファンが増え、魅力が広がっていくことは、広告やマーケティングにはない手触り感の宣伝そのものであると考えられる。

●副業プロジェクト (大学生・専門学校×社会人)

地元事業者と大学生・専門学校生が“プロジェクトベース”で関わり合える場や機会の提供を行い、最終的には副業化することも視野に入れる取り組みである。現状は、大学生・専門学校生と事業者が出会う機会も限られており、まずはその場や機会の設置も必要であるが、出会った後の接し方も重要である。その際の接し方（出口）の1つの考え方として、プロジェクトベース→副業の流れがある。市内事業者は市内の限られた人的リソースの中で事業を拡大させるというのが現状であり、新たに雇用することも容易ではない。一方で、副業については政府が副業・兼業の促進に関するガイドラインを策定するなど、推進される方向にある。これらの状況を踏まえ、新組織において市内事業者の事業のプロジェクト化（切り出し・生み出し）を支援し、そのプロジェクトに大学生・専門学校生をアサインしやすい環境の整備を行うと共に、大学生・専門学校生は当該プロジェクトの企業へ就職をしなかったとしても、新しい就職先へ入社後も“副業”として関与し続けてもらうことで、実質的に労働力を確保し続けることを可能にすることができるものと考えられる。

●リカレント・ネットワーキング プロジェクト (社会人×社会人)

前述の通り、まずは社会人同士のネットワーキングの場や機会の提供を行う。ネットワーキングにはさまざまな形態や目的が存在するが、新組織においては「佐世保市の課題解決」を主軸に置いた場や機会の提供を行う。高校生が行なっている探究の時間の大人的イメージである。普段は接点のない社会人同士が、佐世保の課題を考え、解決策を検討し、実装を目指すプロセスを改めて体験することで、個々人のレベルアップに寄与すると共に、リカレント（学び直し）の動機になるとを考えられる。社

会人の場合、限られた時間の中で学び直す必要があり、より効果が高く、自身の関心と強く紐ついているコンテンツを選択する必要があり、その一端も合わせて支援することで、今後補助金等で行われると想定されるリカレント支援そのものの効果を最大化することも可能ではないかと考えている。

以上、上記の施策は一例に過ぎず新組織が発足後に若者への詳細なヒヤリングを行った上で、組み立っていく想定である。また、各施策は最終的には市民による“自走化”を前提としてデザインすることで、より持続可能かつ当事者意識を持った取り組みに深化していくと考えている。

3. 新組織を設立するにあたっての組織上の整理

① 既存組織との関連性

今回、新組織を設立するに差し当たり、新組織が持つ機能・役割が既存の市役所内の組織の取り組みなどと重複がないかという点や、新組織が行う施策によって良い方向で、既存組織の取り組みを後押しする可能性がないかといった点に関し、関連する組織宛にヒヤリングを行った。総じて、既存組織との機能・役割の重複は現時点においては、概ね無く、むしろ既存組織の取り組みを後押し・補完する立ち位置になるのではないかと想定される。以下は、それぞれの既存組織との皆さまへのヒヤリング結果である。なお、ヒヤリングを実施した既存組織については、「高校生」・「教育」・「社会人」・「起業・スタートアップ・ビジネス（商工）」・「リカレント」といったような新組織での機能・役割の中でキーワードや取り組みとして重なりがある可能性が考えられる、子ども未来部、佐世保市教育委員会、観光労働部、長崎県教育庁を対象とし行った。（筆者（市役所外の関係者）が本文書を作成するにあたって考えうる既存組織を対象としたものであり、新設するプロセス上協議が必要な既存組織宛には別途相談を行う想定であり、ヒヤリングを意図して行わなかったというような背景はないことを付言しておく。）

【子ども未来部】

ご面談者：

子ども未来部 子ども政策課 課長補佐兼総務企画係長 熊本立人さま

- ・新組織が持つ役割や個別の取り組みに関しては、子ども未来部としてほぼ重複はない
- ・子ども未来部にて、児童手当や子どもに関する給付金（コロナの給付金など）を担っている

ること、あるいは高校生がいるご家庭への支援なども担っており、高校生との接点はあるが、新組織で想定しているような、高校生に対する能動的なアプローチはない。

- ・子ども未来部が所管する政策や取り組みは、国の動きに基づくものが多く、国の動きを見ながら、子供たちがしっかりと成長していくための下支えを行なっている。
- ・このような新しい発想で横断的に考えていくことは良いことだと思う。子ども未来部としても、例えば、子ども・子育てに関する情報発信を強化しようとする場合、民間の方と組んでみるとか、地域の子どもたちを支えるようなコミュニティ（子ども食堂など）とどのように連携するかといったことを模索しており、新組織がターゲットとする若者のコミュニティを形成されていくことは、施策を進めるにあたっても有り難い。
- ・多くはないが、高校生の総合的な探究の授業において、子ども・子育てがテーマになっていることもあります、問い合わせが来ることもある。

（ディスカッションを通じた筆者の気づき）

子ども・子育てに関する予算規模が、市全体の約 16%で大きな割合を占めていることもあり、子ども未来部が担っている役割は重要であると改めて認識した。他方で、前述の通り、子育てに関する政策が国によって決められることが多く、國の方針に基づく施策をしっかりと展開することへの業務ウェイトが大きい。そのため、例えば、若者コミュニティに対し、子ども未来部が行なっていることを発信すること、家庭状況が難しくとも子ども自身の意欲に基づいたサポート、市民が相互に支え合うことによる行政負荷の軽減といったような、子ども・子育てが今以上により良いものになるための能動的なアプローチを行うことが難しい状況にあるものと考えられる。そういう観点においては、新組織は子ども未来部が行なっているが行えていない領域を支援し、新組織設立によって形成されたコミュニティや支え合う環境、家庭環境に依存しない子どもの自発的な成長が、子ども未来部の既存施策に好循環（既存施策のレベルアップ、負荷の軽減、予算の削減）を導くといった役割も担うことができるのでないかと考えられる。その結果、子育てを“市民をあげて、社会全体で行なっている”というカルチャーが醸成されると、出生率の向上など、乗り越えなければいけない課題への解決に繋がる可能性を秘めている。

【佐世保市教育委員会】

ご面談者：佐世保市教育委員会 社会教育課 主任主事 公文拓馬さま

面談要旨：

- ・新組織が持つ役割や個別の取り組みに関しては、市の教育委員会としてほぼ重複はない。
- ・社会教育課として生涯学習を提供しているが、文化的な内容が中心であり、新組織が提

供・担おうとしているような「学び」とは異なるため、被っているということはない。

・社会教育課が行なっている英語関連事業の中で、高校生が参加しているケースはあり、その部分においては「高校生」という重なりはあるが、高校生をターゲットにというものではなく、あくまでも参加者として高校生がいるというような状態。

・行政的な観点で行くと、高校については県の教育委員会が所管している形で、佐世保市の教育委員会が前面に立ち（能動的）に、アプローチすることはないものの、地域との連携といったことで、市の教育委員会が相談を受け、県の教育委員会に話をするということはある。

・リカレント教育については、議会においてもテーマになることがあるが、「教育」という観点から現時点では社会教育課が対応している形になっているが、現時点では、主体的にリカレント教育を政策として検討していることはない。

・成人式も社会教育課が所管。成人式に関しては、実行委員会にて内容を決めていく流れであるが、もし成人式という多くの若者が集まる機会を利用して、何か企画をすることは可能である。

（ディスカッションを通じた筆者の気づき）

・高校生の学びや接点を増やす施策については、行政的な役割分担などを背景に、現時点ではアプローチ出来ていない状況であることを鑑みると、アプローチ出来ていない対象に向けて、新組織が補完していくという役割であれば、重複もなく進めることができるのではないか。

・社会人や大学生向けの学び、リカレント教育に関しても政策として具体的に検討している組織がないことを踏まえると、政府のリカレント教育の推進の受け皿として、新組織が存在することは検討が出来るのではないかと考える。加えて、新組織の場合は、社会人の接点を増やし、課題解決を実践する中での学び直しであるため、仮に政策として行う場合の効果は、単にメニューを提供する際と比較し、高くなるのではないかとも予想される。

・成人式というシンボリックな場の活用については、新たな発見であった。約1000人程度の若者が集う場を活かすための企画を地域で考えるという取り組みも検討できるのではないかと感じた。

【観光労働部 商工労働課】

ご面談者：観光労働部 商工労働課 係長 鳥本実穂さま

面談要旨：

・新組織が持つ役割や個別の取り組みに関しては、商工労働課としてほぼ重複はない。

・産業支援センターにて、新規創業やスタートアップなどの支援を行なっていたり、ビジネスプランコンテストなどを行なっていることもあることから、例えば新組織で似たような

取り組みを行う際には、うまくコラボレーションし、重複が無いように工夫が出来ると良い。

・商工労働課、産業支援センターの悩みの1つとして、なかなか潜在的な層にアプローチ出来ていないという課題がある。例えば、アントレプレナーシップ醸成のイベントなどを行うと、参加するプレーヤーが同じであったり、大学となると行政以外もアプローチをしているような起業サークル向けとなるといったように、アプローチ対象がどうしても重なってしまっている。そういう観点からすると、起業に関心があつたり、何かをやってみたいと思っているがどうしたらいいかわからないといった、スタートアップの芽になるような若者が集まれるような取り組みを新組織が行うことで、アプローチ対象が広がる可能性もあるのではないか。

・渋谷 QWS（佐世保市がパブリックメンバーとなっている渋谷のコワーキングスペース）の利用についても、東京側の佐世保に想いのある層と市民とを繋ぎ、うまくコラボレーション出来ると良い。

（ディスカッションを通じた筆者の気づき）

・例えば、新組織の施策の1つとして、社会課題解決のコンテストなどを行うに当たって、その点が事業創出に繋げようとする目的であれば、敢えて新しいイベントを別途作る必要はなく、上手く連携することが重要であると感じた。

・スタートアップの発掘、育成の前段階として、起業や事業化のもう少し前の段階の緩い状態（インキュベーターよりも前）ではあるものの、想いはありチャレンジしたいと考えている層をいかに拾い上げ、育てていくかが地方における課題であり、その「緩い」状態の若者が出入りできる場や空間、心理的な安全性を行政として提供することで、既存の取り組みがよりスケールする可能性を秘めており、その点を新組織で担うことが出来るのではないかと考えられる。

・新組織は、「コミュニティー形成」に着眼しているが、「カルチャーづくり」も重要な役割の1つではないかと感じた。「新しいことをやっても良い」、「仲間で集まれば、何か出来るかもしれない」といった「カルチャー」を根付かせることも重要かもしれない。

【長崎県 教育庁 高校教育課】

ご面談者：長崎県教育庁 高校教育課 高校教育班 嶋藤慶太さま、高比良周一さま

面談要旨：

新組織がもつ機能と、県が行っている取り組みについては、重複は感じられない。各高校では、ふるさと教育の体系図を毎年策定している。この体系図や探究活動を検討するにあたり、おのずと学校外の関係者との連携を模索することになるが、実際に連携を依頼しようとすると、費用面（ボランティアになる事が多い）、相談先（どこに

聞けば良いのか)、継続性といった課題がある。このような状況の中で、相談しやすいの観点から、初めの相談先となることが多い、市役所や教育機関(大学など)といった各機関のみなさまには、丁寧に対応を頂いており、有り難いと考えている。県としては、高校生の探究活動をより深化させることや、地域課題の解決に向けた具体的な取り組みの実践を促すことを目的に、市や町との連携を密にしたいと考えている。本件のような新組織があり、高校生と身近なまちが繋がりやすくなることは非常にありがたい。今回、若者を高校生からとされているが、より市の取り組みとする観点からは中学生も追加することも検討してはどうか。部活動の地域移行も進む中で、探究という切り口で、まちとして受け入れるということもアイデアとしてあるのではないか。また、新組織による取組の評価の仕組みがあると、連携の検証が深まるとともに、子どもたちの成長や効果が可視化されることで、主体性も高まると考える。

(ディスカッションを通じた筆者の気づき)

- ・県としても、市との連携を密にしたいという思いがある中で、新組織は一定の役割を果たすことが出来るのではないかと感じた。
- ・高校生や学校(含む教職員)が、地域の為に活動しようとしていることを、地域の側が、今以上に認識する必要があり、高校生の取り組みを地域内に周知することも、新組織の役割になり得るのではないかと考えている。
- ・地域の中で、高校生の取り組みがより認知されれば、協力を募りやすくなったり、逆に地域の方から協働したいという体制になる可能性もあると感じた。
- ・取り組みの評価に関しては、ご指摘のとおりであり、評価方法を確立させることで、他の自治体、例えば西九州広域都市圏などに横展開することも可能ではないかと考えている。

② 新組織の人員体制について

新組織の人員体制については、部長級・課長級(マネジメント)、課長補佐(マネジメント補佐)、担当者の3階層に分けて、必要となる経験やスキルセットを検討していくこととした。まず、部長級・課長級(マネジメント)については、新組織が若者という横串を指す「横断的かつ稀有な組織」であることから、市役所内の各部局との交渉や調整を担うことが出来る人物が想定される。また、新組織の施策は、市役所外部での新企画・コラボレーションがほとんどであることから、官民連携などの経験やネットワーキング力、新しいことが“面白い・好きだ”というメンタリティも重要な要素となる。課長補佐(マネジメント補佐)に関しては、企画の立案・遂行・効果測定といったプロジェクトマネジメントを担うことが出来る人物が想定され、担当者については横断的な組織となるため、さまざまな分野に関心を持ち、挑戦し続けるメ

ンタリティや動機が必要である。

また、いずれの階層においても、市役所内部の人材に加え、外部人材を柔軟に登用し、組織自体が多様であり、さまざまな知識や経験に溢れ、新しい企画が創出されることを前提とした人員構成を検討したい。登用の形態としては、中途採用、会計年度任用職員としての期間を定めた登用、プロジェクトごとの副業、インターンシップなどによって、民間出身者や市外の関係人口、市内のプロフェッショナル人材の活用、学生の参画を促すことを目指したい。登用にあたっては、企業版ふるさと納税の人材派遣版の利用や金銭的返礼ではない形での対価などを検討することで、人材に関する予算コントロールも行っていくこととしたい。

他方、市役所内の人材活用についても、これまでの部局への配属という形での登用に加えて、民間や一部の自治体で実施されている、業務時間の一部を他の部局のプロジェクトへ利用する（〇〇%ルール）などを新設・活用することで、所属組織の業務以外で、興味関心のあるプロジェクトへ参画し、経験やスキルを向上させるといった、人材育成あるいは職員のエンゲージメントへの寄与も促したいと考えている。

上記のような、人員構成のコンセプトに基づき、新組織の設立当初は「市役所内部：3-5名（3階層合計・専従）」+「市役所外：1-3名（3階層合計）」+「市役所内（プロジェクト参加・%ルール）：3-5名」の、最大15名程度の人員からスタートするものと考えられる。

③ 新組織の予算について

新組織の予算については、新組織発足と同じタイムラインで検討を行う想定である。予算が必要となる項目は大きく3つ存在する（固定人員の人事費を除く）と想定される。1つ目は、外部人材登用に関する費用である。上記の通り、外部人材を柔軟に登用する場合、施策に応じた業務委託等を行う必要があり、その点は新組織発足検討と同時に、市場相場等を勘案しながら、算出を行うものとする。2つ目は、施策を行うにあたっての運営費用である。例えば、イベントを行う際の会場費用、広告宣伝費、ゲストに対する謝礼、出張旅費等が想定される。この予算に関しては、企画ごとに規模感が異なるため、別途の算出が必要となると共に、若者にフォーカスすることから、SNS等のメディアへの露出度合いなどにより変化するものと考えられる。3つ目は、施策の効果検証（含むKPI設定）および自走化に向けた予算である。新組織はこれまでにない取り組みが多いことに加え、横断的な組織であることから、施策の効果検証方法を含めた検討が必要であり、大学や企業等へコンサルティングを依頼する可能性が高い。また、各施策は市民による自走化を目指すことから、自走するにあたっての初期費用などを期間限定で補助金として拠出することも想定される。この予算に関しても、新組織発足検討と同時に算出を行いたい。

④ 新組織の効果測定とアウトカム

前述の予算の議論でも触れているが、新組織も市役所の一部局であり、各施策の効果等を一定の考え方や指標（KPI）を用いて説明する必要がある。一方で、各施策の効果は時間をかけて現れるものであり、KPIの見直しをしつつも、どのようなアウトカム（ありたい姿）を目指すのかという点や、アウトカムへ向かうプロセスの見直しが極めて重要になる。例えば、新組織発足当初は、場や機会の提供（インプット）により、「接点」を増やし、関係性を認知→理解→共感へとステップアップさせることができた取り組みになることが想定され、このフェーズにおけるKPIはインプットの量、言い換えると企画の実行数や参加者数、交流数といった数値になるだろう。しかし、場や機会の提供によって、「接点」は自然発生する、あるいは企画などが自走化された際には、インプットの量ではなく、どのようなものがアウトプットされたのか、例えば起業数や課題解決数、副業件数などへ移り変わっていく。このように、KPIは移り変わっていくわけであるため、新組織として何をアウトカムにし、そのための打ち手は何かという点を見直し、更新することが求められる。図2には、現時点で筆者が考える新組織におけるインプット、アウトプット、中間アウトカム、最終アウトカムを示している。この図2に記載しているものは、あくまでも筆者の考えであり、新組織発足検討時に、議論をしっかりと行い設定していくと共に、令和5年度に策定する第7次佐世保市総合計画後期基本計画（計画期間：令和6～9年度）の考え方方に平仄を合わせながら決定していくものと考えている。

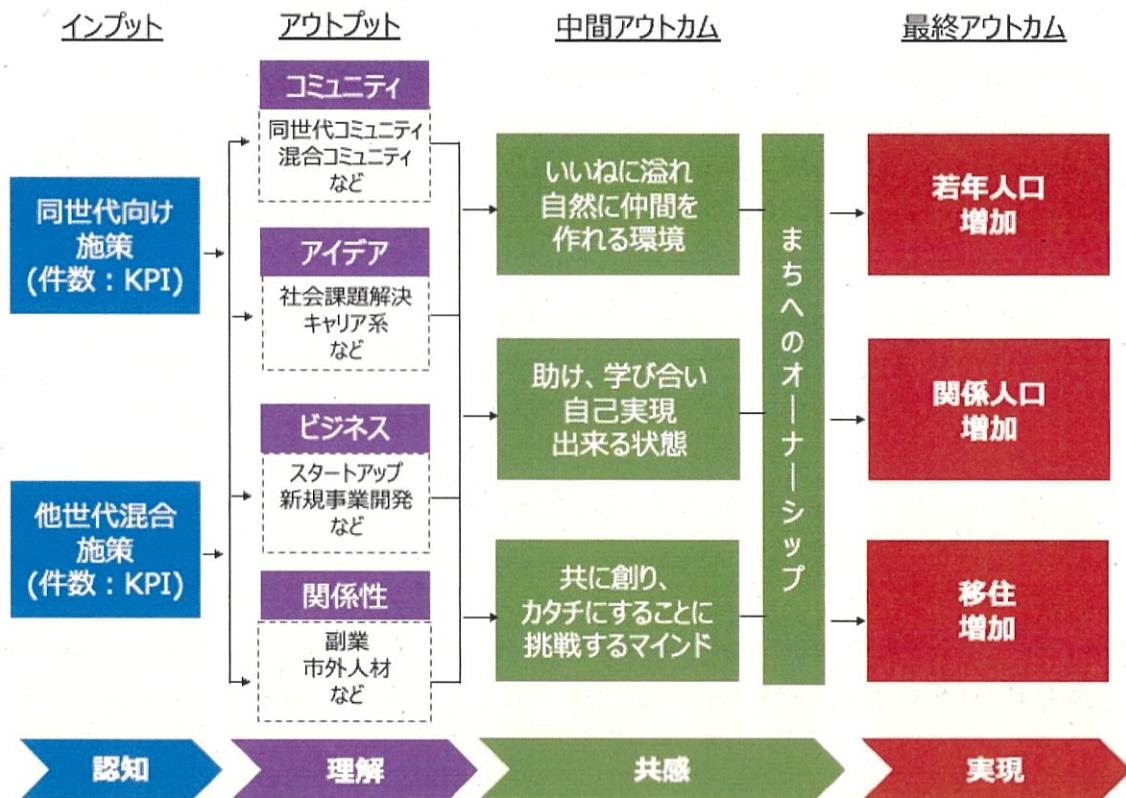


図 2:新組織のインプット・アウトプット・アウトカム概念図（出典：筆者作成資料）

本件の残す課題

新組織設立に向け、筆者は出来る限りの整理を行なったがいくつかの限界もあった。まず、筆者はあくまでも SASEBO 未来デザイン会議の一員であり、市役所の職員ではないことから、市役所内での具体的な手続、予算規模、人事、議会などの承認プロセス等の詳細を把握することは難しく、その点については、十分に反映出来なかった。また、若者の対象に中学生を追加するか否かについても検討が必要であると考えている。加えて、新組織の発足にあたり、企画立案者として筆者がどのように関与するのかに關しても、継続して議論を行いたいと考えている。

終わりに

今回の提言は、第 7 次佐世保市総合計画後期基本計画に反映されていくものと認識しているが、是非とも本件について具体的に議論頂きたいと願うと共に、提案者として可能な限り関与し、実現に向け貢献したいと考えています。SASEBO 未来デザイン

会議を通じて、さまざまな参加者の方と議論でき、佐世保のまちを良くしたい、変えていきたいという想いを持つ同士と出会うことができ、大変有意義であった。最後に、開催にあたり、横山教授をはじめ、政策経営課の皆さんに感謝を申し上げると共に、今後このような議論の場が常設され、市内・市外を問わず、佐世保を愛するもの同士がつながり合えることを願い、筆者の提言とさせていただきます。ありがとうございました。

以上

～情報アプリ～(marumie)

前回の未来デザイン会議を通して、佐世保のお店や素敵なスポット、学生の学習スペースなどの案内など
そのアプリを登録して佐世保市見える化することでより効率的に日常を過ごせるのではないかと思い提案します。

～具体案（仮）、イメージ～

- ・佐世保市で企業されているお店のお得情報やクーポンの発行

例) 登録料1企業月々2000円

登録店を1月で3カ所行くと更に割引券もらえるなど

・学生向け情報発信

県内の大学生がボランティアで勉強会開催など

学習スペース解放情報など

・子育て世代

離乳食教室（佐世保市の飲食店の方を講師として招くその店の宣伝にもなる）など

ただただ雑談をするまま、パパの交流会など

入学前のお裁縫教室

・シニア世代

ケータイ教室の案内など

上手な終活の仕方など

アプリを使って情報集をすると共にそれに伴ったイベント企画にもつながると思う。

そこで来ていただく講師も佐世保市民で行うことで、一丸となってより良い未来に繋がればと考える。

チーム希望
内野 紗衣

～佐世保の中小企業、個人事業主を活性化させたい～

自身の仕事を通して中小企業、個人事業の方と接する機会が多く、例えば助成金に関しての知識の差や税務関係の知識の差などを感じる。一つの企業だけが良くても周りの企業も良くならないことには、佐世保市の活性化には繋がらない。企業主が会社に誇りを持てるようになれば、より魅力的になり佐世保で就職をしたいと思う若者も増えるのではないだろうか。

～具体案～

- ・フランクに横のつながりをもてるような場づくり。異業種交流会

ロータリークラブやライオンズクラブなどがあるが、会費がかかったり、敷居が高いイメージがある

現代の働き盛り世代はメリットを感じないとそこに時間を割かない

・セミナー開催

現在も開催がされていると思うが、より現場目線でどのようなセミナーが良いか商工会議所との連携を取りながら開催するなど

大きくこの二点を踏まえ、安い会費でセミナー、異業種交流会など、今私たちがやっているような、未来に向けた前向きな会を企画したい。

～イメージ～

- ・会費年間〇〇円

・入会資格佐世保市の企業主、個人事業主、他市町村の企業、個人事業主可

より多くの人が集まれば考え方人それぞれで気づきが多くなる

・スケジュール

半期ごともしくは年間スケジュールをたて関心ごとを会費メンバーで決める。負担であれば予めこちらで提案。自由度高く。

チーム希望
内野 紗衣

SASEBO未来デザイン

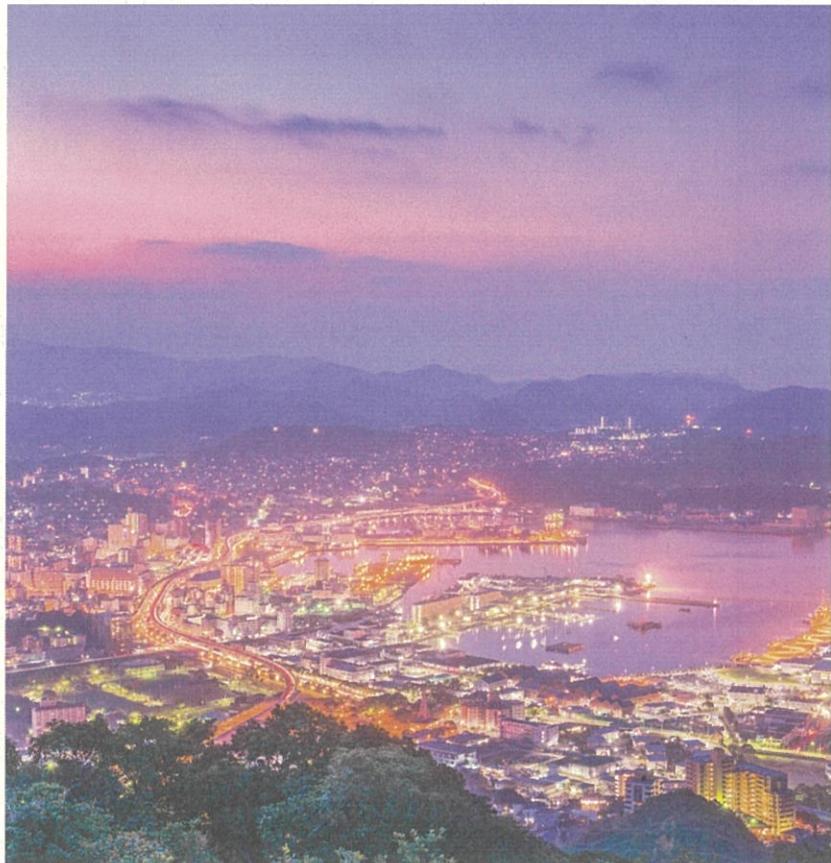
わたしが考える

LET'S DO IT!

さあ、やってみよう！

提案書 2022.8.6

田中 初音



story

あの時 あの日を思い出す 地元ネットワークを繋げる交流

今回のこのSASEBO未来デザインで集まった人たちのように
佐世保に何かの縁があって 佐世保に恩返しをしたいと思っている人達が
気軽に「繋がり」「お互いを支援し合う」そんな環境を創りたいです
共通の話題は「SASEBO」それだけでグッと近づける
まるで「大同窓会」のような交流イベントを開催したいです

目的



＼ これからを担う佐世保の人達が活性化すること /



＼ 佐世保に誇りを持つ若者を増やす /



市と市民にとってWin-Winのイベント(大人の遊び)を

「繋がる、始まる、SASEBO」

1 参加条件	佐世保出身・佐世保在住 10代・20代・30代・40代で世代ごと開催
2 開催場所	佐世保アーケード
3 SASEBO権	限定オリジナルグッズ・佐世保で使える何か
4 支援活動	参加することで、何かの支援になること
5 清掃活動	参加することで、地元貢献をすること

ご清聴、ありがとうございました。

SASEBO未来デザイン 提案書
田中 初音 tanahatsune@gmail.com

佐世保つながるプロジェクト～地域×行政×高校生～

藤松謙之介

0. 提案

- (1) 市役所に高校生が直接探究活動に対して相談できる部署をつくる。（人やイベントの紹介など）
- (2) 高校生・大学生の提案・アイデアを聞く部署をつくる。

1. 提案理由

現在社会を取り巻く環境は常に変化をし続け、政府は2016年（平成28年）よりSociety5.0を提唱している。政府の定義によると、Society5.0とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）としている。（図1・2を参照）

図1

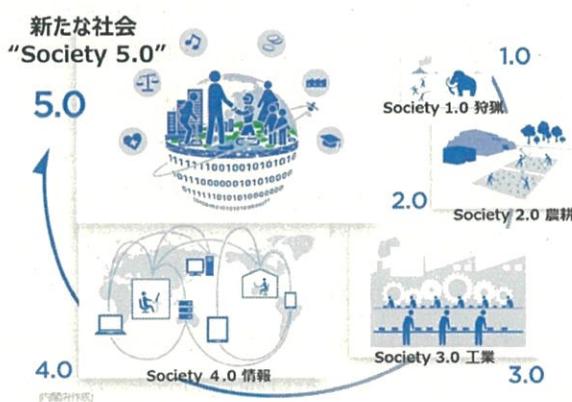


図2



(図1・2の出典は内閣府HP)

さらに、急激な社会の変化に対応しうる人材育成のため、学校教育においても学習指導要領が改訂され、2018年（平成30年）に総合的な探究の時間が盛り込まれることとなった。その内容を以下に示す。

- 探究の見方・考え方を働きかせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題にかかる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

※下線は提案者が記したもの。

これまでの教育では、どちらかというと知識・理解をつけさせることが重視されていたが、これから目まぐるしい社会の変化に対応するために、知識・理解を活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力、そして主体的・協働的に学習に取り組む力もつけさせていくことが求められている。そこで、教科指導や総合的な探究の時間において、このような力をつける指導が現在多くの高等学校で行われている。

一方、学校現場では「総合的な探究の時間」の取り扱いについて苦慮しているところがある。教科指導とは異なり、専門家がない。そして、「探究に主体的・協働的に取り組む」とあるが、生徒が主体的・協働的に取り組むためにはどうすればいいか。悩みが尽きず、そもそもまず教科の学力をつけることが最優先で、「総合的な探究の時間は意味があるのか」という教員もあり、各学校厳しい中運営しているのが現状である。

その中で最も各学校や探究を実施する生徒が悩んでいるのが、「協働しないと言われるが、誰と協働すればよいか分からぬ」というものである。ここでは、協働とは「普段接点がない、異なる他者と新たな価値を創造すること」としたい。生徒は基本的に学校と自宅の往復であり、社会人の方と関わる機会はほぼないに等しい。そして教員も友人でもない限り社会人の方と知り合う機会が少ない。

ここからは私の私見であるが、佐世保未来デザイン会議に出席している面白い・すばらしい大人が佐世保にはいることが分かった。そして、高校生が探究テーマとしている仕事をされている方もいらっしゃる。でも実際は私が未来デザイン会議に参加しなければ気づかなかつたことである。

公教育は平等が原則である。したがって、社会人との人脈がある教員がいる学校といない学校で差が出ることは望ましいことではない。そこで、市役所に相談窓口を作り、そこで相談すれば地域の方とつながることができる仕組みを作ればこの差が生まれないのではないかと考える。

(これまで)

生徒の探究活動 → ①自分たちでつながる人を見つける → 発表など
②調べ学習で終わる
③教員が人脈がある場合、紹介

(提案)

生徒の探究活動 → ①自分たちでつながる人を見つける → 発表など
②市役所に相談してアドバイスをもらう

佐世保未来デザイン会議等で話を聞く中で、社会人の方も高校生の意見を聞いてみたいという方が多いことに気づいた。そこで、高校生が社会人に意見を伝え、また行政に対する提言をする場面があってもよいと考える。佐世保市政に対して当事者意識を高校生が持つことで、佐世保のために何かしようとする生徒が増え、また行政も若者の意見を反映させた街づくりを進めていくことができるを考えている。

3. 最後に

生徒の教育は家庭・学校を中心に行われている。しかし、地域には地域にしかできない教育がある。佐世保に通う高校生が佐世保について知り、そして多くの人と関わっていく中で佐世保の良さや問題点について真剣に考え、将来佐世保のために何かしようとする人材となると確信している。

そして、地域社会においても普段あまり接することがない高校生と交流することができることは大いに刺激があると思う。異なる他者同士をつなげるため、行政がその橋渡しの役割を担うことで、地域×行政×高校生=さらなる地域活性化が実現できると考えている。

共生社会をめざして

～バリアをのぞいてみよう～

岡 智志

不自由って何？

佐世保にはいろんな人が暮らしている！

いろんな人がいれば、いろんな「ちがい」も当然あり、それを認め合って生きている

認知症や障がいのある人たちのことを、私たちはどれくらい知っているだろう

一人ひとりが「いきる」まちを

「わからない」「知らない」のは関わる機会がないから？

自分には関係ない？相手にとって余計なお世話？

人と人との交わりが、まちをつくり、進化を生むのではないだろうか

マザーテレサ「愛の反対は憎しみではない、無関心だ」

Dr.ヒルルク「人はいつ死ぬと思う？（中略）…人に忘れられた時さ」

目指したいのは…

偏見や差別を無くすこと（当たり障りのない社会）、というより

誰もが当たり前に共生（自身を社会に活かし、時にぶつかり・助け合いながら共存）する社会

目指したいのは…

特別な何かをするのではなく、原体験的な何か
きっかけを作りたい

その先に…

障がいのある人も共に働き、遊び、何かに打ち込んだり、ケンカしたり、恋愛したり、年をとって
もふつうに暮らせるまちの形成

「ふつう」のアップデート

ステップ

① 「支援する側・される側」というかたちに終始せず、自分事として身のまわりに当然にあるという意識を育み、障害について話せる風土をつくる

② 自分たちに何ができるか、共生していくためにはどうすればよいか考える、それをかたちにする

本企画では①をねらう

一人ひとりが「いきる」未来を

多様な人・生活を

「知る」「感じる」「考える」ことから始めよう

障害を感じる

ソーシャルグッドゲームの制作

(主に、学校等の学習教材として使用することをイメージ)

『バリ見えSUGOROKU』

生活の中にある障害を疑似体験するすごろくゲーム

- ・当事者面線でその場面を捉え、当事者の世界を想像する
- ・障害の有無に関わらず交流し、一緒に暮らしていくことを意識する
- ・共生する上で、まわりや自分たちに何が必要かを想像する
- ・障害を感じながらチームワークを育む

障害を感じる

ソーシャルグッドゲーム『バリ見えSUGOROKU』

・4種類のカード

★「パーソン（障がい）」カード…ゲームを始める前に1人1枚引く

例：目は見えない、耳は聞こえない、片腕はない、移動は車いす等

★「シンク（考察）」カード…生活マスに止った時に引く（3色のカード）

赤：身体機能や感覚の考察、例）どのようなちからを使うだろう

青：環境の考察、例）どのようなものがあるといいだろう

黄：心境の考察、例）どのようなことにワクワクするだろう

★「ワイワイ（交流）」カード…「ワイワイ」マスに止った時に引く

趣味や価値観など個性を共有できるイベントマス

★「チャレンジ（彩り）」カード…「チャレンジ」マスに止った時に引く

障害があっても一緒に遊べる方法を考える、または遊べることを知るマス

障害を感じる

【ステージ】学校編、ショッピング編、旅行編、など

学校編の場合…登校から下校までの1日をすころくにしたもの

【生活マス】ステージ毎に色々な場面を用意

学校編の場合…友達と待ち合わせ、上履きに履き替える、授業、給食、友達が泣いているみたい、など　※各マスで、指定された色の「シンクカード」を引く

【ワイワイマス】ワイワイカードを引く

好きな歌、最近怒ったこと、苦手なモノ、席替え、など

【チャレンジマス】チャレンジカードを引く

あっち向いてホイ、伝言ゲーム、にらめっこ、運だめし、など

障害を感じる

◎このゲームは当事者の気持ちやからだの使い方、感じている世界を想像することから、暮らしやすい世の中を考えるシミュレーションが主旨であることを説明。主体的にゲームをプレイすることを促す

- ①パーソンカードを最初に引く★手持ちカードの人になりきる（疑似体験）
- ②リーダーを決める…役割：発表を促し、話題を広げる
- ③順にサイコロを振って進む
- ④所々に生活マス（各場面・状況）があり、そこに止ったらシンクカードを引き指示に従う
　カードに沿って思ったことを発表する
- ⑤ワイワイマス、チャレンジマスに止ったらカードを引き指示に従う
- ⑥全員がゴールしたらゲームおわり
- ⑦さいごにゲームを通して一番印象に残ったことを発表する

一人ひとりが「いきる」未来を

ニーズに応じてアレンジや新しいゲームを構成したり
ゲームで出たアイデアを
実践に活かす支援・仕組みづくりにつないでいきたい

自分を含めたみんなが
より一体的に、より心地よく、より自由に
生活できるまちに近づけるように

共生社会を目指して 企画案

ソーシャルグッドゲーム 『バリ見え SUGOROKU』について

1. 対象

- ・小学校中学年～社会人（「原体験」的なものとなることをイメージしているため）
- ・カードは原案のため漢字表記しているが、読める・理解できる内容に調整

2. プレイする場面

- ・学習の一環、職場研修、地域課題の抽出・解決、などのワークショップ
- ・その他、図書館などに、手軽に手に取りプレイできるよう設置

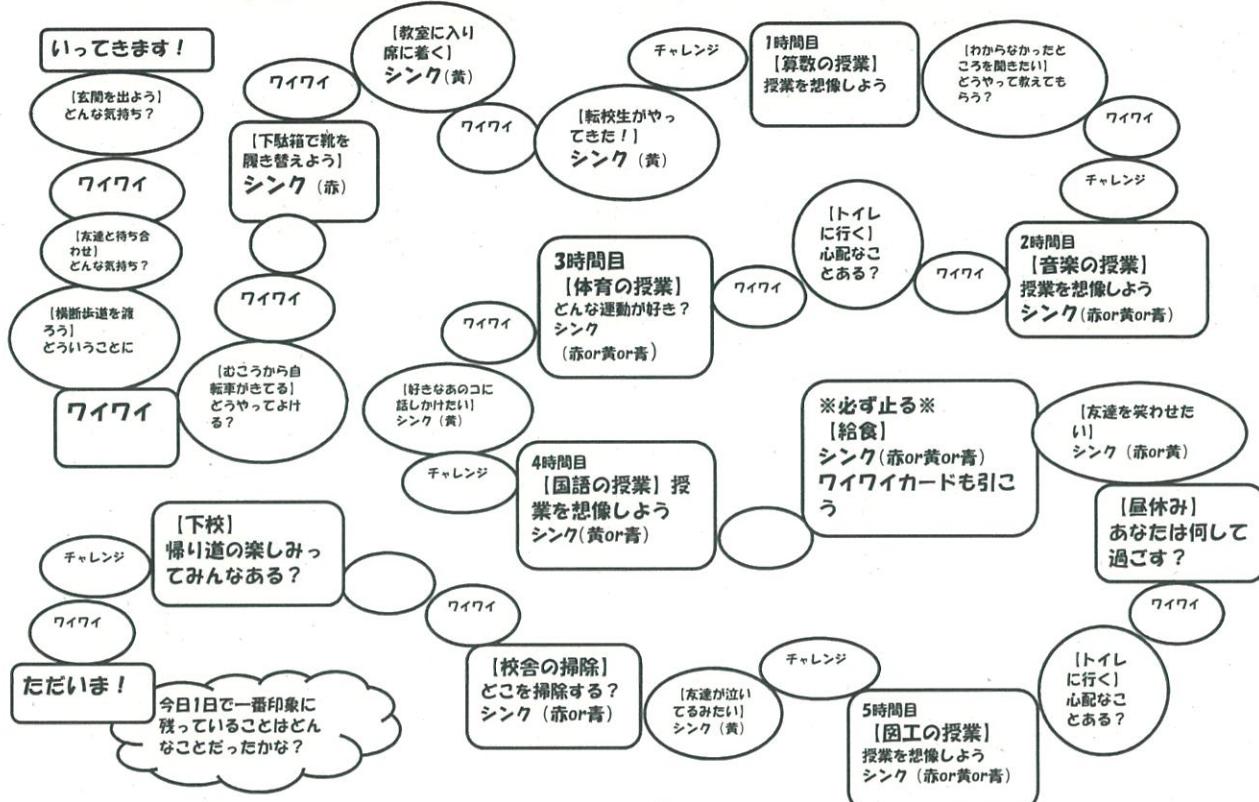
3. +α（アウトプットの活かし方）

- ・本ゲームをプレイして、共生社会の実現につながるアイデアが出た場合それを投稿できるよう、行政または関係機関に窓口を設ける
- ・優秀なアイデアを紹介
- ・アイデアの実現に協力したい機関・企業を募る

4. 検討事項

- ・本ゲームが社会的にどのようなインパクトを与えるのか、効果の予測と実用性の検証（関係者・有識者の意見を元に内容調整）
- ・ゲームの制作（再構成、デザイン、製造）
個人的に MINATOMACHI FACTORY さんにご協力いただきたい（佐世保の風景を描いたグッズを販売されている）
- ・学校や企業でのゲームプレイについて、どのように認知・促進・活用していくか
⇒SDG'sの一環として
3)すべての人に健康と福祉を、4)質の高い教育をみんなに、8)働きがいも経済成長も、10)人や国の不平等をなくそう、11)住み続けられるまちづくりを、
16)平和と公正をすべての人に
- ・アウトプットの活かし方について
- ・ソーシャルグッドゲームの派生、プラットフォーム化の可能性

バリ見えソーシャル グッド ゲーム～学校編～



パーソン
カード

目はみ
えない

パーソン
カード

耳は聞
こえな
い

パーソン
カード

声は出
ない

パーソン
カード

片うで
は麻痺

パーソン
カード

移動は
車いす

パーソン
カード

手指は
ない

チャレンジカード	【にらめっこ】右隣の人とにらめっこして、勝ったら2マス進む	チャレンジカード	【ジャンケン】全員でジャンケンして勝った人は次サイコロを2回振れる
チャレンジカード	【にらめっこ】右隣の人とにらめっこして、負けたら1マス戻る	チャレンジカード	【ナンバー1】クラスの○○ナンバー1と思う人を連れてきて紹介する
チャレンジカード	【あー】みんなで「あー」と声を出し、一番長い時間言えた人は2マス進む	チャレンジカード	【あっち向いてホイ】左隣の人とあっち向いてホイして勝つたら1マス進む
チャレンジカード	【全員一致】全員「せーの」で好きな教科を言ってみんな同じだったら1マス進む	チャレンジカード	【ナンバー1】全員「せーの」で部屋にある物で一番小さい物を言って一番大きかった人は1回休み
チャレンジカード	【伝言ゲーム】左隣の人の背中に3文字の言葉を指で書き、順番に伝言する	チャレンジカード	【運だめし】1~6の中で好きな数字を1つ決めてサイコロを振って、その数が出たらもう1回サイコロを振れる
チャレンジカード	【フリー】みんな楽しめる新しい遊びを考え、やってみよう！	チャレンジカード	【フリー】みんな楽しめる新しい遊びを考え、やってみよう！

シンクカード(黄)	どのような不安を感じるだろう	シンクカード(黄)	どのようなうれしさを感じるだろう
シンクカード(赤)	どのようにからだをつかうだろう	シンクカード(青)	どのようなものがあると良いだろう
シンクカード(赤)	どのように楽しむだろう	シンクカード(黄)	どうしたいと思うだろう
シンクカード(青)	まわりにどうしてほしいと思うだろう	シンクカード(青)	どうしたいと思うだろう
シンクカード(赤)	どのようなちからを使うだろう	シンクカード(黄)	どのようなことを思いつくだろう
シンクカード(黄)	どのようにことにワクワクするだろう	シンクカード(黄)	どのようなことにイヤな思いをするだろう

ワイワイ カード	モノマネをする	ワイワイ カード	右隣の人のス ゴイ！と思う ところを教え て
ワイワイ カード	席替え	ワイワイ カード	あなたの特技 を教えて
ワイワイ カード	あなたが最近 怒ったことを 教えて	ワイワイ カード	あなたの好きな キャラクター を教えて
ワイワイ カード	あなたの好き な食べ物を教 えて	ワイワイ カード	あなたの苦手 なものを教え て
ワイワイ カード	あなたが最近 嬉しかったこ とを教えて	ワイワイ カード	「赤巻紙、青 巻紙、黄巻 紙」を3回言う
ワイワイ カード	あなたの好き な言葉を教え て	ワイワイ カード	あなたの好き な歌を教えて

?カード



?カード



?カード



?カード



?カード



?カード



?カード



?カード



?カード



?カード



第5章 生活・環境

- 1 宇久振興計画 宇久も若者も盛り上げる (坂口雄基)
- 2 魅力のある地域にするために (渡辺純乃介)
- 3 ドローンが当たり前に飛ぶ街 佐世保 (羽田翼)
- 4 みんなのいばしょづくり～フリースペースの設置計画～ (山口花)
- 5 佐世保市をさらに魅力ある街にするために (山口紗英子)
- 6 社会人版インターンシップと移住で市を活性化へ (前川凌太朗)
- 7 教育制度の充実による人口増加策 (末川晴香)
- 8 相浦地区の開発、ドローンコンテンツの展開・ドローン地区の制定、交通 (森下裕)
- 9 佐世保市民の健康増進～「元気都市SASEBO」プロジェクト～ (猪本悠稀)
- 10 +10min SASEBO (吉福二三弥)
- 11 学園都市ハウステンボス (新見健)
- 12 『3年後に移住促進活動やめます宣言』 (地頭菌佑太)

宇久振興計画

坂口雄基

テーマ

宇久も若者も盛り上げる

宇久について(お隣の小値賀と比較)

<宇久> 人口1880人(最盛期1万人越え)

・産業

畜産(肉牛)が盛ん→和牛飼育体験などもできる

・観光

うくちやり(自転車)での観光に力を入れている

シーカヤック体験ができる

島北側の対馬灯台はCMの撮影地によく使われる

星がすごくきれいで天体観測にはすごくいい

・教育

小中高一貫教育で、島内に娯楽がないこともあり、子供の学力が高い

・その他

公共施設が比較的そろっている

平家盛公を祀る史跡があり、それにちなんだ場所が複数ある

両島の共通点

・海や星がきれい
(泳ぎ放題だし、天体観測にはすごくいい)

○課題

- ・宇久の人口(1880人)の内、高齢者が60%
→佐世保市内では、トップクラスの高さ。
- 子供の数が極端に少ない(少子高齢化)
- 生産年齢人口が40%と少ない
- ・宿や民宿が少ない
- ・町にサポーターがいない
- ・働くところがない
- ・旧神浦中学校は、陸上自衛隊が使用しているが、2016年廃校の旧神浦小学校は残ったまま
- ・発信力がある人がいない

＜小値賀＞

- ・積極的な移住促進の活動で移住者が多く、移住した人が島内で活躍している
- ・農業、漁業が盛ん
- ・複数の大学や県、国と連携して、さまざまな調査を行っている
- ・まちづくりにかなり力を入れている(環境・行政・産業・生活など)
- ・町外の児童・生徒を留学生として受け入れる「ふるさと留学」を行っている
- 令和2年から始まり、3年間で8名(うち、今年は4名)を受け入れている

Wikipedia及び小値賀町ホームページより

小値賀(宇久)の合併の歴史

- 2002年 佐世保市が宇久町、小値賀町と任意合併協議会を設置
- 2003年 小値賀町が自治や小値賀らしさを失ってしまう恐れを感じた島民の後押しもあり合併反対派の町長が当選を経て、任意合併協議会を離脱
- 2004年 小値賀住民投票で、合併反対が僅差で勝つ
- 2005年 宇久町が小佐々町とともに佐世保市に合併
- 2008年 1月と4月に佐世保市長が小値賀町を訪問し、合併協議を申し入れるも、町長が否定し、自力で生き残る道を選択

島を使った観光のツアーを開催

内容:学生時代にコロナで授業がリモートになったり、欠席者が多く、友達ができなかつた人・クラスメイトがそろって活動できることが少なかった人、修学旅行や体育祭、部活の大会などが中止になり青春を存分に楽しめなかつた人限定で、宇久・小値賀・新上五島の3島を巡りながら観光などを通じて参加者同士で仲良くなり、クラスメイト(友達)を作つて青春に楽しめなかつた分、思い出を作ろうというツアー ➡ 名付けて「クラスメイト作ろうツアー」ではなく…

クラスメイトツアー

この名前だと、人に言うのも恥ずかしいし、参加しづらく、参加者は必ずクラスメイトを作らなきゃいけないというプレッシャーになるかもしれない。

宇久・小値賀・新上五島が協力して、フェリーなどを使用して、県内外の人々を呼び込む。

参加者は、体験できなかつた学生生活を振り返りながら、島を観光する
→島の景色や思い出をSNSにアップして魅力を発信するかも!?

島の魅力を発信してくれるかもしれない。また、島の経済効果にもつながるし、男女の距離は近くなり、カップル成立になるかもしれない! 参加者も宇久にまた行きたい・住みたいとなるかもしれない。

- ・参加者を増やすため、長崎県内から参加した人は県内割引または佐世保市内からであれば市民割を導入してもいいのでは!?
- ・ガイドなどが先生役に、参加者は生徒としてツアーを行う
- ・参加者及びガイド等は全員自分の名前を書いた名札をつける
(マスクをつけてると顔と名前が出てこないという人のために)
- ・団体(クラスとして)島を観光するときもあれば、**自由時間を与え各個人で観光しても良い時間を作る**→観光もしながら友達作り

コース:どの島から周るかは担当部(会社)におまかせ。日数もおまかせ(ただし、初日と最終日は佐世保港もしくは博多港のどちらかの港発着)

対象者:コロナ世代 → 2020年2月当時:小学4年生~大学4年生の人

1997年度生まれ~2009年度生まれ



このツアーが開催できるまで数年かかると考えて…

コロナが日本に到来したのが、2020年2月ぐらい(以下は当時の学生)

- ・小4→小5から宿泊体験など楽しいイベントが待っていたのに、緊急事態宣言などで中止に、修学旅行も行けず
- ・小5→2か月後には6年生になり、小学生最後の体育大会や修学旅行もできない。
- ・小6や中3、高3、大学4(短大や専門学校はまた違うが...)は特に、卒業式も挙げれなかったり、次の学校(会社)の入学式(入社式)もなし、そして休校(会社はリモート)でクラスメイト(友達)も作れず一番きつい時期を味わった。

*なお、(例)「1998年度生まれだけど、大学に行かず、高校卒業してからそのまま就職した。だから、コロナは入社3年目の時にきた」という人でも参加可能。また、(例)「コロナがきた当时、大学2年生だったけど年齢が27歳で対象年齢から外れている」という人も参加可能に。→コロナのきた当时大学生だから

宇久の場合

食事…島の飲食店の人や島民が島のグルメを振る舞ったり、自由時間に島内の飲食店で食べてもらう→また、この味を求めて宇久の店に行きたい、島の人の温かいおもてなしに感動して、また行きたいと思うことになることをねらう

観光(移住)…①参加者全員に宇久のパンフレットを配布(観光用から移住用までなんでも)。宇久に観光・移住を促す。



*一部の宇久の観光パンフレットや移住パンフレットは、宇久の小中学生や高校生に作らせてもいいかも！



島に住んでいるからこそ、細かい情報まで知っている。地元の学生は地元の良さをアピールすることによって、ますます地元愛が芽生え、パンフレットを見た参加者は、子供が一生懸命作ったのでほっこりすし、「ここ気になるな」となる。また、移住パンフレットは子供目線での宇久の良さを知ることができる。

②**観光の移動**…団体では専用バス、自由時間は徒歩・うくちやり・バス・タクシー

③**小値賀や新上五島に負けないように**…宇久でUKUJAM(宇久島音楽祭)などのイベントがある時に婚活・観光ツアーを行ったり、シーカヤック体験や和牛飼育体験などいろんな「体験」ができる島なのでそれらの体験をしてみる。また、島の人からすれば、せっかく島に人が来るので、何かを披露したい団体があれば披露してみてはどうだろうか！？

宿泊場所…**旧神浦小学校**活用。

→それなりの施設が整っている

旧神浦小学校は元々、佐世保市立の学校というのもあるが、市営化ではなく、第三セクター化

建物やグランドの整備・補修

ここだけ市がお金を出す

第三セクター化にすることで、より活動しやすくなる(独自の活動ができる)かつ市の負担も減る

教室(各部屋)

「懐かしの教室雰囲気」を残すため、教室は大きくはリノベーションしない。ただし、机や棚等はその利用する団体に応じて出したり出さなかったりする。

トイレ

泊まる時は床に布団を敷く

施設の管理・運営は島の人で行う
島の人は高齢者が多く難しいと思うが、施設を管理するとなると頭や体を使うため、ボケの防止や健康になつたり、他人としゃべる(交流するため)ため、孤独の防止や生きがい、楽しみの一つになるし、若者からしたら働く場所になるし、島の雇用になる

ある程度リフォームするものの、「学校のトイレってこんな感じだったよね」感を出してもいいのでは？

「懐かしの学校に泊まってみよう」という体験型のコンセプトのもと

浴場

新しく専用の建物を作るか、プールか教室をリニューアルする？

施設までの輸送…市が中古のマイクロバスを購入し、施設の職員が運転する(運転手が足りないときは陸上自衛隊にも協力してもらう)。荷物については、陸上自衛隊の他、島内のヤマト運送や日本郵便の人に協力してもらってもいい

ネット環境…「懐かし学校に泊まってみよう」という学生生活を振り返る体験をしてもうため、事務室以外Wi-Fiはつけない

学校 자체は必要としている団体が使えるようにする

勉強・部活合宿
イベントをしたい団体
修学旅行
青少年団体も

似たような廃校活用事例)

- ・新潟県新発田市旧赤谷小学校→青少年宿泊施設として活用
- ・沖縄県大宜味村旧塩谷小学校→宿泊体験施設として活用

ちなみに、クラスメイトツアーやでは、教室や体育館を使ってオリエンテーションも行う（せっかくだから参加者は懐かしの教室で何かしてみたいと思うから自由時間で教室を使ってみる!?）

クラスメイトツアーやを通して

・コロナで台無しにされた学校生活の分を楽しい思いにすることができる＆友達もできる（→友達ができることで1人でいる寂しさから抜け出しができ、生きがいを見つける）

・島の活性化につながる

・思い出の島となり宇久を愛する人が増える

ツアーやに参加する

楽しい思い出になり、SNSにアップしたり、知人に話したり、もう一度（もしかするとツアーやで仲良くなれた人との）来るかもしれない

このツアーやが出会いの場となり、「このツアーやで私たちが出会ったから、始まりの地の島で結婚式を挙げよう」、「新婚旅行でまた行こう」もしくは「出会った場所だし、島の人気が温かつたから移住しよう」となるかもしれない

ツアーやに参加した人の結婚式で再びツアーやの参加者同士が集まり、出会いが起きる（可能性がある）。

子供も増えるし、親がツアーや参加者で家族旅行で再び島を訪れた時、子供が島を気に入ってくれるかも。

* 対象年齢はこのツアーや開始から数年後には、引下げる（対象年齢以下の人もコロナで休校、イベント・部活の練習や大会の中止・延期・縮小などを体験しているため）

魅力のある地域にするために

渡辺 純乃介

佐世保市の現状①

中心地には街灯がいっぱいある



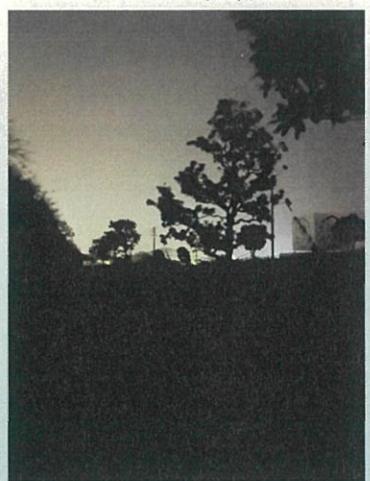
しかし、、、

中心地から外れると、街灯が少ない

相浦そよかぜ公園付近

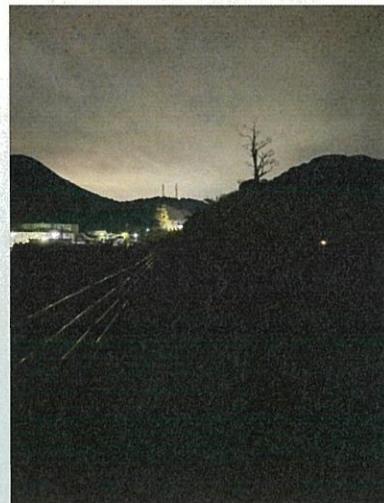
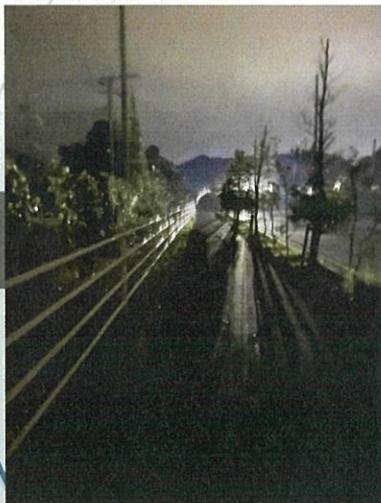


ホームセンター
ユートク 相浦店



佐世保市の現状②

車の光や月の光で明るさが保っているという現状



街灯が少ないとことによって生じる問題①

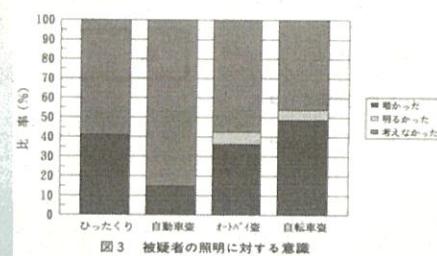
表やグラフから分かるように、暗いところでの犯罪率は高いことがわかる
実際、車のスピードが速かったり信号無視していたりする。

オートバイが信号無視して、自分自身も衝突しそうになったことがある。

表1 夜間の発生状況

	全件数	夜間件数	夜間発生率(%)
ひったくり	5,031	3,135	62.3
自転車盗	38,882	17,675	45.5
オートバイ盗	41,480	27,401	66.1
自動車盗	4,846	3,745	77.3

夜間：午後6時～翌朝午前6時



参考文献 やさしい照明技術 光は犯罪を防止する (防犯灯)

正会員 藤田 一郎 同支社大学 工学部

雑誌名 照明学会誌

第79巻

第6号 平成7年

ページ数 38～39 (参照日 11月23日)

街灯が少ないとことによって生じる問題点②

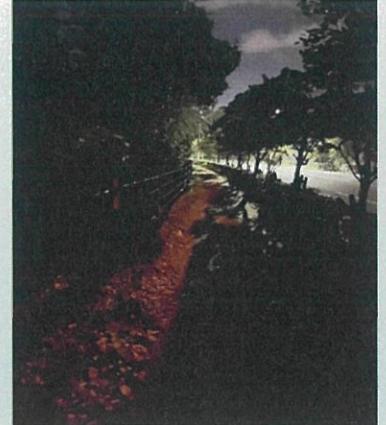
ポイ捨てする人が増加するのではないか



暗くてかつ歩道に雑草がたくさん生えている



← ゴミ



理想

- 町全体に街灯設置をして、佐世保市全体を治安維持すること
- 街灯のデザインや明るさを変えること



問題点

一部地域の現状しか知らないので、佐世保市のほかの地域ではどうなっているかがわからない



情報不足

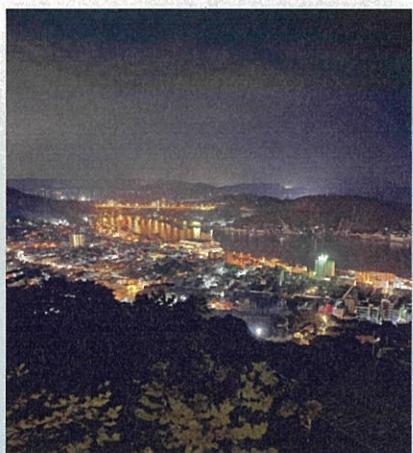
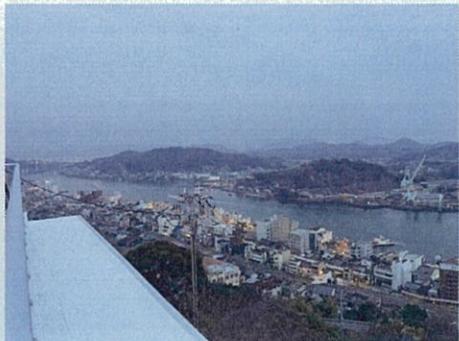
情報提供お願いします

解決策①

明かりの必要性

1. 安全に暮らせる
2. 昼間と違った雰囲気を味わうことができる ライトアップ（尾道）

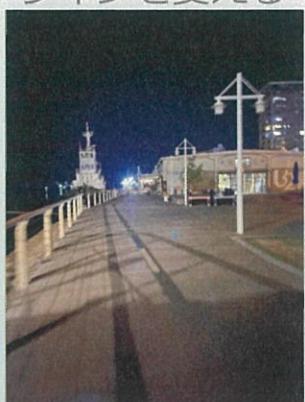
ライトアップされる前
(尾道)



解決策②

デザインの必要性

1. 街灯の色（オレンジ色のような）を温かみのあるようなものにする
2. 街灯のデザインを変える

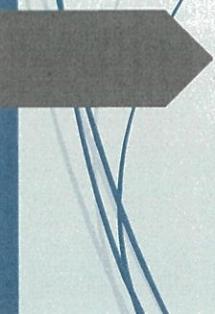


解決策③

街灯をLEDにする (農村部)

コガネムシ、アブラムシ、スズメバチ、カメムシ、蛾、ハエ、セミ、カマキリ、カミキリムシなど 防虫効果あり

*ゴキブリ、蚊のような紫外線への感受性・正の走光性がない虫は防虫効果なし

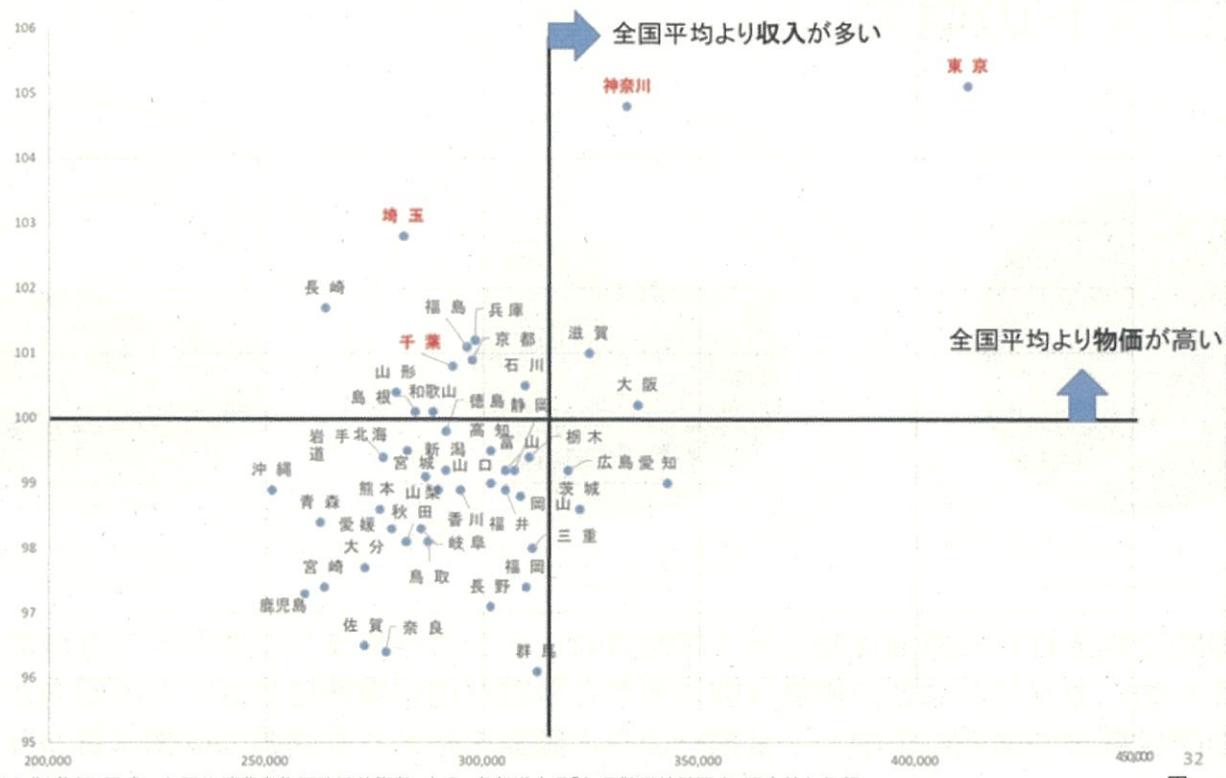


ご清聴ありがとうございました

ドローンが当たり前に飛ぶ街 佐世保

スープ・システム

都道府県別物価・収入



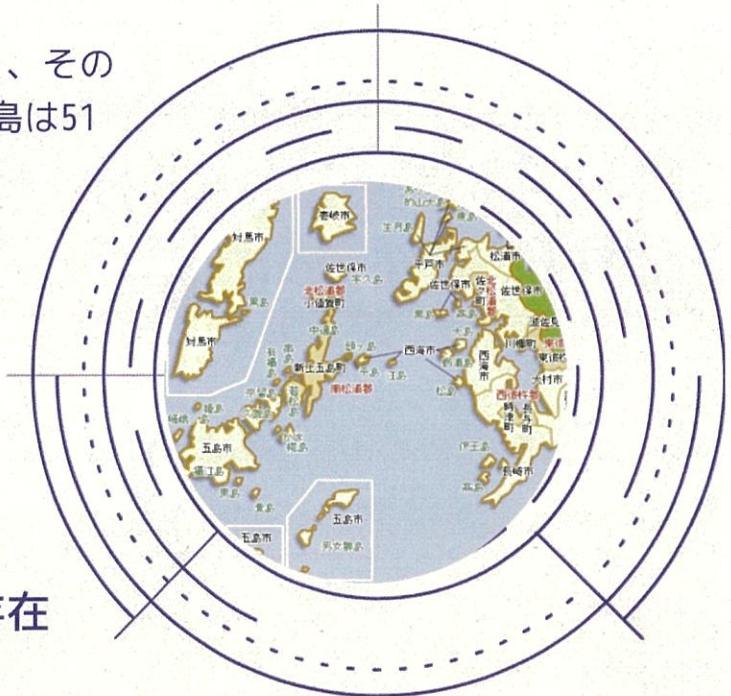
(出典)物価:平成29年平均消費者物価地域差指数、収入:各都道府県「毎月勤労統計調査」現金給与総額

長崎県の離島

長崎県は、無人島を含めると約600の島々があり、そのうち離島復興対策実施地域の指定を受けた有人島は51島あり、約14万人が生活を営んでいる。



- ・海産資源が豊富
- ・大陸の文化と融合した多様な文化が存在



輸送コストの増大



海外から海路で輸入された原油は製油所で精製され、タンカーやタンク車などで各地の中継基地に運ばれるため、ガソリンなどの価格は製油所から距離が遠い場所ほど高くなる傾向がある。国内の製油所は関東や関西に集中し、全国一の有人離島を抱える長崎県では輸送費が高くなる

ドローンで輸送問題 を解決

ドローンの可能性

農業

農薬散布・生育監視

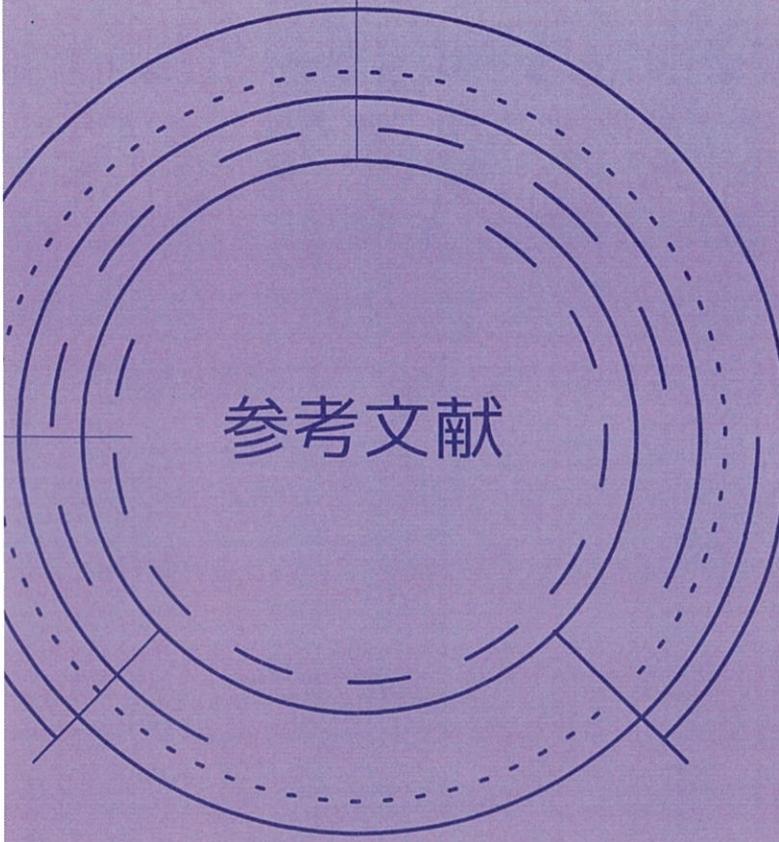
建築

進捗確認・測量・全体の確認

防災

被災状況の確認・消火支援・捜索





参考文献

内閣府，“東京一極集中の動向と要因について”，
地方創生，

https://www.chisou.go.jp/sousei/meeting/se_nryaku_kensyou/h31-1-28-shiryou4.pdf
(2022-7-12)

松永圭造、泉修平、野田範子，“長崎と鹿児島は
「日本一」、九州のガソリンはなぜ高い？”，西
日本新聞，2021-11-16，

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/831166/> (2022-7-12)

株式会社kanatta，“ドローンの未来は明るい！
大きな可能性を秘めたその将来はどうな
る？”ドローンジョブプラス，2021-1-5，
https://drone-girls.com/lets_drone/drone_future-2/#3
(2022-7-12)

みんなのいばしょづくり

～フリースペースの設置計画～

生活・環境 山口 花

現状のSASEBOについて

各施設の数

小学校…44か所

中学校…26か所

(小中共に公立のみ)

放課後児童クラブ…73か所

子ども食堂…11か所

公民館の数…28か所

↑シェア率県内1位

「子どもの生活に関する実態調査(2019)」
県内20市町小学5年、中学2年の子どもと、
保護者の計1万8658人(小値賀町は除く)
相対的な貧困率→11.2%

「インターネット空間」が自分の居場所
15歳から29歳までの男女6000人を対象
→ 6割以上

企画概要

○既存の施設の一部もしくは営業時間外にフリースペースを開設!

→新しく作るための費用の削減・閉店後の防犯対策

○利用者登録や入退室管理システムで安全管理

→子供から大人、誰もが安心安全に利用できる場所にする

○フリースペース見守り隊は有償ボランティアで運営

→開設時間中いてくれる人が必要+交通費程度の支給



利用者はどんな人たち?

- 保護者が共働きの子どもたち
- 勉強する学生さん
- リモートスペースなど..



すべてのスペースを必要としている人が対象!!

場所は？

使用されていない既存の場所を有効活用

- ・公民館の空いている時間
 - ・子ども食堂の周知
 - ・カフェ(喫茶店)の営業時間外
- など..

NPO法人Café de 寺子屋の形式も活用!!



佐世保市を さらに魅力ある街にするために

SASEBO未来デザイン会議 チーム希望
さえ

私が見た佐世保市の街中の現状

●雑草が伸び放題である。

- ・お盆を過ぎてから刈られることも（来訪者が帰った後に刈るのでは意味がない）

●街の玄関口である駅前も汚い。（雑草、たばこの吸い殻、ペットボトル・缶、食事をした後のゴミ等）

●公園が汚い。管理が行き届いていない。

- （とある市内の公園では遊具を点検する人がいないために、遊具がすべて使用禁止となった。結果、公園の利用者は激減。現在は雑草が伸び放題である。）

何故こうなるのか（考察）

●近くにゴミ箱がないから。

●街が汚いのを見て見ぬフリをしている（？）

「汚い」とは感じているが、掃除をする・したいと思える機会が少ない。

●掃除したところですぐにゴミを捨てられる（維持しにくい）

→自分で掃除をしないから「綺麗に使おう」と思わず、ゴミを捨ててしまうのでは。

●市民大清掃や町内清掃では各町内の住居の周りくらいしか清掃しない→駅やバス停などは運営会社や行政任せである。

●市民大清掃は毎年6月の第一日曜日

→頻度が少ないとため、環境の維持が難しい。

私がしたいこと

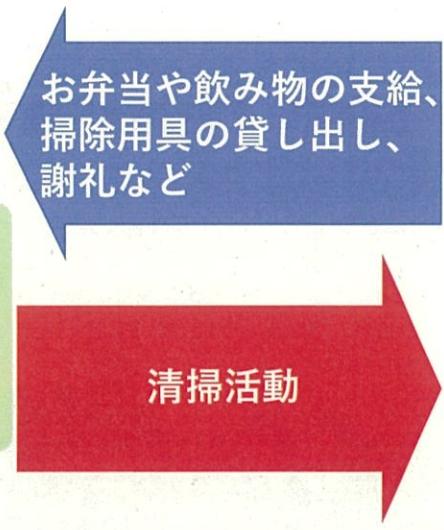
佐世保市が主催する 有償ボランティアの実施

市民



メリット

- 清掃する機会の獲得
- 無償ではなく有償にすることで
頑張った分を評価してもらえる。
- 市民の交流の機会になる。
- 大切に使おうと思えるようになる。
(美化意識の向上)



佐世保市



メリット

- 清掃業者に支払っていた費用が浮く。
- 美しい街になれば魅力度が上がり、「また来たい」と思ってもらえる街になる。

みんなで使う街を
みんなできれいにする。

そのためにはその意欲を引き出すための工夫が必要！

だから私は『有償ボランティア』を提案します。

Thank you for listening!



社会人版インターンシップと 移住で市を活性化へ

なぜ？？？

・島への移住を調査するつもりが、コロナで中止に・・・

(しまなび)

・佐世保で移住者が増えたら活性化するかもしれない！？

人口増加、出生率の上昇

メリット

子育て、自然環境、物価が安い

デメリット

働く場所の少なさ（求人数、自分のやりたい仕事があるか）

年収の低下、免許がいる、馴染めない

移住するうえでの判断基準

空き家情報、住みやすさ、支援制度など

事例（離島以外の移住）

県内各地で行われている

(移住先での仕事)

台湾→南島原市 個人事業主（雑貨の物販、ハンドメイド）

茨城県→雲仙市 農業

福岡市→川棚町 カフェ・シーカヤック体験施設

社会人版インターンシップ

・佐世保OB（高校まで佐世保、大学まで佐世保の方など）

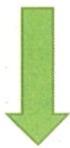
を対象としたインターンシップ

・親が佐世保に居て、自分自身は県外に出ていった人、

県外で数年働いて市内へ帰省したくなった人 なども対象

告知方法

県外へと就職した子供を持つ親を対象にインターンシップの呼びかけ



子供には、帰省したタイミングや連絡して知らせる

高等学校 卒業生の就職状況

県内就職者数

平成30年：500人

令和元年：430人

県外就職者数

平成30年：315人

令和元年：315人

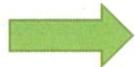
2021年度 卒業生の進路状況（佐世保市）

市内就職：64.5%

県内就職：21%

県外就職：4.8%

進 学：8.1%



意外と市内多め。

県外間の異動

県外からの転入

平成30年：5,845人

令和元年：5,258人

令和2年：4,748人

県外への転出

平成30年：6,692人

令和元年：6,596人

令和2年：6,443人

人口増加を図るために

インターンシップ×結婚相談所

狙い

- ・社会版インターンシップで対象とした佐世保OB同士でお見合い、結婚
 - ・インターンシップと結婚相談所を組み合わせたマッチングアプリを作る
(長崎県婚活サポートセンターなども活用)
 - ・「佐世保サポステ」なども同時に活用
- 佐世保若者サポートステーション→15～49歳を対象に無料就職支援を行っている



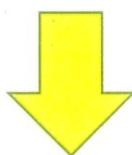
人口増加、出生率の上昇へ

長崎県への移住は・・・

リターン（都会で生まれた人が地方へ移住）が多い

働きづめの生活から、ストレスを感じない田舎暮らしへ

豊かな自然と異国情緒漂うまち 佐世保

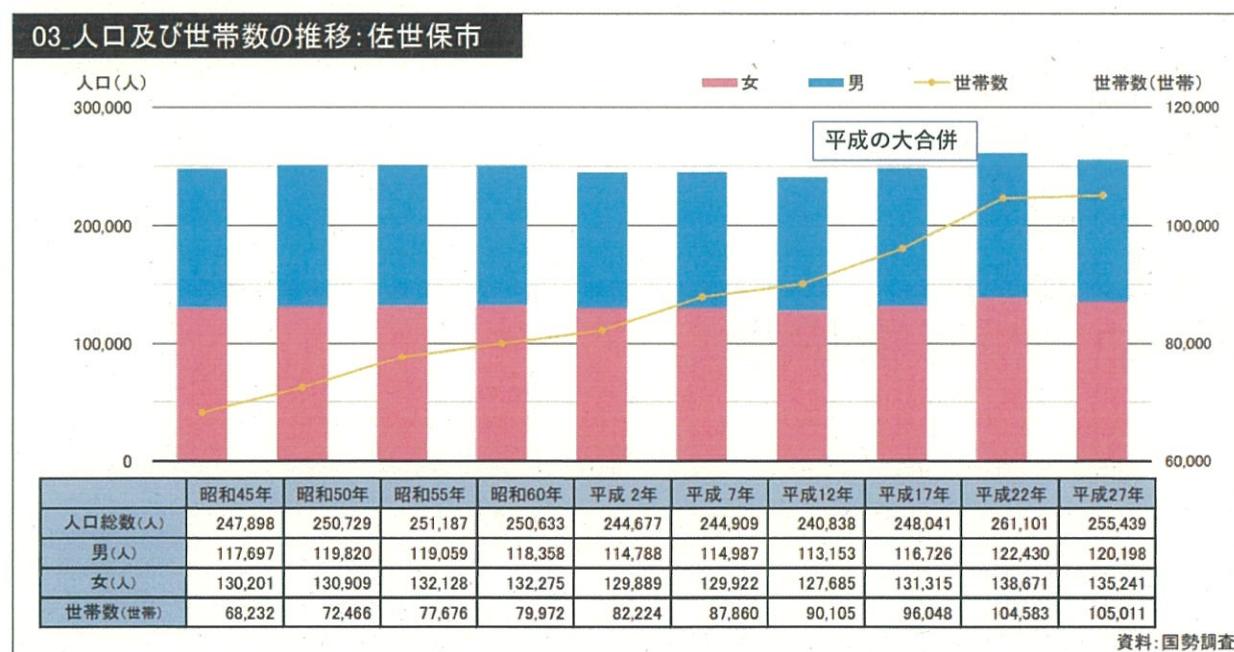


佐世保市の魅力を活かした
移住サポートへ！

教育制度の充実による 人口増加策

末川晴香

佐世保市の人口



佐世保の今の状況

- ・成長可能性都市10位/100都市（2017年）
- ・合計特殊出生率1.6（2021年時点）平均：1.3
→減少傾向にあり
- ・公立幼稚園保育料（4歳児）1か年の価格都市ランキング1位
218,400円（2016年）
- ・一世帯当たりの人数の平均2.7（2021年）
- ・2015年～2020年の人口増減比率95.2%
- ・女性の就業率44.51% 550位/815市区中
- ・世帯年収平均430万円 うち 300万円未満46.4%

参考資料

- ・生活ガイド.com
- ・住まいインディックス
- ・R2 国勢調査
- ・すくすく佐世保
- ・BIZwith 全国成長可能都市

ペルソナ（ユーザー像）

- ・子供が3人ほしいと考えている夫婦
- ・都会過ぎない場所で穏やかな生活を求めて佐世保市に移住
- ・共働きを希望
- ・3年に一度子供を産もうと計画中



制度の比較

長崎県佐世保市（合計特殊出生率1.6）

- ・医療費 中学卒業まで一部支給
- ・給食費 小学校3900円/月
中学校4600円/月
- ・保育料 第2子半額 第3子無料
(所得制限あり)
- ・高校の学費無償化 (所得制限あり)

兵庫県明石市（1.58）

- ・医療費 高校生まで完全無料
- ・給食費 中学生完全無料
- ・保育料 第2子以降無料
(所得制限なし)
- ・おむつ 満1歳まで無料

補足

- ・**医療費** 医療機関ごとに1日800円、月1600円までの自己負担
院外処方の薬代は自己負担なし
- ・**保育料**の人数の数え方は、保育所等を同時に利用する兄姉からカウント
→保育所に通うタイミングが同じでないと免除されない
- ・それぞれ母子家庭や世帯収入によって免除が別途存在する
- ・**高校の学費無償化**
→世帯年収590万未満の場合 授業料のほとんどを市が負担
→子供の数（扶養控除対象）によっても所得制限が存在する

問題点

- ・**医療費**
→計算、申請が複雑（各センターに申請or郵送）
- ・**保育料**
→子供が同じ人数いてもそれぞれ受けられる支援額が異なる
→現状1世帯の子供の数が多いためある程度の世帯年収があっても経済的に苦しい
- ・**高校の学費無償化**
→子供が複数人いる場合に年収が所得制限にかかってしまうと
学費を全員全額負担することになるため、無償化している人よりも総計がマイナスになっているケースがある。

改定案

- **医療費**

→手続きの方法にネットでの申請ができるようにする

- **保育料**

→1子免除なし 2子半免 3子以降全免 or 2子以降全免

- **高校の学費無償化**

→兄弟の就業の有無に関わらず兄弟としてカウントして支給

※それぞれ生活保護世帯やひとり親世帯などは別途対応

他に移住者を増やすために必要なこと

- 新卒、中途採用を受け入れるための広報

→長崎に大企業は少ないため、知る機会が必要

- 転職できずパートタイムやアルバイトになっている人に対する援助

→一度正社員から離れると戻れなくなる場合が多い

- 小学生の放課後預かりができる場所の拡大

→共働きのために必要な機能

→長期休みに預ける場所がないと働きに出れない

改革した後でどう広報するか

実際に子育て制度を変えただけでは経済効果は薄い…？

→現在住んでいる人だけでなく、移住する人も増やしたい

そのためには佐世保での暮らしについて知ってもらう必要がある

改革した後でどう広報するか

観光業を活用

- ・様々な観光スポットに佐世保市の移住に関するパンフレットやQRコードを配置する
- ・ツアーや高速バスの中で配布
- ・学生の修学旅行時に配布

→佐世保に対して好感を持っているタイミングで佐世保での生活も想像してもらう

前回の会議に参加して、実現の有無にかかわらず尖った意見があった方が面白くなるんじゃないかなと思いました。(新幹線のルートから佐世保が外れたことを他県民が後悔するくらい)

1. 相浦地区の開発(共有資料の中で拝見し、今後の展望などを話してみたいと感じました。)

2. ドローンコンテンツの展開・ドローン地区の制定(前回の会議で面白いと思いました)

3. 交通

チーム夢 森下 裕

実現したいこと 1. 相浦地区の開発



地域の活性化を図るため、地権者を含む住民有志らが今年4月に「まちづくり団体」を発足。団体は、近隣にある老朽化した市総合グラウンドの建て替えを含め、「スポーツ」「農業」「商業」の機能を持つ複合施設整備を目指す。

- ・18年前には農用地に大型商業施設(イオン九州)を建設する計画が持ち上がったが、頓挫した。
- ・現在は農家の高齢化などで活用が進まず、大半が牧草地となっている。

○住民有志らによると、大手総合スポーツメーカーが現地を視察し、参入に意欲を示しており、イオン九州も進出する方向で動いている
○市は農用地に先端技術の「スマート農業」を導入できないか調査中

幼い頃から、商業施設が出来る出来ると聞かされ育ってきた。もし、商業施設が開業すれば県大生をはじめ近隣住民の生活利便性・雇用機会を含め未だに魅力的

○区画一部の都市農業公園化 ○大規模商業施設併設型収穫体験農園の展開 ○シェア畑(例：ららぽーと福岡) 等

様々な 農業 × スポーツ × 商業 の融合が起こる他に類をみない尖った場になれるかもしれない。
(ショッピングついでに、畑に寄る。スポーツ帰りに畠に寄る。)

実現の機運が再び高まったのだから、このチャンスを逃したくない。一市民として積極的に参与したい。

実現したいこと 2. ドローンコンテンツの展開・ドローン特区(地区)の制定

ドローンコンテンツの展開

アーケードを活用したドローンレースとか前回の会議で聞いていて面白そうと素直に思った。

自身も以前ドローンサッカーのフィールドやXR複合施設を設計したことがあるので興味があります。



ドローン特区(地区)の制定

自衛隊、米海軍・海兵隊 基地から十分離れた島嶼部も考慮に入れた地域に限定し、輸送手段のテストを受け入れるなど (宅配、医薬品)

他県での事例 ・徳島県那賀郡那賀町 ・千葉県千葉市 ・秋田県仙北市…等

ドローンレース: <https://atcl-dsj.com/useful/5550/>

実現したいこと 3. 交通

佐世保市におけるこれからの交通のあり方について議論をしたい。

バス・車(鉄道)以外の交通手段を導入できるか、スマートシルリンク等

・バスの時刻表で毎年便数が減り、最終便の時間帯が早くなっている。

・バス利用者減、便数減、運賃値上げ

・車市街地中心部以外は車が必須の車社会

中心地の商業施設再興にしても交通の便は必ず議論されるべき。

西肥バス時刻表【平日】 12/30~1/3は日祝ダイヤで運行します。		2022.3.24	
		佐世保駅前	
行先	時刻	行先	時刻
日野	1	大野	4
山			
佐世保駅前	A1	佐世保駅前	
日野	03 44	大野	
佐世保駅前		佐世保駅前	
7 42		5 42	
8 55		6 51	
9 43		7 20	
10 18		8 42	
11 39		9 23	
12 43		10 23	
13 32		11 23	
14		12 23	
15 23		13 23	
16		14 23	
17 32		15 23	
18		16 23	
19		17 23	
20		18 23	
21		19 23	
22		20 23	
23		21 23	
24		22 23	
25		23 23	

実現したい



佐世保市民の健康増進 ～「元気都市SASEBO」プロジェクト～

チーム夢
猪本 悠稀

実現したい



市民のための 健康センター

- ◆医療費削減
- ◆病床数の確保（新型コロナウイルス対策）
- ◆元気に働ける市民の増加
- ◆市全体での健康意識アップ
- ◆未来を担う子どもたちの德育

■佐世保市：“させぼさんちの家計簿”
<https://www.city.sasebo.lg.jp/zaimu/risei/kakeibo.html> (参照2022-12-30)
■佐世保市：“佐世保市内の新型コロナウイルス感染症の状況”
<https://www.city.sasebo.lg.jp/hokenhukus/kenkou/covid19-hassellokyo.html> (参照2022-12-30)

財源は？

現存する施設 + ふるさと納税

1. 佐世保市温水プール
2. 佐世保公園
3. 佐世保市総合医療センター

◆トレーニングジム
◆スタジオ（ダンス、ピラティスなど）
◆スパ

内容は？

健康づくり処方

◆対象：18歳以上の市民
◆問診・身体測定・体力測定を実施
◆個人のための健康づくりメニューを提案

内容は？



健康づくりメニューって？

例：

- ◆**健康づくりコース**
 - ・生活習慣病の予防・改善が目的の方
 - ・体力度を確認し向上させたい方
- ◆**生活習慣改善コース**
 - ・治療中の病気がある方
 - ・健康診断等で生活習慣改善の指摘を受けた方
- ◆**足腰元気コース**
 - ・足腰に衰えを感じている方
 - ・体力に自信のない方
 - ・60歳以上の方
- ◆**美ボディコース**
 - ・基礎代謝を上げたい方
 - ・身体の柔軟性を高めたい方
 - ・ダイエットをしている方

内容は？



定期的に**体力測定**を実施



- ◆効果を確認
- ◆健康づくりメニューの見直し

有資格者による**健康づくり支援**

- ◆管理栄養士による食生活の見直し支援
- ◆保健師による生活習慣の見直し支援
- ◆健康運動指導士による運動や食事の取り組み支援
- ◆水泳指導者によるプール利用の取り組み支援

内容は？



健康づくり栄養教室



- ◆なにを、どのくらい、どのように食べるかを学べる
- ◆食材の栄養について学べる
- ◆自分に足りていない成分（たんぱく質、ミネラルなど）を知ることができる

内容は？



健康づくりレストラン



- ◆さまざまなメニューの展開
アスリート向け、ヘルシー定食、グルテンフリー
- ◆地産地消を目指す

内容は?

健康ランド

- ◆ 18歳以下の子どもが楽しく安全に遊べる
フィールドアスレチック、トランポリン、広場
- ◆ 佐世保の自然を感じられる
佐世保市の木や花を植え、木のぬくもりを感じられる遊具

**元気都市
SASEBO**

**佐世保市の
力の底上げ**

**市民のための
健康センター**

- ◆ 医療費削減
- ◆ 病床数の確保（新型コロナウイルス対策）
- ◆ 元気に働く市民の増加
- ◆ 市全体での健康意識アップ
- ◆ 未来を担う子どもたちの德育

2022年12月30日

やってみたいこと、実現したいこと
「元気都市 SASEBO」プロジェクト

チーム夢
猪本 悠稀

● やってみたいこと、実現したいこと

佐世保市として医療費削減につながるよう、健康増進を図る。
佐世保市民のための健康センターをつくる。

● 現状と目的

医療費削減－市民のための健康センターをつくることで、まず医療費の削減につなげたい。佐世保市の決算報告をみると、医療費が家計を圧迫している状況となっている。

病床数の確保－新型コロナウイルスの流行により、全国的に医療体制がひっ迫している状況が続いている。佐世保市の病床使用率は2022年12月28日現在、50%を超えており、日頃の運動や食事で免疫力を向上させておくことで、医療体制が機能しないという危機を防ぐことにつなげたい。

元気に働く市民の増加、市全体での健康意識アップ－「元気都市 SASEBO」を実現したい（佐世保市の力の底上げ）。元気に働く市民が増えることは税収アップにもつながる。

未来を担う子どもたちの德育－からだの健康だけでなく、佐世保市の花や木々に囲まれた自然溢れる施設で遊ぶことで、こころを育みたい。

● 提案内容

現存する以下の3施設を有効活用し、複合的な健康センターを目指す。ふるさと納税を主な財源とし、追加の整備を進める。

1. 佐世保市温水プール－利用料金は都度利用、スイミングスクール利用、会員利用に分けられている。駐車場は佐世保公園駐車場28台1時間無料、温水プール専用駐車場20台無料。

2. 佐世保公園－ウォーキングコース、ジョギングコースの整備をし、併せて多目的広場を確保する。トレーニングジムやスタジオ、SPAなどを併設させ、複合的な施設として、幅広い年齢層の人が利用できるようにする。

3. 佐世保市総合医療センター－地域医療連携として「健康教室」が実施されて

いるため、これを活用し、市民が健康について考えるきっかけを作る。

施設を利用する佐世保市民一人一人のための健康づくりメニュー「健康づくり処方」を作成・支援する。

【健康づくり処方】

18歳以上（＊）の市民を対象に、問診・身体測定・体力測定を実施し、各個人に応じた健康づくりメニューを提案する。

*2022年4月1日より成人年齢が18歳に引き下げられたため（納税義務者）。

例：

1. 健康づくりコース

- ・生活習慣病の予防・改善が目的の方
- ・体力度を確認し向上させたい方

2. 生活習慣改善コース

- ・治療中の病気がある方
- ・健康診断等で生活習慣改善の指摘を受けた方

3. 足腰元気コース

- ・足腰に衰えを感じている方
- ・体力に自信のない方
- ・60歳以上の方

4. 美ボディコース

- ・基礎代謝を上げたい方
- ・身体の柔軟性を高めたい方
- ・ダイエットをしている方

各個人のニーズに合わせたメニューを実施してもらい、定期的に体力測定を行う。効果が出ているか確認する機会とし、健康づくりメニューの見直しをしたい方には、有資格者による健康づくり支援を受けられるようとする。

例：

- ・管理栄養士による食生活の見直し支援
- ・保健師による生活習慣の見直し支援
- ・健康運動指導士による運動や食事の取り組み支援

- ・水泳指導者によるプール利用の取り組み支援

このほかにも以下の取り組みを実践する。

【健康づくり栄養教室】

生活習慣病予防・改善のため、食材の栄養や食生活について学べる教室を開催し、「なにを、どのくらい、どのように」食べるかを、楽しく学べるようにする。教室では自身の体成分を測定し、日々の食事に必要なことを知ってもらう機会とする。

【健康づくりレストラン】

アスリート用の定食やヘルシーな定食、グルテンフリーなど、さまざまなメニューを取り入れ、市民に美味しく食べてもらう。また、佐世保市の特産物を使い、地産地消を目指す。

【健康ランド】

18歳以下の子どもが自由に利用でき、楽しく安全に心身の成長を育める施設をつくる。周りには佐世保市の花や木々を植え、フィールドアスレチックやトランポリン、広場で遊ぶことにより、自然や環境保全への理解を深めることを目的とする。

佐世保市を中心複合的な健康センターをつくることで、市民の健康増進を図る。市民の健康増進は長期的にみて、医療費の削減や佐世保の未来創りにつながり、「元気都市 SASEBO」を実現させる。

佐世保未来デザイン会議

SASEBO未来デザイン会議

+ 10 min
Sasebo

吉福二三弥

人が心地よさを感じるのはどんな時か、佐世保という町の良さとは何か、そこを理解し町作りに落とし込めれば、佐世保の魅力がもっと分かり易く居心地の良い町になる。

吉福二三弥

私が考える佐世保の良さ

- ・九十九島、海、山、など自然に恵まれている
- ・観光としてメインとなるものが沢山ある
- ・異文化が入っていて他にない佐世保独特の文化がある
- ・四季を通じてイベントなど盛んに行われている
- ・土地が解放的でフリースペースが多くある
- ・商業地域は比較的平坦で歩いて行動する事が可能

佐世保の空間の問題点

佐世保市の空間の問題点



- ▶ 空間同士の導線がつながっていない



- ▶ 見逃されている空間が多い



- ▶ 一ヶ所への滞在時間が短い

○動線

佐世保はメインとなる商業施設や公園などは整っていて、繋げる役となる場所が少ないのでメインを点々とすることになり動線の発展がない。

○認知度

綺麗な場所や集う場所などがあるにも関わらずメインから少し離れたところにあるため認知度が低い

○居心地

人が本当に休まる場所や次の発展を考えるためのスペースが少ない
施設の利用者数に比べてベンチの数が少ない

人のために大事にしたいこと

+10分のゆとりを作る

佐世保市の空間の問題点



一つの場所の滞在時間を+10分増やし、その10分で次の動線に繋げる選択肢を増やし、急ぐことなく佐世保の空気感を感じたり次の目的地を探す時間を作る必要があると思います。

買い物を終えて座れる場所を人の動線から少し離した場所に作ると

- ・買い物中の人混みから外に出て一息ついて景色を見たり、次の目的地を探す時間を作れる。
- ・一緒に来ていた子供が制限されるストレスから解放される

するとゆとりができ買い物中に出来なかった会話や「次何しようか」などの発展に繋がる

佐世保市の空間への提案



→これらを空間の中にどう取り込んでいくか

人の真理を理解した上で空間の使い方を考える必要があると思います。

佐世保市の空間への提案

留まりたいと思う空間をつくるには...

- ・既存の樹木の管理方法を見直す
- ・ベンチの位置を変える（静と動のはっきりとした町づくり）
- ・荷物を下ろしてくつろげる場所の確保
- ・視覚的接続においての空間の使い方
- ・見て欲しいもの、感じて欲しいものの明確化
- ・これから新しくしていく上でのコンセプトを決める

佐世保市の空間への提案



五番街



例えば五番街を例に

これだけの大型商業施設に対して一息できるスペースが少ない

この周辺で買い物客と近過ぎず離れ過ぎない場所で心地よい場所を作る
としたら建物横にある右上の写真の場所だと思います。

ここにベンチを置くと考えた場合、太陽も視野に入れて配置する。



時間帯によって影の場所が変わり日向、日陰を選べるようになります。すると夏は日陰に人は座るので一つ飛ばしに座ることになり、冬の時期は落葉するので全てのベンチに陽が当たることになります。

もっと活かすとするならば、樹木の手入れも、枝を伸ばして木陰を増やすのも心地よさに繋がります。

そして、佐世保駅から五番街、アーケード、名切公園、動物園、パールシーや弓張岳など佐世保のメインとなる観光地などの中間地点に設置し、そこに佐世保の観光マップなどを置くことができれば佐世保在住の方だけでなく、市街から来た観光客の方にも佐世保観光を楽しんでいただけると思います。

+ 10 min

Sasebo

+10分のゆとりをつくる街、佐世保



市民同士の交流、外部空間で過ごす時間が増える
観光する人が一息つける空間の創出(メインの場所移動の中間地)

佐世保いう町は交通機関の路線が少ないことを良い事とし、歩いて楽しい町作りをするべきだと思います。

それを可能にする景色や街並み、ジャズなど異文化が佐世保にはとても沢山あるので他の都市にない楽しみ方が出来るはずです。

今から少しずつでも人に寄り添う町づくりをやれれば今よりもっと佐世保は良くなると思います。

ありがとうございます！！



学園都市ハウステンボス

SASEBO未来デザイン会議 チーム希望 新見健

企画概要(1)

佐世保の中でも知名度の高い「ハウステンボス」を中心とした環境整備で「人を育む環境」と「多国籍・他分野の人間の集まる交流の場」を実現する手段として

『学園都市ハウステンボス』を提案する。

イメージ像としては筑波研究学園都市。限りある「人」をどれだけ「生き活き」とさせられるかが地方創生の鍵ではないだろうか。



企画概要(2)

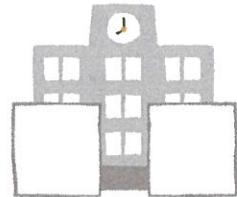
『西九州させぼ広域都市圏』の都市像の中核である佐世保市^{※1}
その理想像の実現に向け、官民一体となって取り組む

学園都市ハウステンボスでは学習についていくつかの種別を設ける

- ①国際色溢れる多国籍小学・中学校（世界に通用する人財育成の場）
- ②テーマパーク運営などの職業訓練の場
- ③西九州させぼ広域都市圏内の1次産業担い手育成・訓練
- ④半導体関連人材育成・訓練の場
- ⑤生涯学習施設
- ⑥運動のできる屋内・屋外施設
- ⑦スケートボード競技場



※1...対象地域図（西九州させぼ広域都市圏HPより）



※1...長崎県佐世保市を中心に、佐賀県の自治体を含む12市町で形成される連携中枢都市圏。行政サービスの効率化・利便性の向上や、地域産業・観光の活性化を目的とし、平成31年4月に発足した

①国際色溢れる多国籍小学・中学校 (世界に通用する人財育成の場)

佐世保市は米軍があるためアメリカ人含めたくさんの外国人が暮らしている地域である。

第7次佐世保市総合計画内に「国際都市」「グローバルな人材育成」など日本のみならず世界に向けて活躍する「SASEBO」を目指していることがわかります。

若いうちからの異文化や多国籍との交流が当たり前の環境が「グローバルな人材育成」に良いと考えられる。ハウステンボス付近には米軍宿舎があり施設内には小学校があります。

できれば常時合同の学校にする。もしくは定期的に交流を持つことで英会話力向上を図ります。（精道三川台小学校などで交流を行なっています）

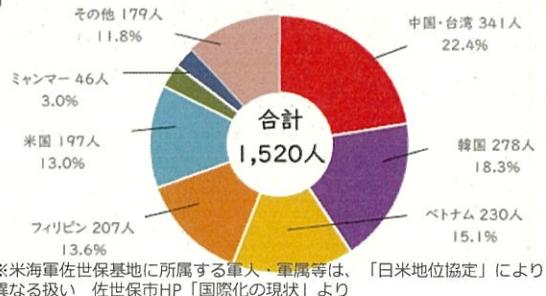
国籍・地域別外国人市民数(2021年度末)

多国籍学校がある事で多国籍の人も安心して子育てができる

また、佐世保市民が英語を話せないため既存の外国人市民

がコミュニケーションが取れないという悩みもある。^{※1}

学校を通じて親同士が交友を持つこともできる。



※1...佐世保市外国人市民アンケート結果(2019年12月実施)より

②テーマパーク運営などの職業訓練の場

「地域に根ざす学校法人を母体とした『公私協力方式』で開校した長崎国際大学があり、その中の学部に国際観光学科がある。名前の通り「観光」を主眼に置いて学ぶ学科。しかし、ハウステンボスのようなテーマパークは華やかな部分だけで成り立っているわけではない。土木建築、機械や設備のメンテナンス、造園などの維持管理が大事である。

そこでテーマパークなどの裏方の仕事につく事ができる人材の育成や訓練を行い、将来的に西九州させぼ広域都市圏内の様々な企業に就職できるような人材を育成する職業訓練の場にする。寮を設け泊まり込みで学べると尚良い。



③西九州させぼ広域都市圏内の1次産業 担い手育成・訓練

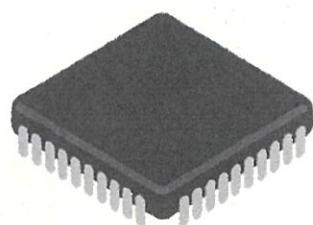
佐世保に限らず日本全体でも顕著になっている1次産業担い手不足。

担い手がいなければ荒廃する農地や山、豊かな山や農地がなければ同じように海も荒廃してしまいます。西九州させぼ広域都市圏内の1次産業の担い手を育成・訓練して地域の1次産業の活性化を促進させたい。



④半導体関連人材育成の場

令和4年2月に「ながさき半導体ネットワーク」が設立されました。その中で『ながさき半導体ネットワーク概要』が掲載されており、取組み内容の中の「人材育成・確保」に目を付けました。長崎県ひいては九州の半導体関連企業の人材育成の場を設けることで基礎知識を身につけ各企業に就職します。



⑤生涯学習施設

佐世保には「生涯学習」の施設や環境は少ない。「働きながら学ぶ」「リカレント教育」などを気軽に行える環境が必要である。

※1

第7次佐世保市総合計画内には「地域の課題解決に主体的に取り組む人材育成」とあります。オンライン上でなく実際に人と人とが交流する環境に影響を受ける人やチームのメンバーになるなど様々な化学反応があるはずです。



※1 ...p78

⑥運動できる屋内・屋外施設

「生涯学習」は座学だけではなく運動も考えられます。市民の健康の維持増進の機会を作るために大きい公園やグラウンド、体育館などを設る。

学生が集まる場所にもなり、年齢を問わず趣味やスポーツで人が集まる環境がある事で出会いの場にもなり得る。新たな趣味を見つけることもできる。

言葉は通じなくともスポーツを通じて外国人市民との交流ができる。



⑦スケートボード競技場

東京2020オリンピックではスケートボードが新種目に選出され大いに盛り上がりを見せました。この佐世保でも閉鎖中ではありますがスケートパークがあり市内でも年齢問わず昔から人気です。スケートパークは日本人だけでなく様々な国籍の方が利用されている。

そんな佐世保から将来オリンピック代表に選出される人物を輩出することも夢ではないかもしれません。スケートボードは様々な国で人気のスポーツなのでIRで観光した先で遊んだり、米軍の方、外国人市民との交流の場にもなり得る。



『3年後に移住促進活動やめます宣言』

市外から人を呼ぶためにお金を使うのを3年後にやめて
その分を若者の文化活動へ費やすという宣言をする。

具体的に

アーティストを年間〇〇人採択して、ベーシックインカム制度導入

SASEBO 未来デザイン会議

佐世保でやってみたいこと①：地頭園

(単位：千円)		
U J I ターン促進事業費	□ 54,992	U J I ターン促進のための各種取組 お試し住宅（まちなか滞在拠点整備）、移住相談会の開催、広域圏サポーター創出、周遊型ワークーション受入（連携事業）、各種支援制度（子育て世帯移住応援助成、賃貸住宅入居支援助成、住宅新築・増改築助成、東京圏域からの移住支援金、任期制自衛官移住定住支援、新卒移住応援制度、関係人口拡大・創出事業など）
若者移住定住応援事業費	□ 8,304	8,242 佐世保でチャレンジする若者を対象とする奨学金返還及び企業の奨学金代理返還に対する支援制度（ふるさと佐世保元気基金活用）

引用：https://www.city.sasebo.lg.jp/zaimu/zaisei/documents/r4_tousyo_setsumei.pdf

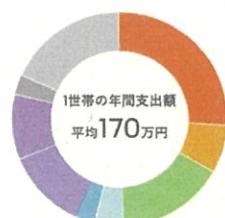
現在の予算案 約6,000万円

ベーシックインカム

アーティスト50名*70,000円*12ヶ月 = 4200万円

佐世保市の支出データ

△ 単身世帯



長崎県で5位 / 21市町村中 全国平均より下
佐世保市の単身世帯の年間支出合計は平均すると170万円です。長崎県の21市町村の中で5位となり、全国の平均支出総額からは17万円下回る結果になりました。

食費	458,000円	水道光熱費	129,000円
住居費	286,000円	医療費	76,000円
被服費	56,000円	教育費	0円
交通・通信費	212,000円	趣味・娯楽費	173,000円
家具・家事用品	54,000円	その他諸経費	319,000円

一人当たり年間84万円→年間支出の約半分
従来の労働時間を創作活動に充てる

引用：<https://lifullhomes-index.jp/info/money-data/household/nagasaki-pref/sasebo-city/>

どうして3年後か

移住を渋っている人たちに向けたカウントダウン

地方移住の一番の不安要素は収入→3年以内に採択されれば1番の不安要素が取り除かれる

どうしてアーティストか？

1. 国内の芸術祭などで単純に来場者や経済効果が地方にとっては大きい
2. アーティストは常に情報を発信をしている
3. アート思考による、他業種の新しい価値の創生

SASEBO 未来デザイン会議

3

佐世保でやってみたいこと①：地頭菌

追記：10月10日現在

ここでいうアーティストの定義

ジャンルを問わない

- 映像、写真、絵画、彫刻、音楽など
- クリエイターもほぼ同義だが、自分自身で作品を作り出す

SASEBO 未来デザイン会議

アート創作活動は生活に密着

アーティストがアートを発信する際には
『佐世保』ならではのものや、地元のキーワードなども
同時に発信される。

『佐世保といえば〇〇』というのを行政が一生懸命発信せずに
アーティストたちが勝手にしかも多角的に発信をしてくれる

事例：直島

アートを目的に地域イメージの向上が著しく向上した。
さらに、直島に積極的に関わりたいという『関係人口』も
増加し、アートの量が増え、質が上がることで
観光客が増加した

引用：<https://jss-sociology.org/research/91/file/234.pdf>

SASEBO 未来デザイン会議

5

佐世保でやってみたいこと①：地頭園

参照：<https://www.glocltimes.jp/4521>

主な地域の「芸術祭」

名称・開催地	来場者数・経済波及効果	開催期間
いちはらアート×ミックス (千葉県市原市)	100,066人 (経済効果・約6億円)	2017年4/8～5/14(37日間) ※3年に1回
北アルプス国際芸術祭 (長野県大町市)	54,395人 (経済効果・約10億円)	2017年6/4～7/30(57日間) ※3年に1回
札幌国際芸術祭 (北海道札幌市)	381,697人 (経済効果・約49億円)	2017年8/6～10/1(57日間) ※3年に1回
奥能登国際芸術祭 (石川県珠洲市)	71,260人 (経済効果・約5億円)	2017年9/3～10/22(50日間) ※次回は2020年検討
水と土の芸術祭 (新潟県新潟市)	775,268人(2015年) (経済効果・約23億円)	2018年7/14～10/8(87日間) ※3年に1回
大地の芸術祭 (新潟県十日町市・津南町)	510,690人(2015年) (経済効果・約51億円)	2018年7/29～9/17(51日間) ※3年に1回
みちのおくの芸術祭 (山形県山形市)	60,627人(2016年)	2018年9/1～24(24日間) ※2年に1回
BIWAKOビエンナーレ (滋賀県近江八幡市)	約3万人(2016年)	2018年9/15～11/11(58日間) ※2年に1回
瀬戸内国際芸術祭 (香川県・岡山県)	1,040,050人(2016年) (経済効果・約132億円)	2019年4/26～5/26、7/19～8/25、9/28～11/4※3年に1回
茨城県北芸術祭 (茨城県)	776,481人(2016年) (経済効果・約35億円)	2019年秋に開催予定 ※3年に1回

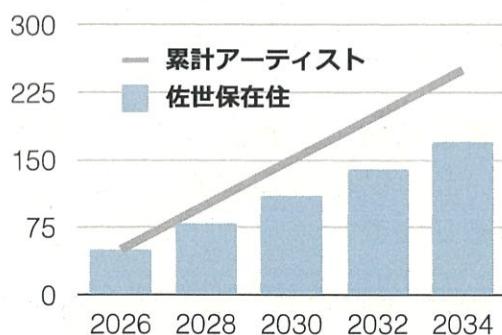
SASEBO 未来デザイン会議

**選ばれたアーティストは
2年でベーシックインカム終了**

ダラダラと活動をせずに最初に期限を決めることで
アーティストの活動をより活発にする。



新しいアーティストを発掘する



佐世保に縁のあるアーティスト年々必ず増えていく
※ベーシックインカム後に大都市や海外に渡るアーティストがいることを考慮して
年20名のアーティストが佐世保を離れると想定した場合

各アーティストのプロフィールに『佐世保』が入る
佐世保のベーシックインカムがアーティストにとって
ゴールデンチケットとなる！

SASEBO 未来デザイン会議

7

2.5年に1度の芸術祭を行う

アーティストに2年に1度の芸術祭に作品の出展を条件づける
最低でも50以上の新作が並ぶ芸術祭となる！

※第5回瀬戸内国際芸術祭2022の作品数は214だが、海外などから招集した作品も含む

地元に関連あるアーティストだけで

2回目の芸術祭で作品数100近く

3回目の芸術祭で作品数200近く

4回目の芸術祭で作品数300近く

2.5年という期間にすることで、いろんなシーズンの
佐世保を観光客などに見てもらうことができる！

SASEBO 未来デザイン会議

おわりに

少子高齢化の中、東京一極集中が進み、地方の衰退に拍車をかけています。地方の衰退を止めるには、人財の確保が不可欠です。しかし、優秀と言われる人材は、一流と言わる官公庁、企業、大学などが集中する東京に向かいます。

このような状況では、佐世保では人財を確保するのは困難であると思われるかもしれません。しかし、SASEBO未来デザイン会議には、奇跡のように人財が集まりました。輝く宝石のような人やその原石が集結しました。彼らなし彼女らは、切磋琢磨し、意見交換を重ねることで、その輝きを増しました。このような人財が活かされるまちであれば、衰退を止められるものと信じております。

実は、提案の中には、メンバー間の密接な連携や佐世保市の積極的な関与により、既に実現に向けて動き出しているものもあります。第4章の交流の6社会貢献活動する人の交流会、7若者が集うコワーキングスペース構想、8佐世保市役所若者部おもしろ課設立について、11佐世保つながるプロジェクト～地域×行政×高校生～などです。

佐世保市民の皆さんには、メンバーの提案という「種」が育ち、成果という「花」が咲くよう暖かく見守っていただきたいと願っています。本報告書の提案が佐世保のV字回復の契機になれば、これに勝る喜びはありません。

S A S E B O 未来デザイン会議 コーディネーター 横山 均



資料1 SASEBO未来デザイン会議

コーディネーター提出資料(抜粋)

(令和4年7月9日日 チーム希望第1回)

(令和4年7月23日 チーム夢第1回)

目次

- I 進め方
- II スケジュール
- III メンバーの属性
- IV 佐世保について思うこと
- V やってみたいこと、実現したいこと
- VI 次回のプレゼン資料の提出 (略)



1



I 進め方

1 「やってみたいこと、実現したいこと」を議論。

時間があれば、その内容を詰め、実現等の方策を議論。

2 7月9日（土）～12月10日（土）に隔週土曜の午後に12回開催。

①メンバー58人を29人ずつチーム夢とチーム希望に分ける。

7月9日～8月20日にそれぞれ2回ずつ開催。

② 「やってみたいこと、実現したいこと」の分野に応じて、5～6グループに分ける。(所属以外のグループの会議にも、オブザーバー参加は可能。)

9月3日～12月10日まで各グループ3回ずつ開催。

2



II SASEBO未来デザイン会議 年間スケジュール（予定）

7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月	2月	3月
9日	23日	6日	20日											
チーム夢		チーム夢		A		A		A		A				
				B		B		B		B				
				C		C		C		C				
				D		D		D		D				
				E		E		E		E				
				F		F		F		F				

各チームをグループ分け

メンバー意見のとりまとめ

提言書（案）の中間報告

提言書完成リ市へ提出

- 現時点での予定となっておりますので、急遽日程・場所が変更となる場合があります。
- 8月の会議で、自分が特に興味・関心がある事を紙で提出していただき、意見を述べていただきます。その内容を基に、チーム夢・チーム希望の2チームを、関心がある各分野ごとの5~6グループ程度に編成します。
- 9月の会議から、各グループ（10人程度）ごとに議論を行っていきます。（グループごとの議論は3回程度予定しております。）

3



III メンバーの属性

年齢構成

年代	人数
10代	15
20代	30
30代	13

男女別

性	人数
男性	33
女性	25

職種

職種	人数
高校生	9
大学生	18
社会人	31



IV 佐世保について思うこと(目次)

- 1 魅力
- 2 人口流出
- 3 衰退
- 4 住みにくさ
- 5 魅力ないし魅力づくりが不足

5

1 魅力(佐世保について思うこと①)

- | | |
|--|----------------|
| 異文化と自然を有し、ミステリアスでポテンシャルがある | 交通の便がよい |
| 近隣都市を凌駕する活性化が可能 | 黒島の地域おこし協力隊の活躍 |
| 土着的でありながら異国情緒漂うまち | 国際色豊かなまち |
| 課題はあるが、よりよくなっている | 高い所が多く、夕焼けがきれい |
| 「まちに魅力がない」と言う学生が多いが、軍港の歴史と米軍基地のある多様な文化 | |
| 学生が多く、国際色豊かで、伸びしろのあるまち | |
| 市が若者の定着を企図 | とてもよいまち |
| 大学生と社会人1・2年目の交流による地元就職の可能性 | |
| 観光イベントを盛り上げようとしている市民の存在 | |
| 治安がよく、交通機関が充実し、住みやすい | |
| 自然に溢れ、異国情緒も漂う | 地元愛がある人が多い。 |
| 自然が豊か、食べ物が美味しい、人も温かい | |

6

2 人口流出（佐世保について思うことより②）

とめどない人口流出。	看過できない人口減少
人口流出	人口減少
若者が流出し、寂しい	若者の流出
ポテンシャルは高いが、構造改革や人口流出について本音で議論されていない 住みやすいまちなのに、移住者が少ない	
魅力が多いが、若者離れ	若者の県外就職
高齢化。優秀な若者の流出	若者が働く選択肢が少ない
魅力的だが、若者の流出	
若者が遊ぶ場所が少ないため、市外に流出	
高専に人材がいるが、工場の誘致が不利 地場ビジネスの不足	
人口流出。空家や空き店舗が目立つ。大企業もない。	中心地に空家

7

3 衰退（佐世保について思うことより③）

アーケードに活気がない
アーケード街の衰退
アーケードにおける若者や家族連れの減少・大型スーパーの撤退
観光地としての開発が進む一方、商業施設の減少、アーケードの過疎化
まちの強みが消失
産業衰退
新幹線が通らないため、魅力の創造がなければ衰退

8

4 住みにくさ (佐世保について思うことより④)

物価が高い	コロナ禍における格差の発生
学生の行き場がない	10代・20代の楽しめる場所が少ない
景観や産業を活かした憩いの場や賑わいが少ない。	
若者は市内ではなく市外へ遊びに行く	
交通インフラが弱く、若者向けの店が少ない。	
バスの本数の減少	交通の利便性が必要
若者向けの施設が多いが、場所が限られている。バスの混雑	
交通インフラの不足。高齢者が住みにくい。	
市民が集う場所にマンションが建設	
子育てへの支援が手薄。若者にとって市が何を目指しているか分からない	
子育て支援や文化・芸術への助成が不十分	
閉鎖的	

9

5 魅力ないし魅力づくりが不足 (佐世保について思うことより⑤)

観光スポットの認知不足	地元の人が地元の魅力を知らない
情報や市民の声が届かない。	観光スポットや経路が分かりづらい
若者から「よいところがない」と言われるが、魅力に気づいていない	
市民がまちの魅力に気づかず、地域づくりに無関心	魅力の発信が不足
まちの特有の魅力や雰囲気が磨かれていない	
個々の要素を活かし切れていない	魅力が多いが、生かし切れていない
一つ一つは良い観光地であるのに動線が繋がっていない	
様々な良さがあるため、かえって全体としてぼやけている	
来訪者にお金を使ってもらえる環境が弱い	
五番街とアーケードのつながりがない	
中央公園、ＩＲなどの新しい取組と既存の資源とのコラボが不足	
米軍基地との交流が少ない。広域都市圏機能が未発揮	

10



V やってみたいこと、実現したいこと（目次）

- | | |
|-------------|--------|
| 1 観光 | 2 店・名物 |
| 3 イベント | 4 文化 |
| 5 地域コミュニティ | 6 福祉 |
| 7 子育て・教育・環境 | 8 都市政策 |
| 9 企業立地・起業 | 10 行政 |
| 11 抽象（参考記載） | |

11

1 観光（やってみたいこと、実現したいこと①）

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 景色がきれいな観光地 | 観光業の復活 |
| 魅力の発信 | 自然や街並みのコンテンツ化 |
| 魅力の再発掘、レンタサイクル | SNSによる紹介 |
| Z世代の旅行者向けの情報 | まちの魅力を明確化し、市民をYouTuber化 |
| 軍港の文化財の活用 | |
| 分散している各観光地を結ぶための市民ガイド・ドライバー | |
| タイの物販・タイ米カフェ・タイと相互間の観光 | |
| 台湾との姉妹都市 | 函館市との提携 |

12

2 店・名物(やってみたいこと、実現したいこと②)

若者向けの店

空き店舗を活用した出店

高校の企画と地元企業のタッグによるアーケード街への出店

新たな名物

新たな名物 佐世保バーガーの新サイドメニュー

新佐世保バーガー

新ソウルフードの考案

13

3 イベント(やってみたいこと、実現したいこと③)

イベントの計画・実施

全国各地から訪れるイベントや事業の創出

若者向けのイベント

若者に受け入れやすいイベント・講演会

イベント(例: フード総選挙)

歴史・文化・思想を発信できるイベント・広報

飲食店のコラボイベント

写真展

軍港4市協働イベント

ビジネスにつながるファッション・音楽・食のイベント

多文化を知るイベント 冷凍グルメ自販機のイベント 海のイベント

ロードレースの招聘 三河内焼のイベント

14

4 文化(やってみたいこと、実現したいこと④)

外国文化への接触機会を活かしたグローバルなまち

外国人との交流

基地内E. J. キングスクールとの高校間の交流

高校生会議

音楽に触れられる環境

ストリート・ピアノ 音楽の鳴る時計台 ランチタイム・コンサート

芸術家等を目指す人のためのアパート

15

5 地域コミュニティ(やってみたいこと、実現したいこと⑤)

街灯の増加

空家の活用

市民の交流の場

中高生向け又は年代に関係なく集まれるコミュニティ・スペース

空地をコミュニティ・スペースやイベントに活用

若者の地元発信のためのコミュニティ 勉強・移住に挑戦できる環境

16

6 福祉(やってみたいこと、実現したいこと⑥)

障がい者、高齢者等とともに笑い、支え合える

高齢者が運営する児童センター

社会的弱者の支援と居場所

祭における物販で困っている人を支援

17

7 子育て・教育・環境(やってみたいこと、実現したいこと⑦)

子育てしたいと思わせる ECOなまち

児童福祉

英語を学びやすい環境、健康増進

新たな社会のニーズに合わせた高校 法学部設置

生活しやすい動線を作り、生活が豊かになる方法や環境の整備

自然を安全に楽しむ

歴史や自然を感じられる仕組み

再生エネルギー・アップサイクル

18

8 都市政策(やってみたいこと、実現したいこと⑧)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 市街地の活性化 | 公園の賑わい |
| インスタ映えのスポット・施設 | フリーWi-Fi |
| ドローンへの特化による若者の地元定着 | |
| 造園技術の共有による景観の向上 | |
| 交通の便 | J R九州のnimocaの利用 |
| 宇宙空港 | |
| 商店街・五番街ウォーターゲートの再構築 | |
| アーケード再活性化(無料駐車場、イベント、名物・グルメ) | 大学付近の商業施設 |
| 相浦地区の農地 | |
| 空家化が進む坂の街の利活用 | |

19

9 企業立地・起業(やってみたいこと、実現したいこと⑨)

- | |
|---------------------------------------|
| 若者の挑戦を支える施策。企業誘致や起業支援 |
| 起業に挑戦できる環境 |
| 造船・陸海運・食品製造業の強化、航空機・自動車・半導体部品の製造工場の誘致 |
| ベンチャー企業の起ち上げ |
| D X ・ ロボット・A I |

20

10 行政(やってみたいこと、実現したいこと⑩)

行政手続の簡素化・明確化

人口増のための補助

まちの魅力に関する行政と住民のギャップを検証し、コンテンツを育成

11 抽象(やってみたいこと、実現したいこと⑪)

人口が増加、明るく賑わいのあるまち

多様性を資産として活かし、寛容性が高いまち

自然の魅力を生かす

よい点を住みやすく経済発展に繋げる取組

新幹線開業に取り残されない

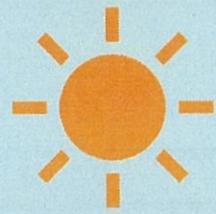
輝きを取り戻す手助け

計画を実装可能にし、会議終了後も取組を継続

夢の実現をサポートする仕組み

メンバーの提案を実現するための橋渡し

メンバーの意見を聴いてから



野外音楽フェスの開催

ドローンが翔ぶ街

SDGsイベント

古民家カフェ

街灯が灯る街並み

有償ボランティア

週末ナイトマーケット

週末マルシェ

市役所

若者部おもしろ課の設置

大型商業施設の誘致

世界最速ドローンレース

健康センター

佐世保独楽協会の設立



日米交流野球大会



宇久婚活・観光ツアー



宇久島

SASEBO 未来デザインマップ

SASEBO サイクリングロード



株式会社

キャリア教育



ニュー・デザイン・アーケード

アーケードへの足跡アート



SASEBO PASS



学園都市ハウステンボス



観光地周遊バス



共生社会の実現

コミュニティースペース

新ソウルフード「佐世保おやき」

させぼ
おやき

ゆとりをつくる休憩スペース



SASEBO SEAタワー



観光マップ



移動型 能舞台



